JUMP COMICS SELECTION
週刊少年ジャンプ特別編集
ドラゴンボールゼット
DRAGONBALL Z
JUMP ANIME COMICS
テレビスペシャル
たったひとりの最終決戦
〜フリーザに挑んだZ戦士 孫悟空の父〜
アニメコミックス
●前田実作画監督〈描きおろし原画〉ポスター
バーダック＆孫悟空＆孫悟飯／トランクス
●オールキャラ！パーフェクト・ファイル!!
●注目のオリジナル・イラスト・ストーリー
〈孤独の未来戦士！トランクス!!〉
●最新情報を満載！テレビシリーズ大研究!!
待望のテレビスペシャルがついに登場
オールカラーで全シーンを完全収録!!!
原画：前田 実　©バードスタジオ／集英社・フジテレビ・東映動画

ドラゴンボールゼット
DRAGONBALL Z
たったひとりの最終決戦
～フリーザに挑んだZ戦士孫悟空の
ジャンプ・アニメ・コミックス
スペシャル・ポスター
©バードスタジオ　集英社・フジテレビ・東映動画
原画・前田　実

ドラゴンボールゼット
DRAGONBALL Z
Ⓒバードスタジオ／集英社・フジテレビ・東映動画
原画・前田　実

ドラゴンボールゼット テレビスペシャル

DRAGON BALL Z TV SPECIAL

たったひとりの最終決戦

~フリーザに挑んだZ戦士孫悟空の父~

ALL CHARACTER PERFECT FILE

[オール キャラクター パーフェクト ファイル]

宇宙一の戦闘民族サイヤ人…!
その誇りと存続を賭けて
たったひとりで巨悪に挑んだ男がいた!!
その者の名は
勇敢にして屈強の戦士バーダック!!
この男の戦いから
DB伝説の幕は上がったのだ!!

5人衆!!

⬅サイヤ人の絶滅というフリーザの企みを知ったバーダック!! ただひとり、フリーザに決戦を挑むが…!!

➡満月を見るとサイヤ人は大猿に変身し、戦闘力は通常の10倍に!!

未来を予知するサイヤ人戦士!!

バーダック

サイヤ人下級戦士だが戦闘力は一万以上!! 5人組のリーダー的な存在。サイヤ人絶滅の危機を知りフリーザに戦いを挑む!! カカロット(＝孫悟空)の父親。

⬅カナッサ星を絶滅させた5人組!! だがバーダックは、生き残りのトオロに未来予知の力を与えられる!!

➡バーダックの強戦士ぶりはサイヤ人の間でも有名だった!!

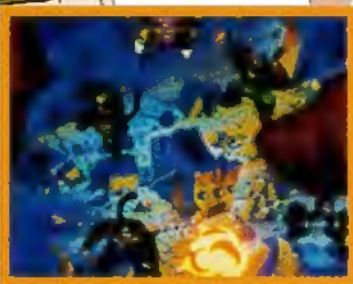
参上！宇宙の地上げ屋

パンブーキン

巨体に似合わずすばやい動きをする戦士！フリーザに忠誠を誓い感謝すらしていたが、ドドリア一味に倒されてしまう!!

トーマ

5人のサブ・リーダー的存在！誇り高い戦士で、フリーザの裏切りをバーダックに伝えた!! ドドリアに倒される。

⬅大猿になりカナッサ星を襲撃!! 上からセリパ、バーダック、パンブーキン、トーマ、トテッポ。

⬅4人はフリーザの裏切りで命を落とした!!

セリパ

珍しいサイヤ人女性戦士！だが戦闘力は高いぞ!! 女性だけに子供への愛情は他のサイヤ人よりも少し強いようだ!!

トテッポ

5人の中ではいちばんの巨体！無口でいつも何かを食べている大食漢だ!!

カカロット

地球へ送られた未来の超戦士!!

生まれたばかりのバーダックの子！ 惑星ベジータの崩壊直前に地球へ送られ、孫悟飯老人に拾われる。この当時のカカロットの潜在能力は低く、戦闘力もわずか2だった！

➡少年時代のカカロットも予知夢に登場!!

現在の悟空

⬆成長したカカロットは世界征服を企む悪のピッコロ大魔王と闘った!!
⬅青年になったカカロット!! ナメック星でフリーザと闘うことに!!

超戦士の系譜！ 悟空編

バーダック
カカロットの父。だが、子への愛情は持たない!!

孫悟飯そんごはん
赤ん坊の悟空を育てる。温厚な老人だ!!

ラディッツ
カカロットの兄。ピッコロに倒される。

カカロット
地球での名は孫悟空!! 宇宙一の戦士!!

チチ
元女性武闘家で牛魔王の娘。悟空と結婚。

孫悟飯そんごはん
悟空とチチの子。驚異的な戦闘力を秘めている戦士!!

サイヤの血を受け継ぐ者たちだ!!

孫悟飯

地球に到着したカカロットを拾い、自分の孫として育てる老人だ！「孫悟空」の名付け親でもある！ じつは武道の達人で亀仙人の一番弟子!!

超戦士の系譜！ ベジータ編
ベジータ王
ベジータの父親。フリーザに倒される。
ベジータ
ブルマ
惑星ベジータの王子!! 悟空の宿敵となる!!
悟空の幼い頃からの仲間。メカの天才だ!!
トランクス
ベジータとブルマの子。未来から来た超戦士!!
ベジータ
戦闘訓練でサイバイマンを一瞬で撃破!! だが、これでも手加減しているのだ!!
惑星ベジータの王子で、サイヤ人の超エリート戦士だ!! 少年だが戦闘力は驚異的に高い!! 非情な性格でプライドが高く、フリーザにもひそかに敵対心を抱く!!
サイヤ人の気高き王子!!
現在のベジータ
ナッパ
ベジータ直属の部下!! 名門出のエリート戦士で戦闘力も高く、短気! 24年後の地球侵攻の時、悟空に破れベジータに殺される。
●この紋章は何だ!?
右のベジータを見てくれ！ 胸についている紋章、これこそ惑星ベジータの王家の印なのだ!!

凶悪にして残忍!! 戦慄の異星人たち!!

フリーザ

圧倒的な強さで数々の惑星を支配する絶対の悪だ!! サイヤ人を手足のように使いながらも目ざわりに思い、惑星ベジータを崩壊させる!!

➡指先のエネルギー弾ひとつで、惑星を消す力が!

⬅惑星ベジータを壊滅させるフリーザ!! それを「きれいな花火」だと狂喜した!!

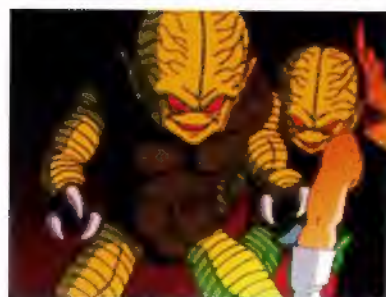
⬅フリーザ専用の浮遊メカ。

ザーボン

フリーザの側近として、つねに行動をともにしている!! 美を好む戦士で頭も切れる! フリーザに「サイヤ人がやがて反逆するのではないか」と進言する!

ドドリア

戦闘を楽しむ凶悪な戦士!! 頭よりも力でものごとを解決しようとするタイプだ!! フリーザの命令により、惑星ミートでバーダックたちを襲撃する!!

サイバイマン

種から生まれる雑兵!! ベジータの訓練時のサイバイマンは強化タイプだ。言葉はわかるが話せない。

医師

カナッサ星で重傷をうけたバーダックを治療。また、生まれたばかりの子供の養育も担当している。

ドドリアの部下

トーマたち4人を襲撃した。下級戦士だからとバーダックをなめて襲うが、逆に倒されてしまう。

●ミスター・ポポ

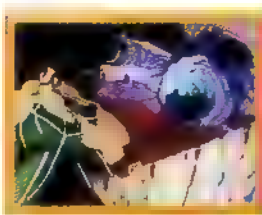
●ブルマ

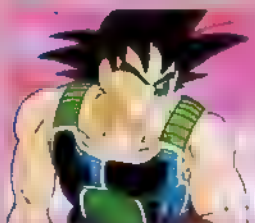
●ピッコロ大魔王

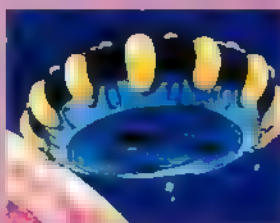
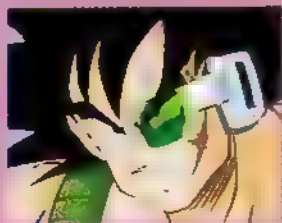
トオロ

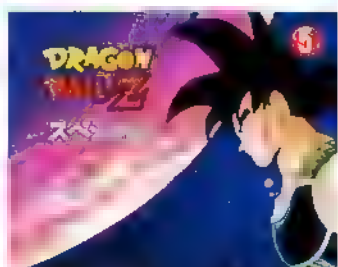
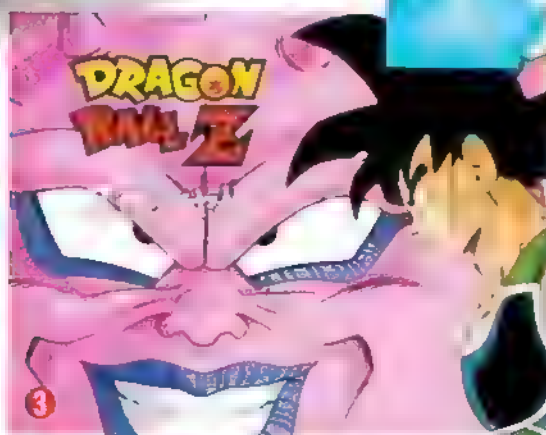
超能力が身につくエネルギーがあるとウワサされていたカナッサ星の最後のひとり。星を滅亡させたサイヤ人を憎み、バーダックに対して、未来を予知する幻の拳を放った!!

⬆休息中のバーダックのふいをついて反撃、幻の拳を放つトオロ!!

➡幻の拳を放った直後に倒される。

カナッサ星の襲撃後に、トーマたちが[illegible]った[illegible]星の主だ!! [illegible]はそれほど[illegible]していないようで、トーマたちにすぐに全滅させられてしまった。

プロテクター

サイヤ人の宇宙船

フリーザの宇宙船

スカウター

アイキャッチ・コレクション!!

「アイキャッチ」とは、CMの直前直後に挿入される画面のこと!! ここでは特番のみに使用されたアイキャッチをすべて収録したぞ!!

特番のアイキャッチは全部で6種類存在する! 実際に放映されたのは⑥②④③⑤①の順番だ!! また⑦はエンディング曲終了直後に流されたぞ!!

特番だけのオリジナルを完全掲載!!

TV SPECIAL

たったひとりの最終決戦
～フリーザに挑んだZ戦士孫悟空の父～

カナッサ星
グルルル
グオーッ
クッ!!
ドウッ
ドウッ

グルルル
ドウッ
ぐわ——っ!!
グオーッ

グシャッ!!
グオーッ!
うわーーっ!!
グオッ!
ズウン
ズドッ

ゴゴゴゴゴゴゴゴ
キャッ！
ヅッ!!
ヴルルル
グググググ〜〜〜！
ハァ
ハァ
ハァ

クオー!!
うわっ!!
グルルル……
ギャーっ!!
ズーン…

ドゥン
ズズーン……
ズズーン……
ドゥーン
ズゥン

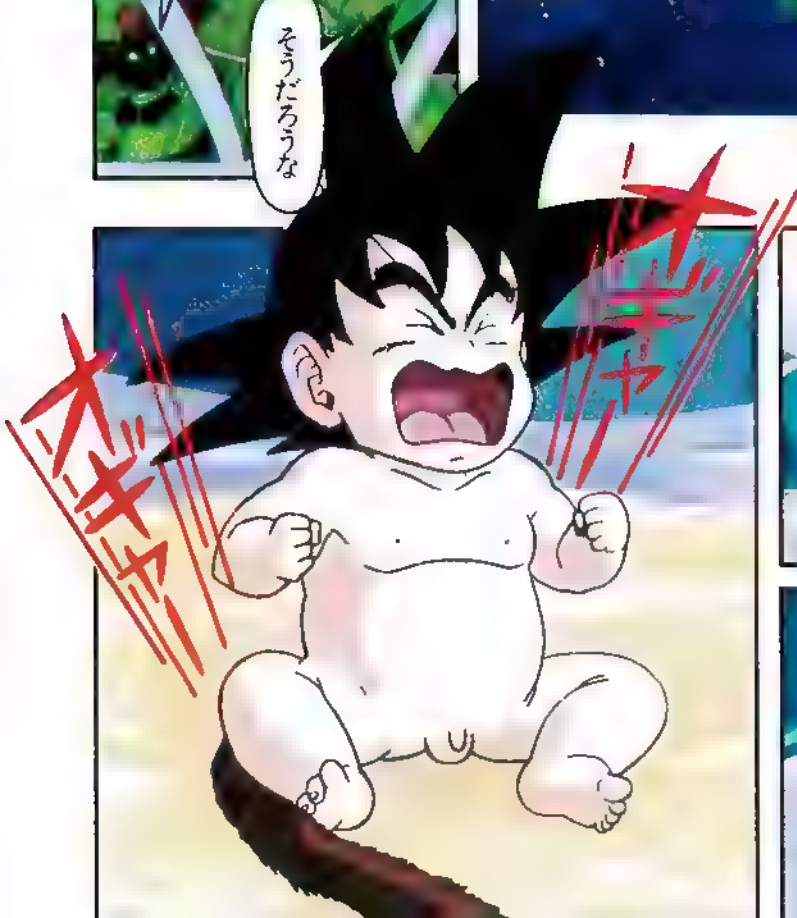
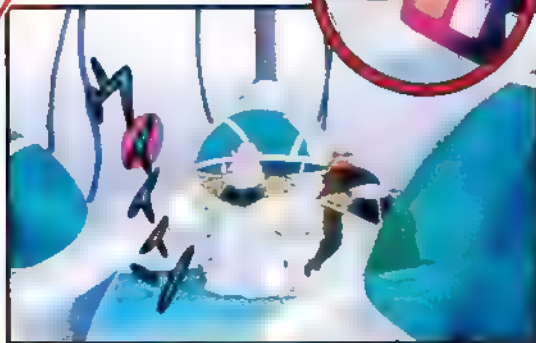
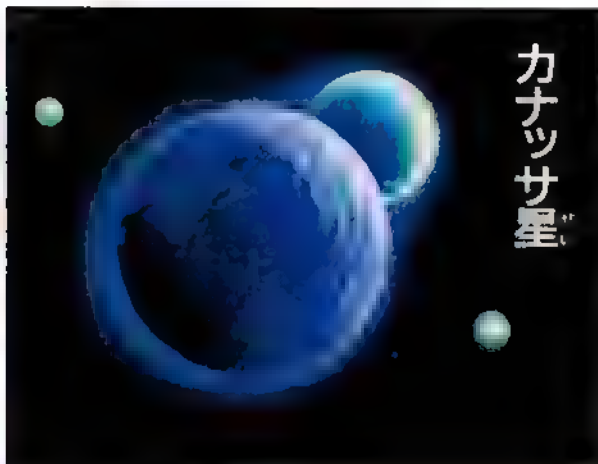
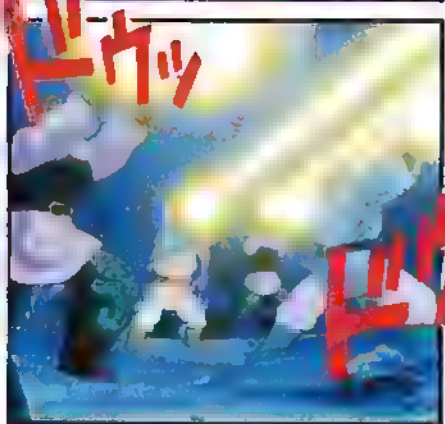
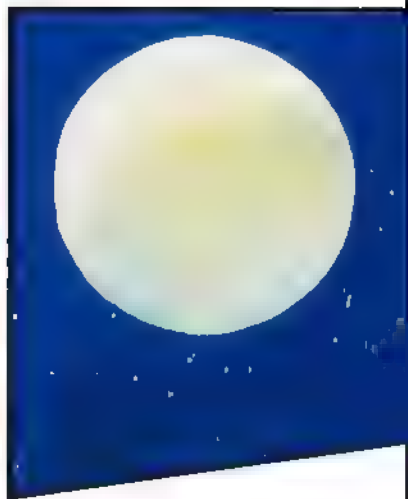
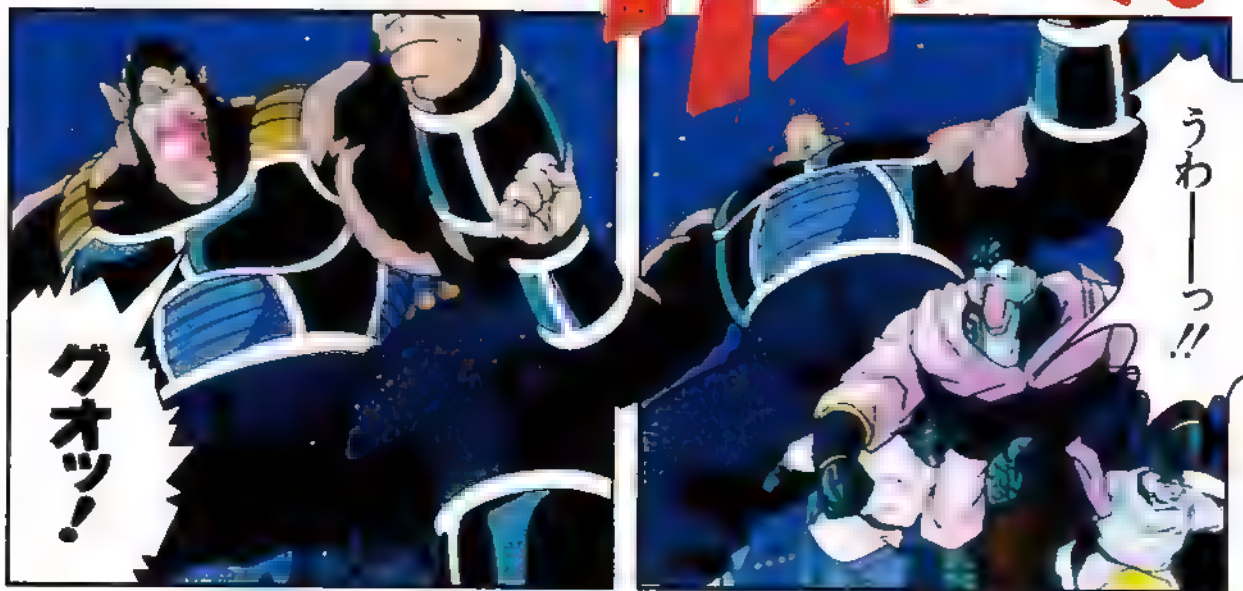
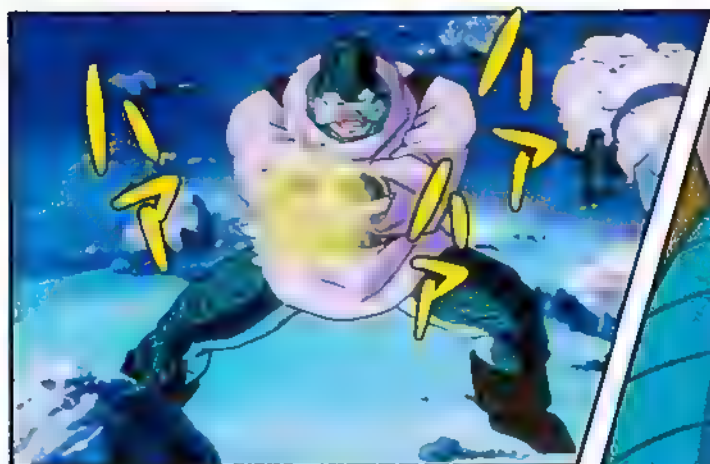
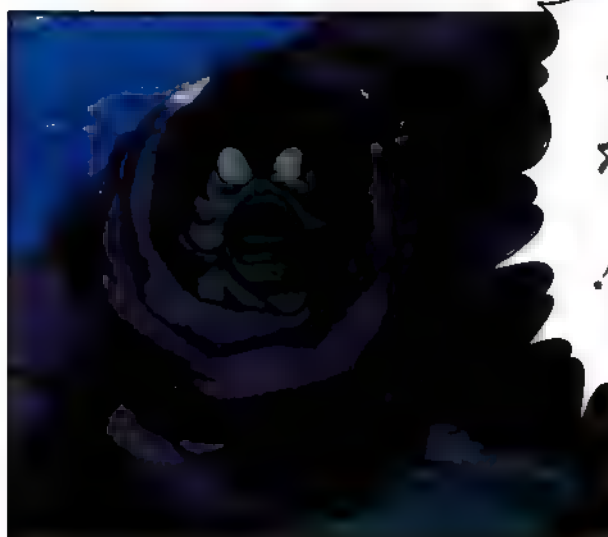
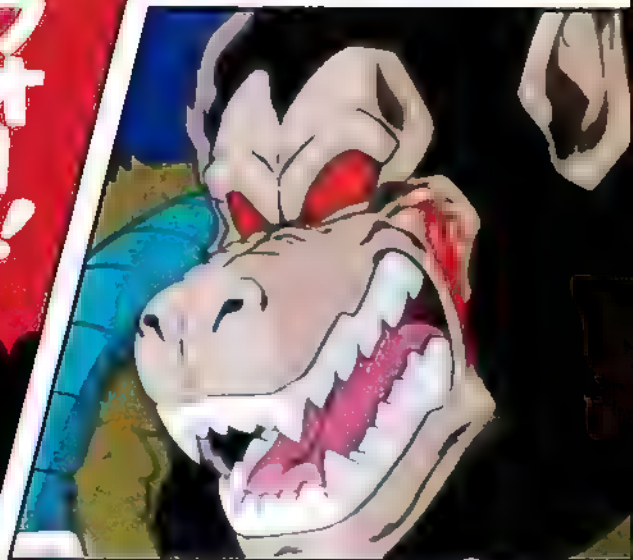
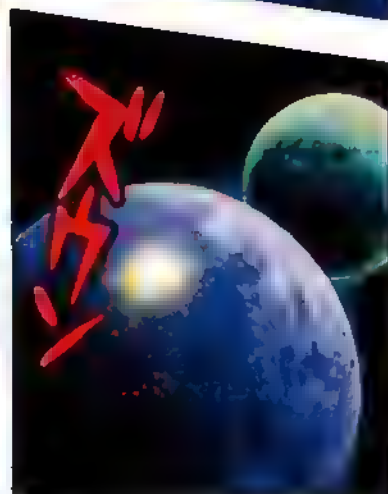
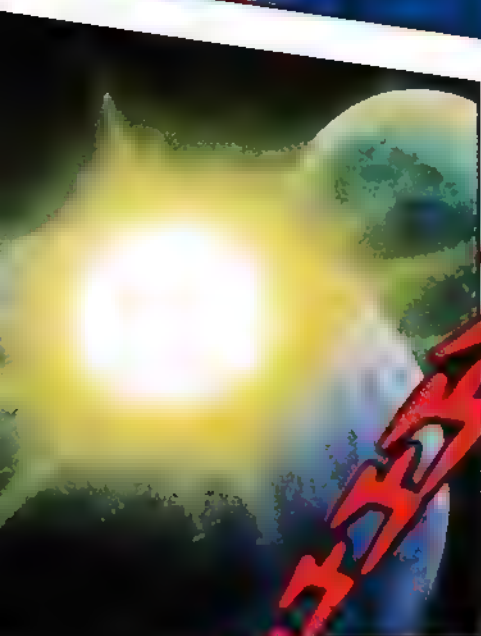
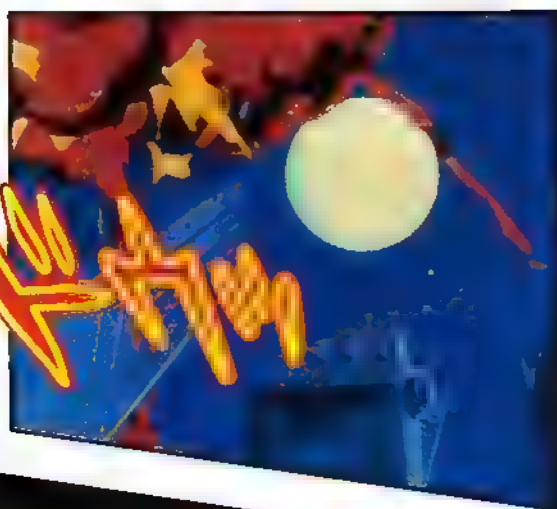
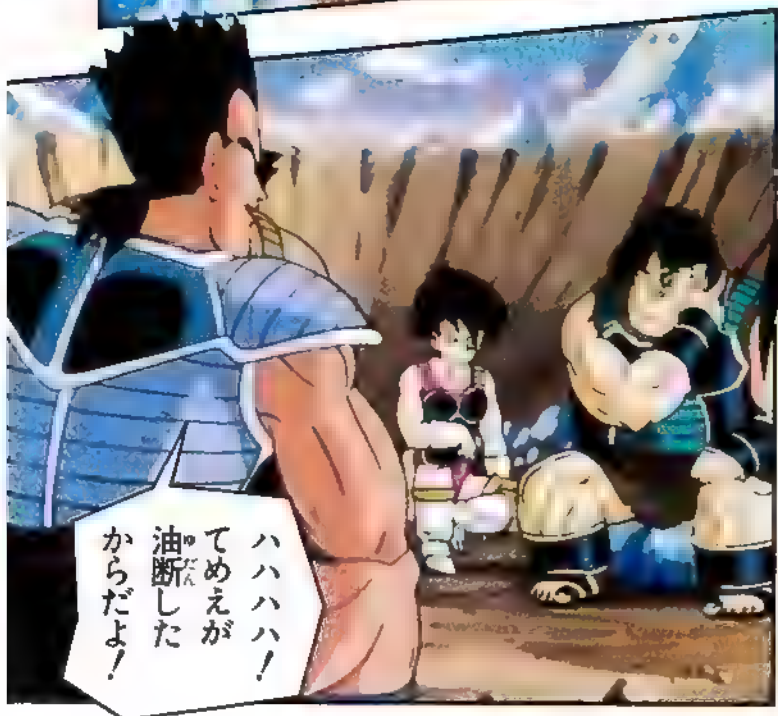
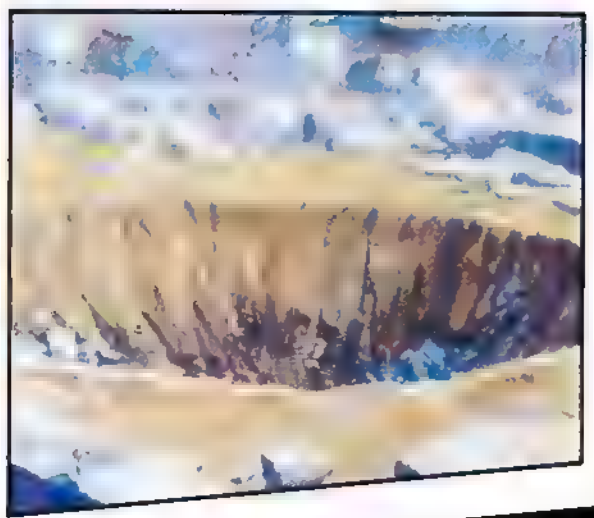
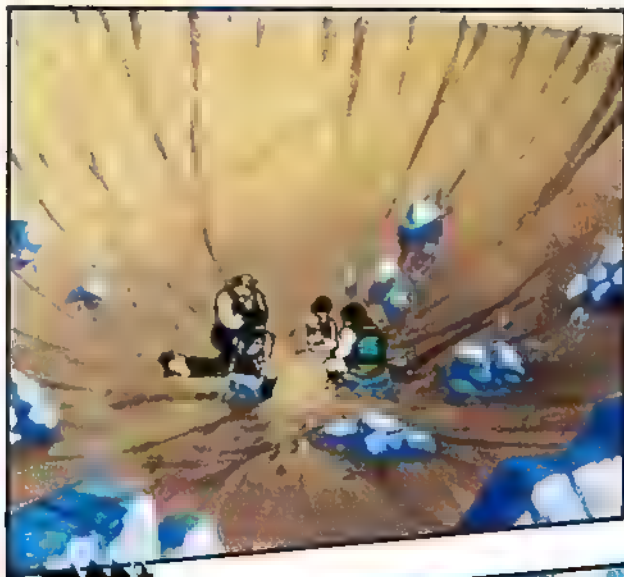
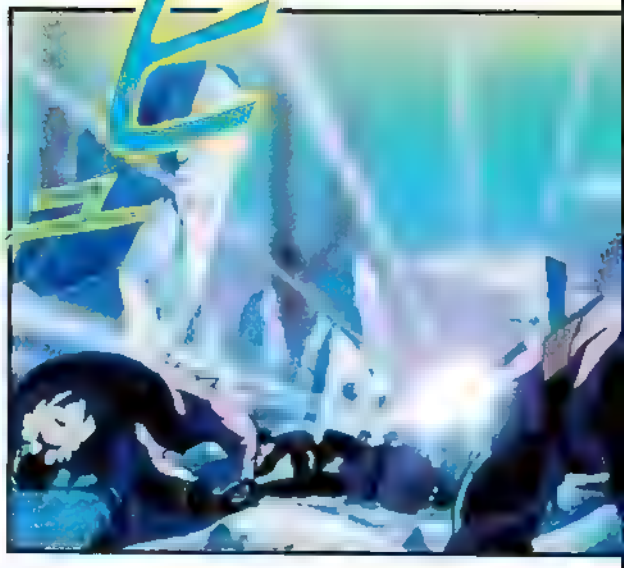
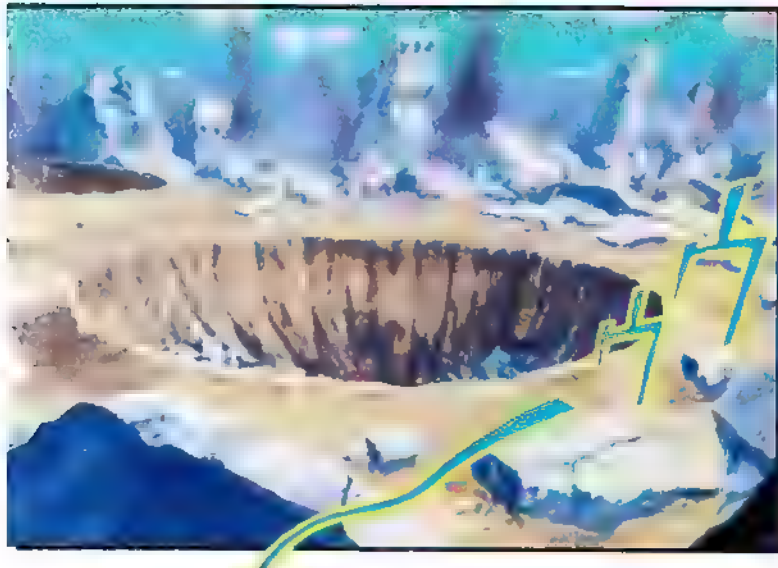
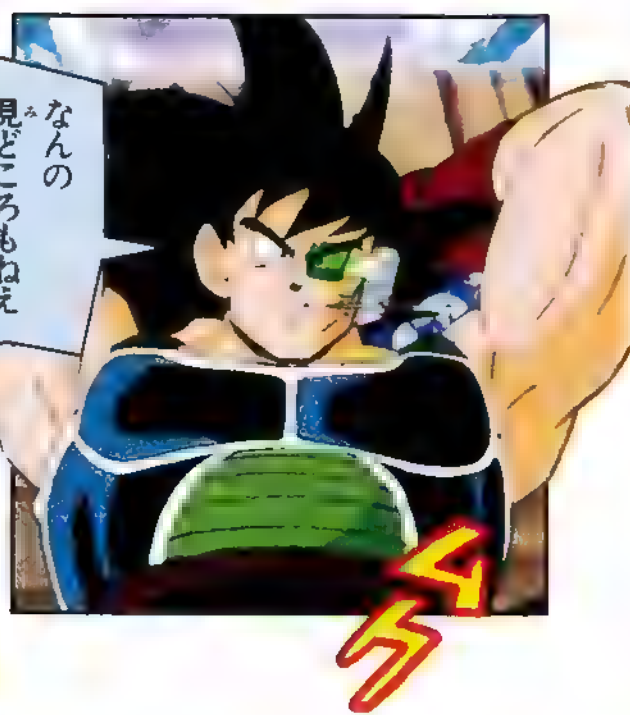
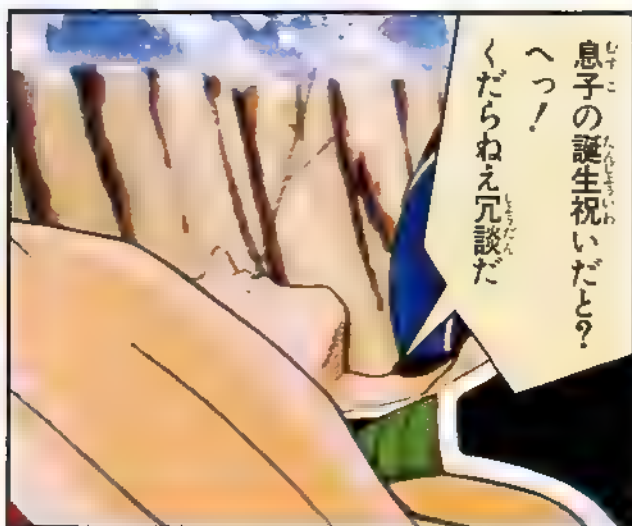
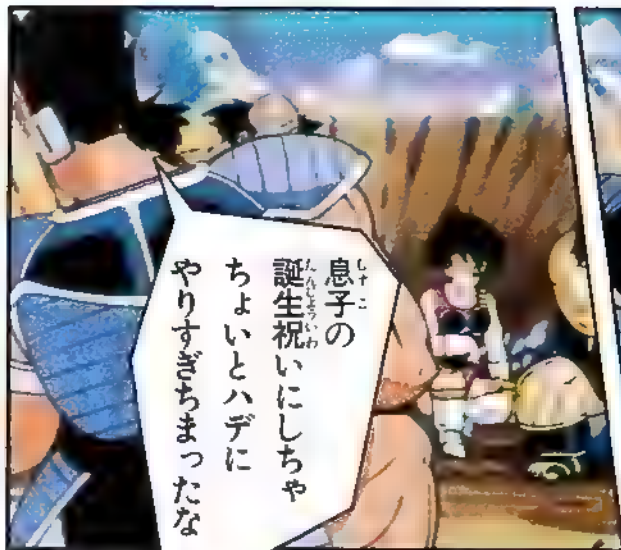
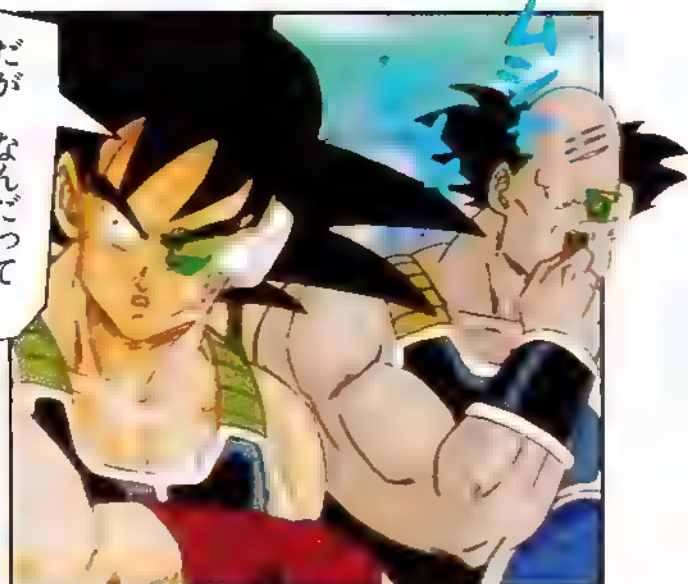
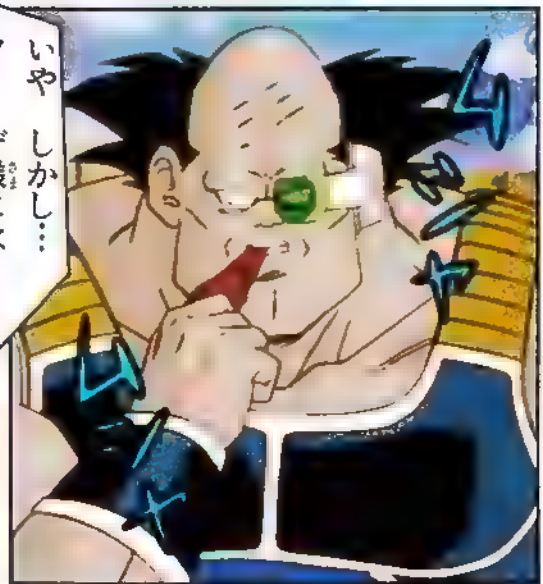
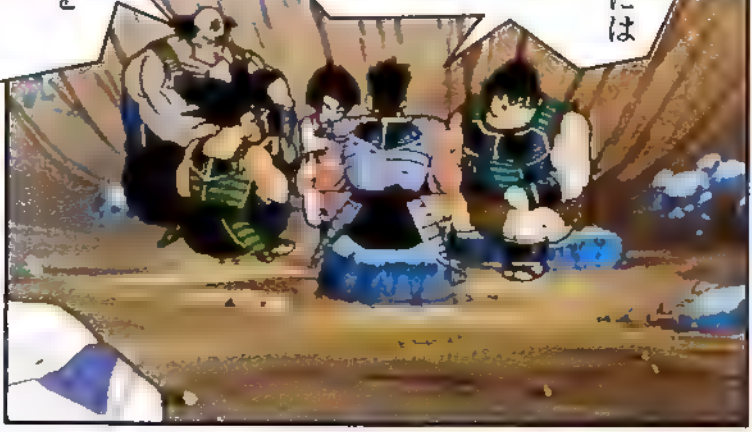
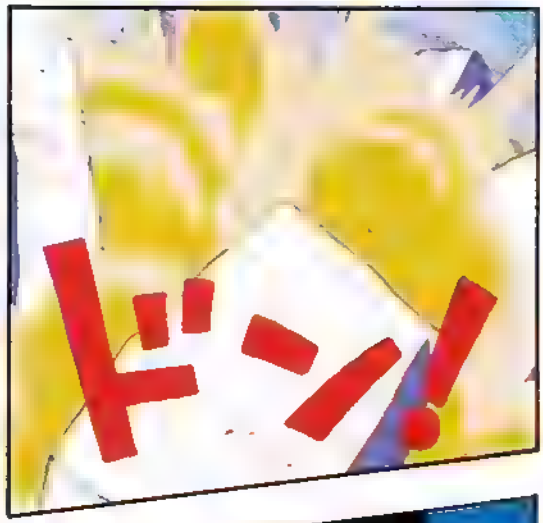
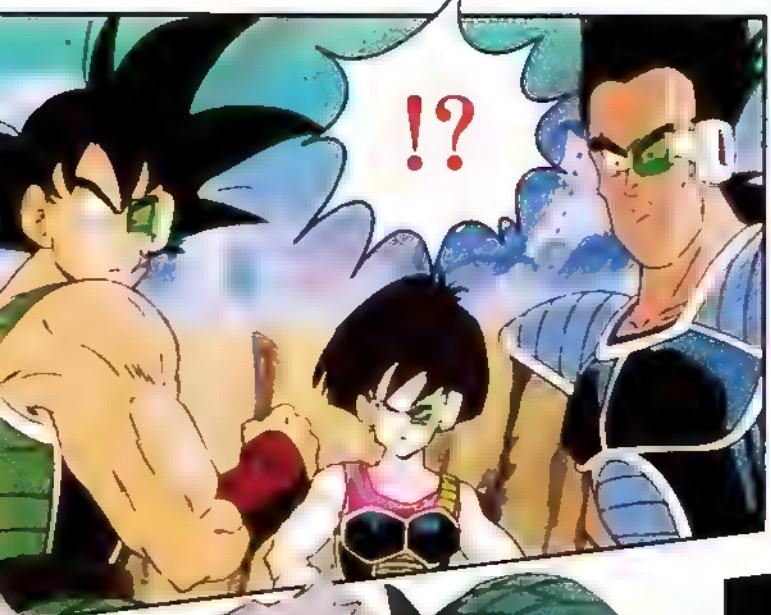
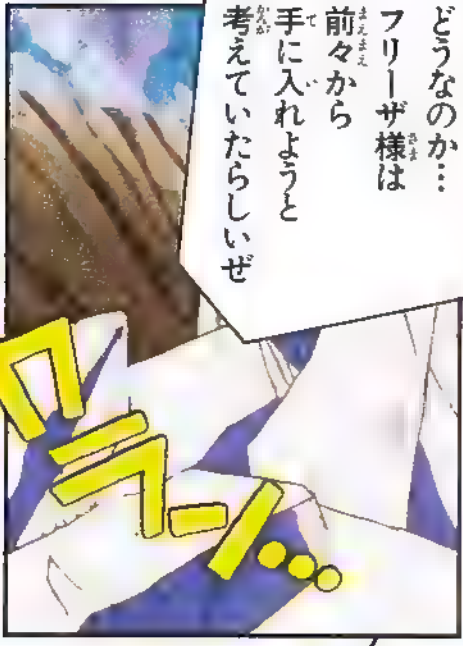
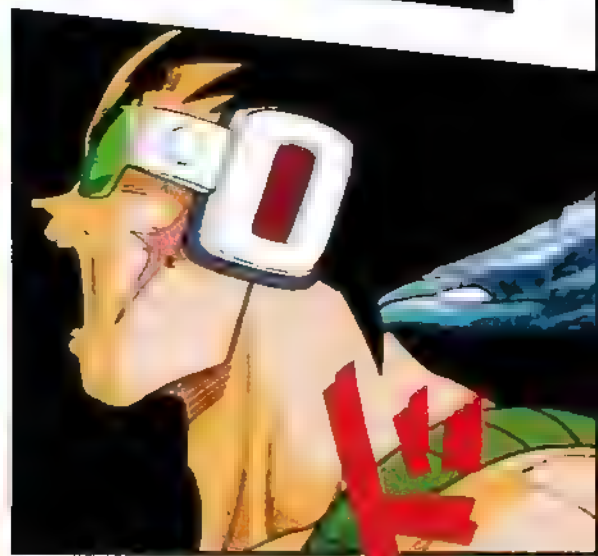
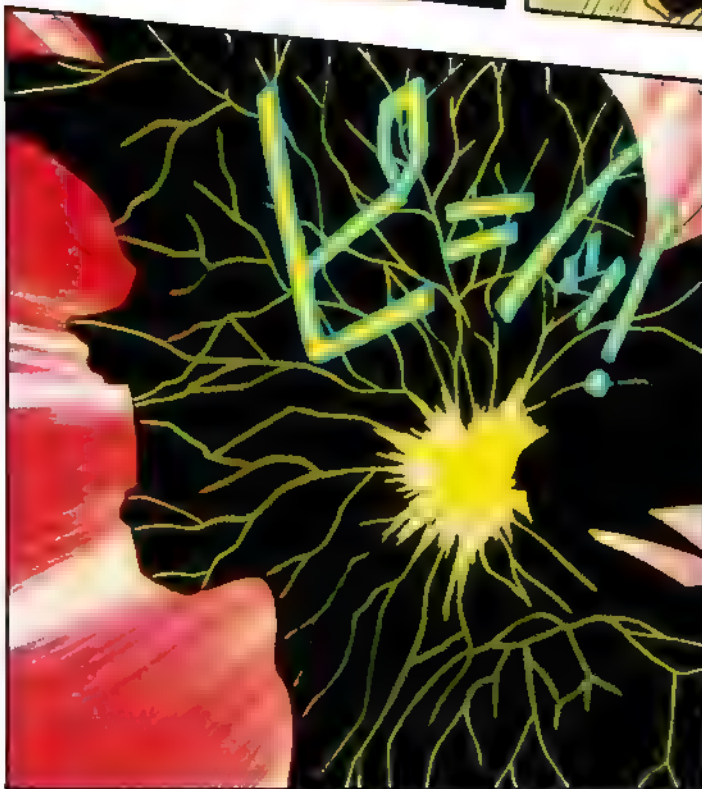
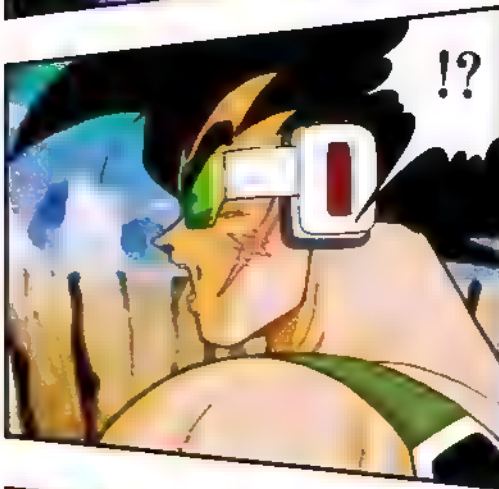
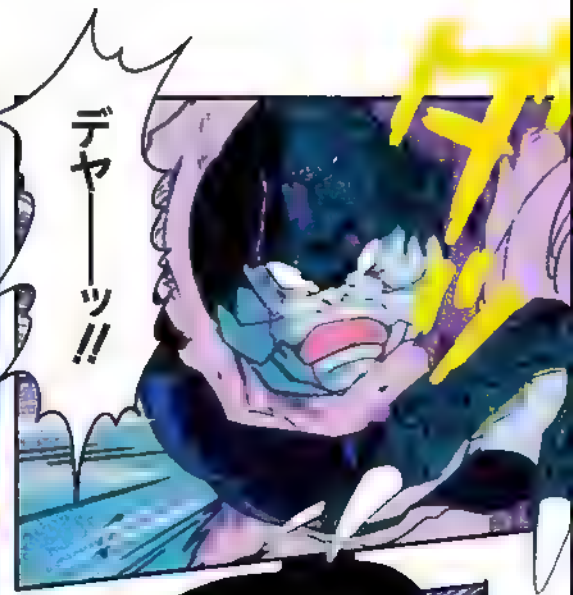
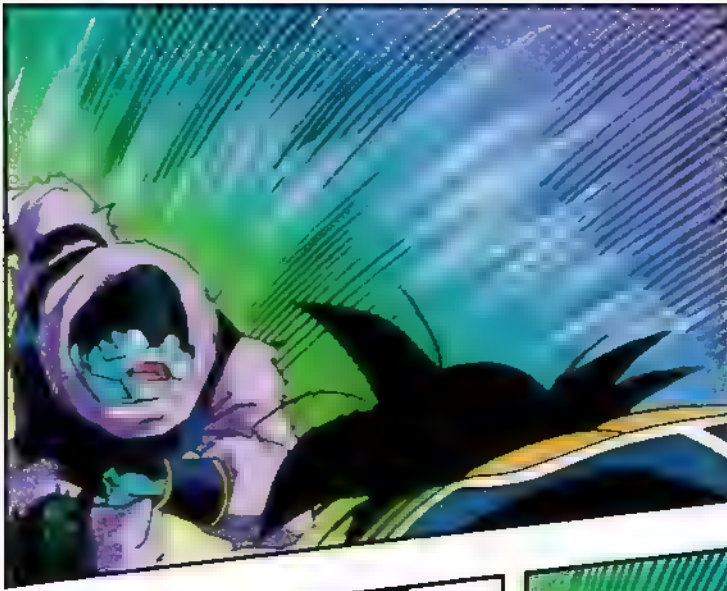
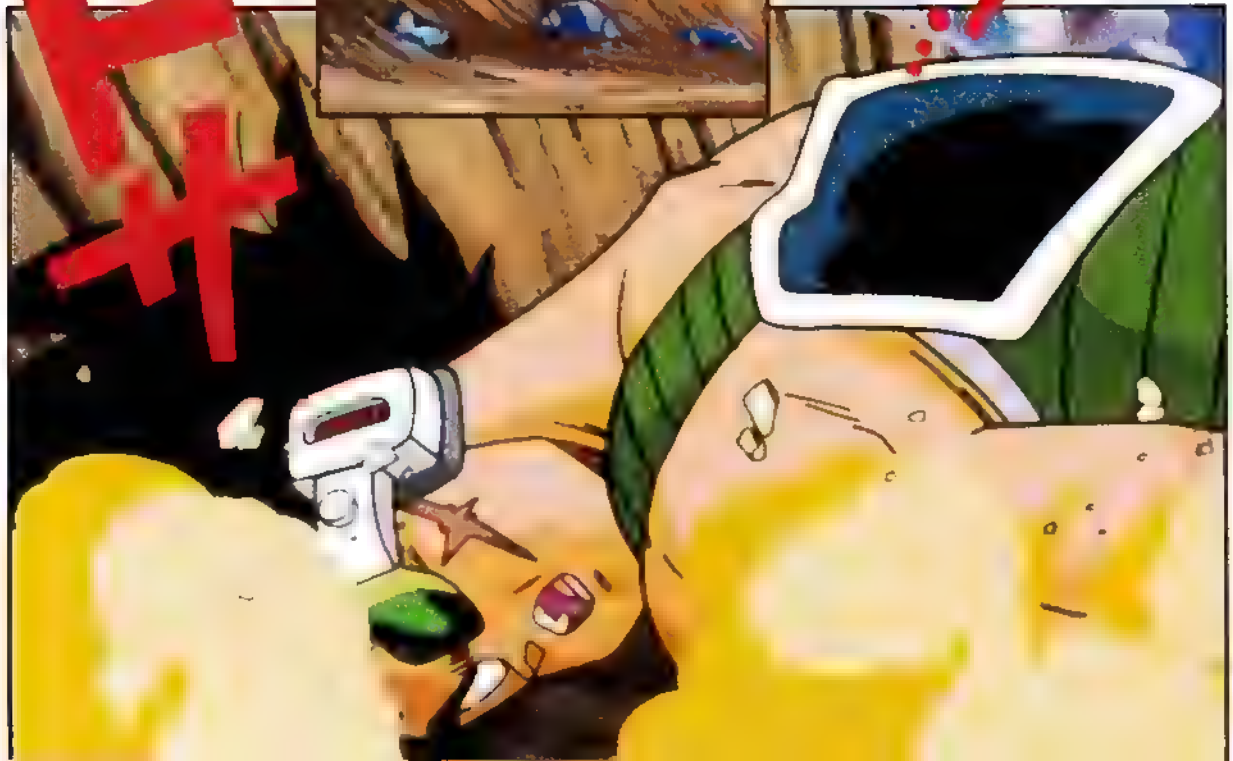
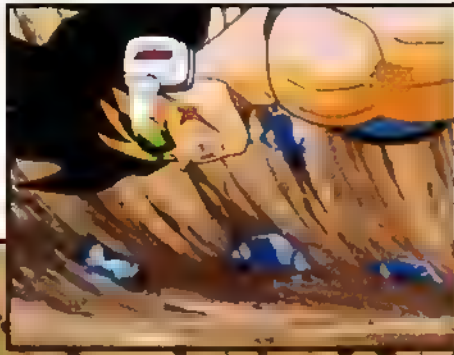
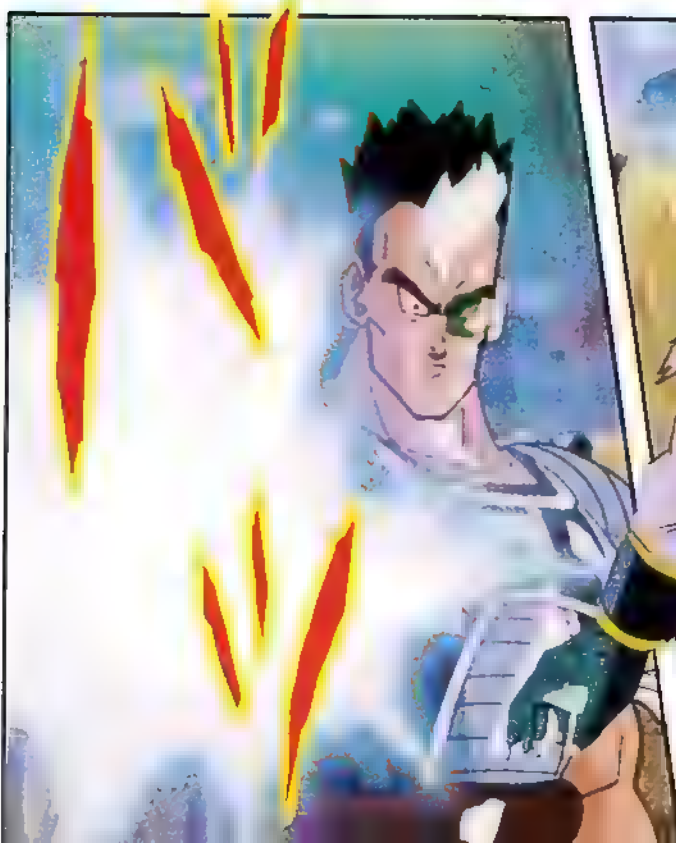
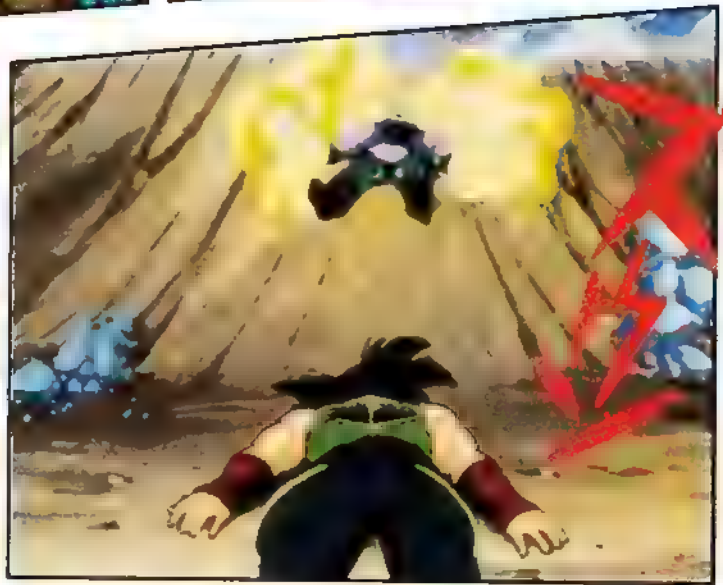
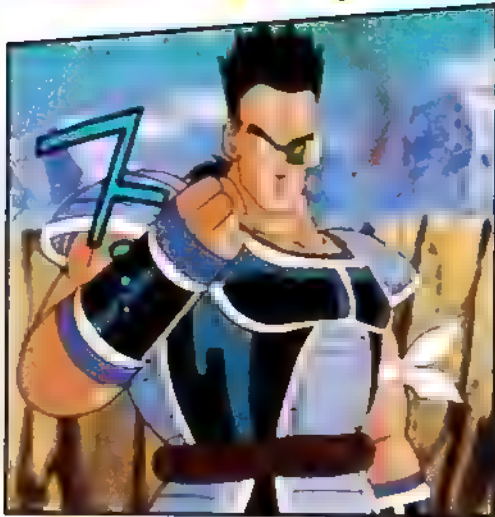
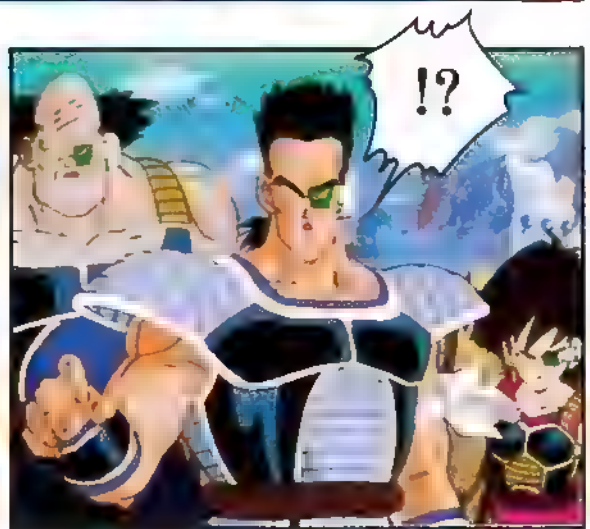
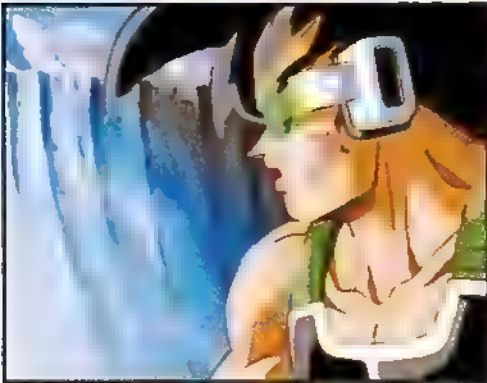
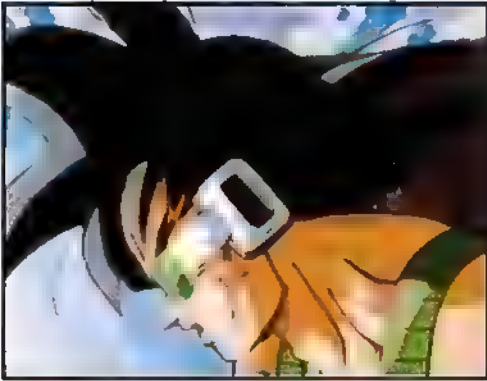
けっ！ちくしょう!!
ハハハハ！てめえが油断したからだよ！

なんの
見どころもねえ
最下級兵士の
クソガキに…

わざわざ
会いに行く
バカがいるか!?

どうにでもしろと言っとけよ！
フッ…
そうかい…

いや しかし…
フリーザ様には感謝しなくちゃな
毎度 毎度
オレたちをよく使ってくださるぜ
ムキィィ

だが なんだって
フリーザ様はこんなチンケな星を欲しがってらっしゃるんだ？

なんでもこのカナッサ星には変な超能力を身につけられるエネルギーがあるっていうウワサがあってな…
そんなウワサを信じてるのかどうなのか…フリーザ様は前々から手に入れようと考えていたらしいぜ
カラーン…
!?
ドン!
なっ…!?

ダッ
デヤーーッ!!
ブッ!
!?
ドッ

グラ
ドサ

このヤロウ！
ドガッ
バッ
ヨロ……

グオッ!

!?

メキメキ

ちぃ!オレも油断してたぜ!
このヤロウ!!

聞け…わしは今おまえに未来を予知できる幻の拳を放った!

未来を予知!?
おまえら一族の行く末が見えてくるはずだ…

言っておくがおまえらには呪われた未来しかないぞ!!
何を言ってやがるんだ…!?
わが一族と同じように滅びさせるのみなのだ!!

その未来の姿を見て
せいぜい
苦しむがいい!!

ほざけ――っ!!

ドゥーン

バラバラ
バラバラ…

ヘッ!!
笑わせるぜ!
オレたち
無敵のサイヤ人が
何を見て苦しむと
言うんだ!?

なあ…
バーダック…!?

ドサ
バーダック!!
どうしたバーダック!!

グエッー!

グエッ!

キエ〜〜〜ッ!!

ザッ

?
すべての攻撃をかわしている…
なんて…ヤツだ

バッ
カッ

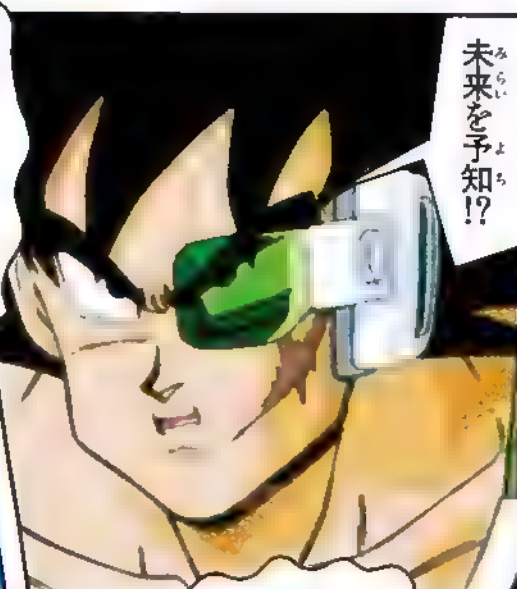
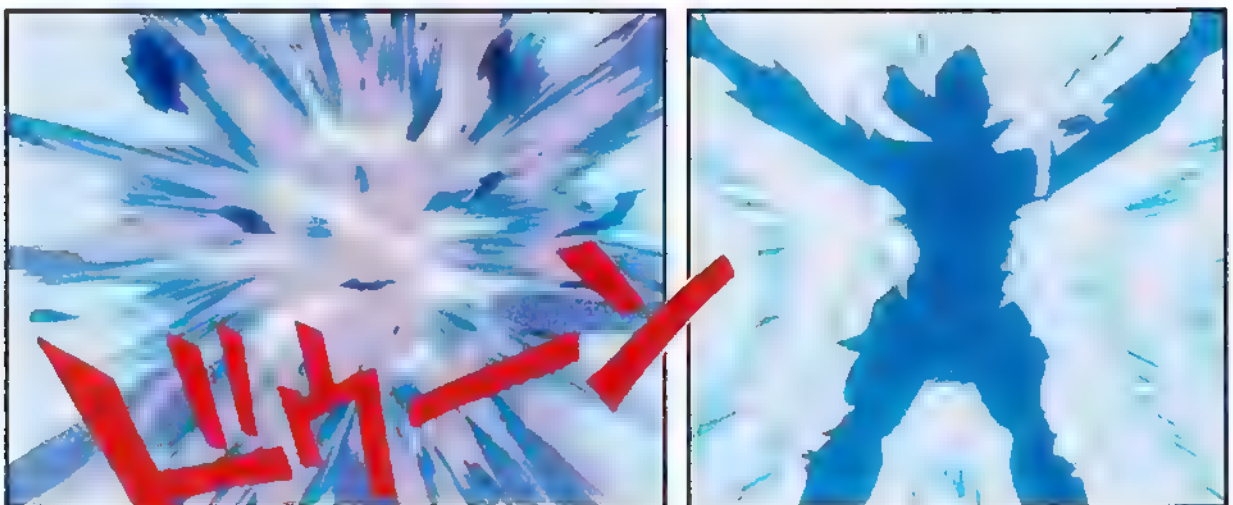
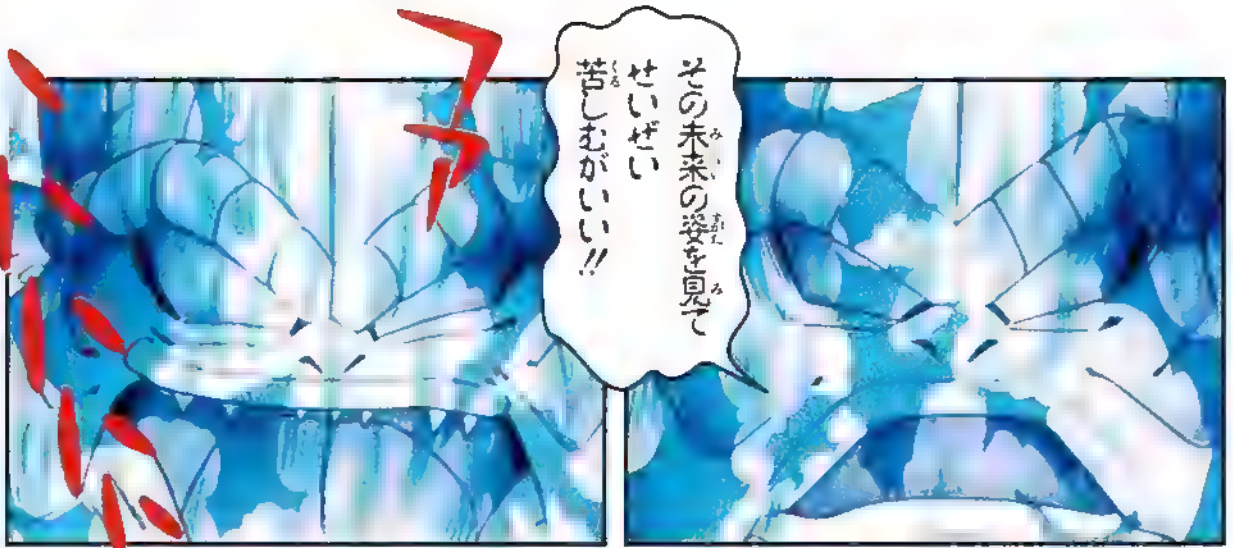
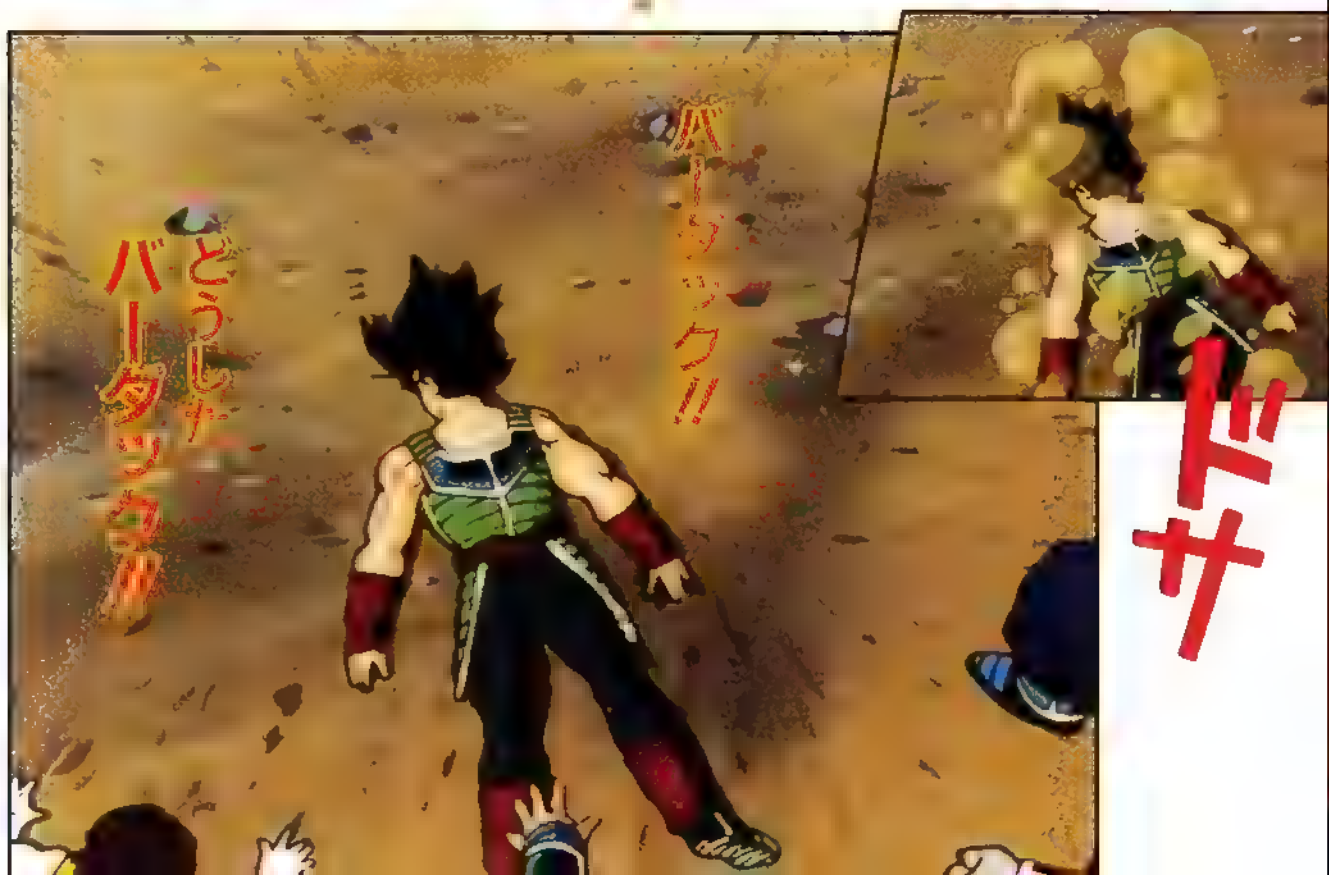
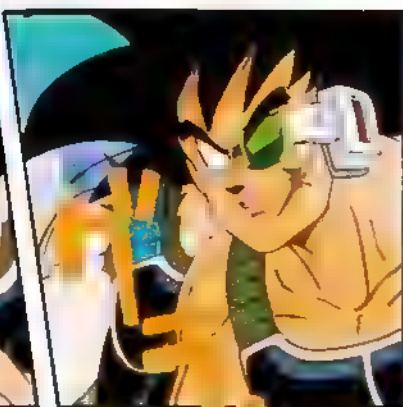
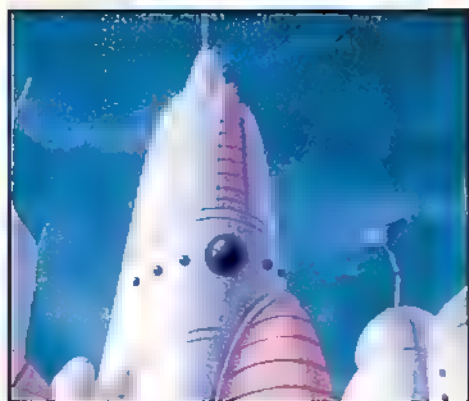
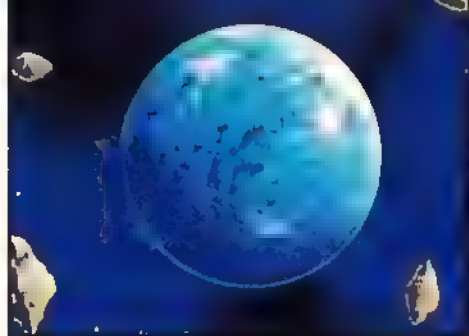
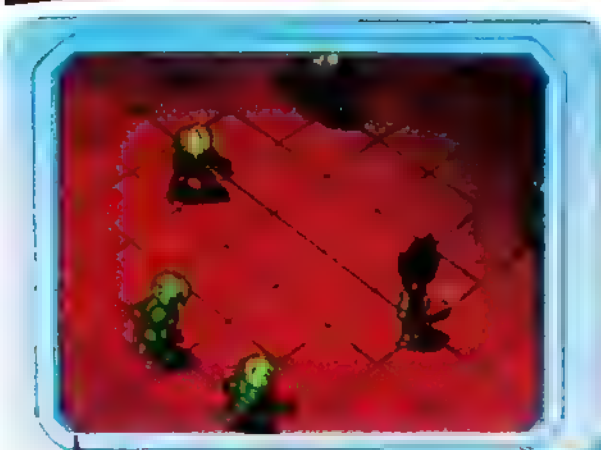
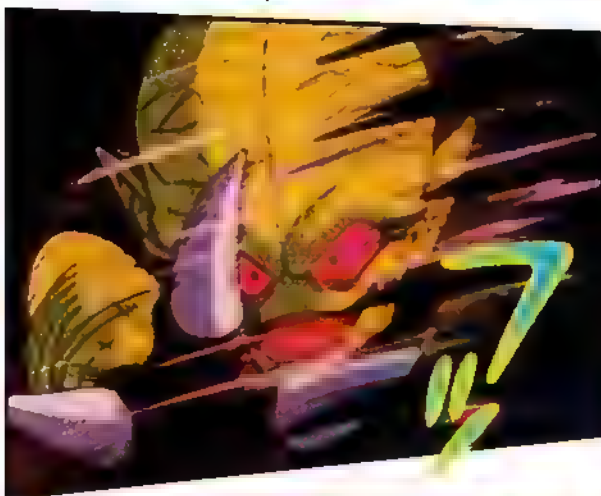
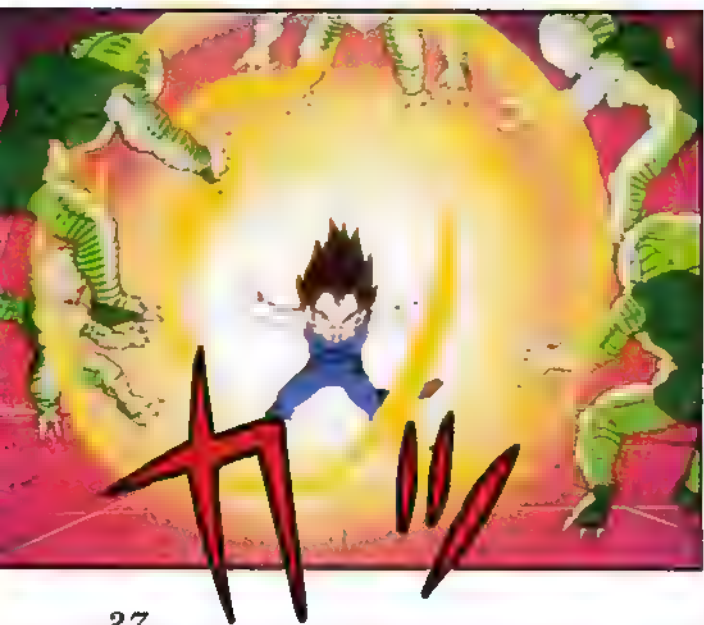
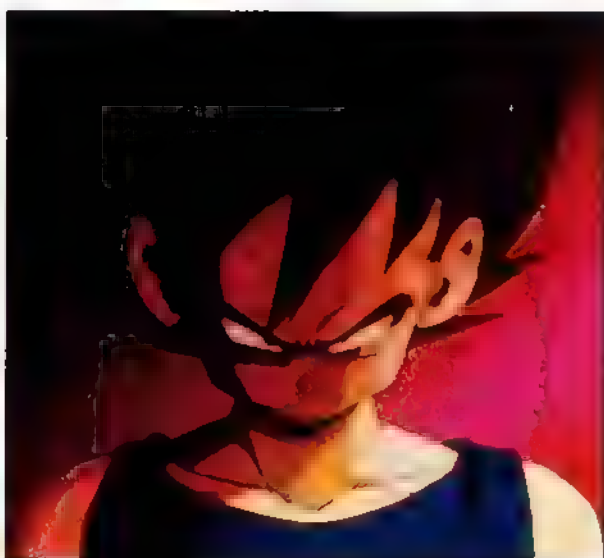
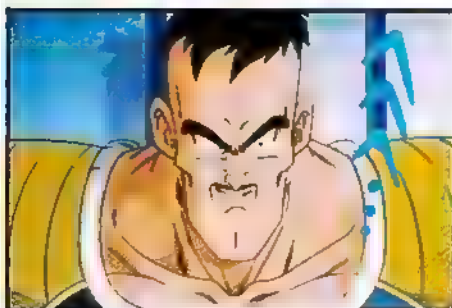
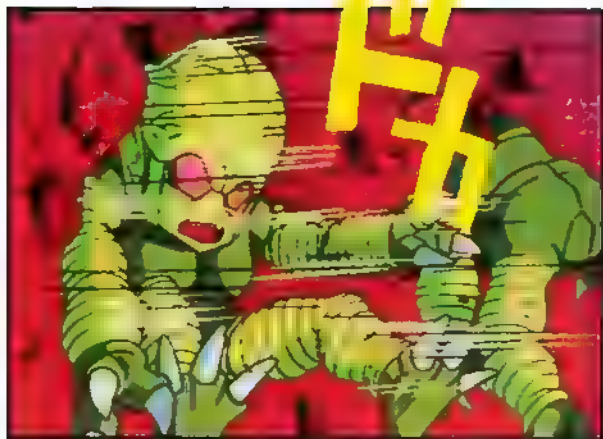
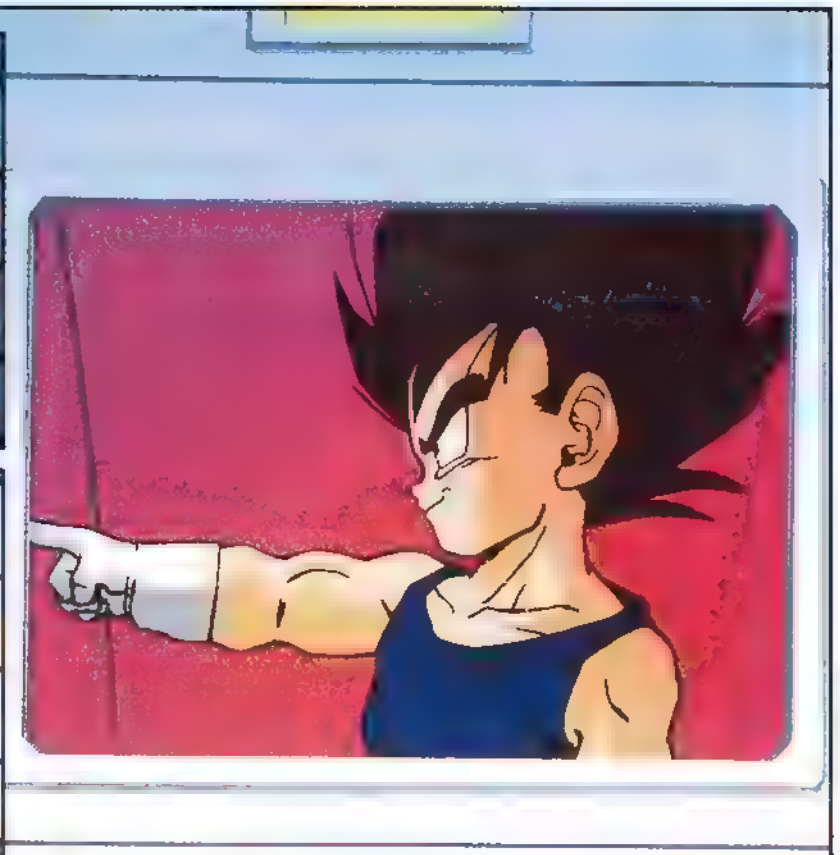
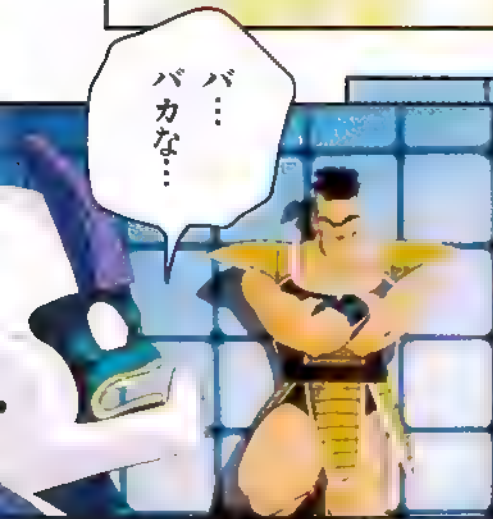
ドカ

ドカ

ドカ

ドカ

ドサ

ピ

ドウッ
ズ
ズドウン
バ…
バカな…
あの
強化サイバイマンたちを
ほんの数秒で…

なにが
バカな
もんか
ベジータ様は
あれでも
手かげん
している
ぐらいだぜ
フフフ…

末恐ろしい
ガキだぜ…

おわったぞ！
早くゲートを
開けろ!!

りょ…
了解…!!

ウィーン
へへへ…
さすがですな

フン！
くだらん
おべんちゃらは
よせ!!

こんな星にいたんではちっとも強くなれない

フリーザ様にどこかまた占領する予定の星をひとつ　もらえるようねだってみる…

えっ　またですかい？

いやなのか!?

へへへ…とんでもない！

フリーザ様　たった今カナッサ星を占領したという報告が入りました予定より１か月ほど早く手に入れることができました

ほう…

誰なんだ? そのカナッサ星を攻め落としたってヤロウは!?
名もないサイヤ人の下級戦士どもだ
最近のヤツらはよく働きやがるな
サイヤ人…
たしかに目ざましいものがある
特にフリーザ様が目をかけていらっしゃるあの王子のベジータなどはとてもガキとは思えない戦闘力だしな…
それだけではないひとりひとりではたいしたことないヤツらも徒党を組むととてつもない力を発揮するようなのだ
ヘッ! おまえ 何をおびえているんだ?

フッ… 目ざわりになる… というわけですね?
ハ… ハイ…
プシュー…
なんだ キサマ!?
ツカ ツカ

その必要はない
サッサと言われた星の地上げをしてこい!

いいんですよ
ザーボンさん

フリーザ様・・・

ベジータさん
しっかり
働いてきて
くださいね

ありがとう
ございます
ホホホ…
礼には
およびませんよ

…………

ゴボゴボ
ゴボゴボ…
さすがはバーダックだなわずか数日でほとんど完治してしまうとは…！
こいつは下級戦士ながら星を地上げに行くたびに死にそうになって帰ってきやがるからな
ああ…
今じゃ戦闘力が1万近くになっているはずだ…
どうなんだヤツは？
たいしたヤロウだ

ピピッ
肉体的にはまったく問題ない完璧だ
ピピッ
だが…脳波にすこし異常があるとコンピューターは診断していてな…

そうか

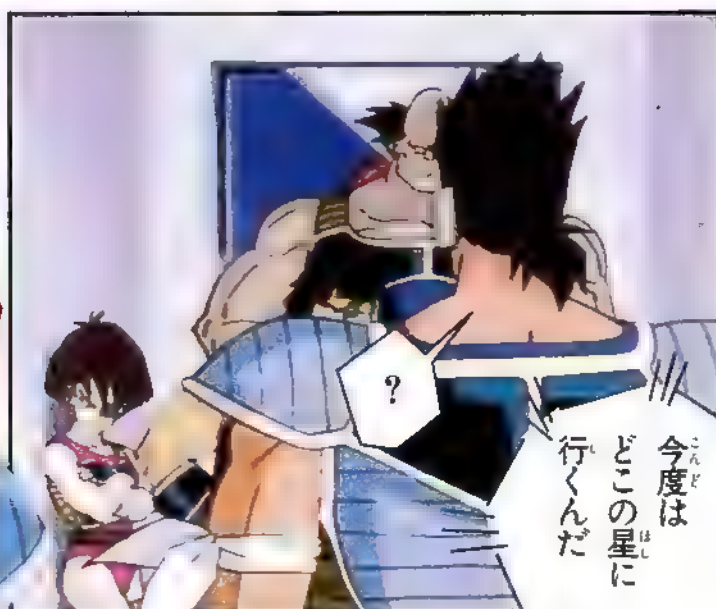
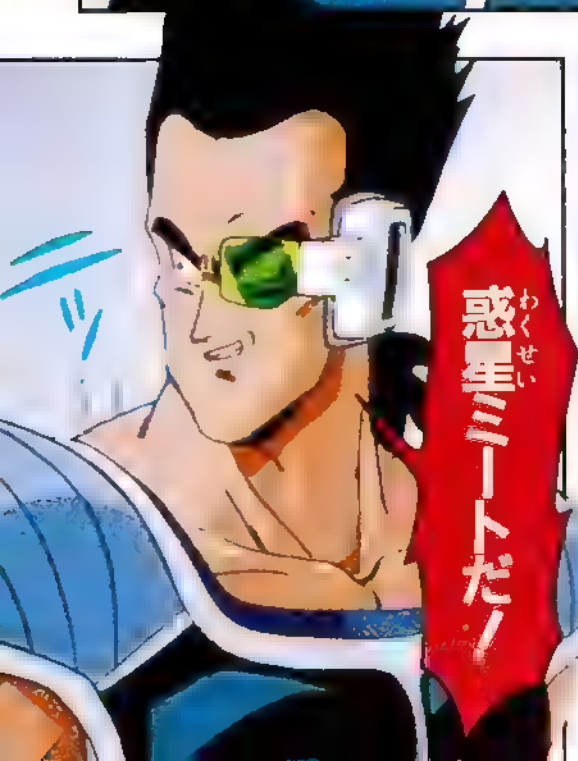
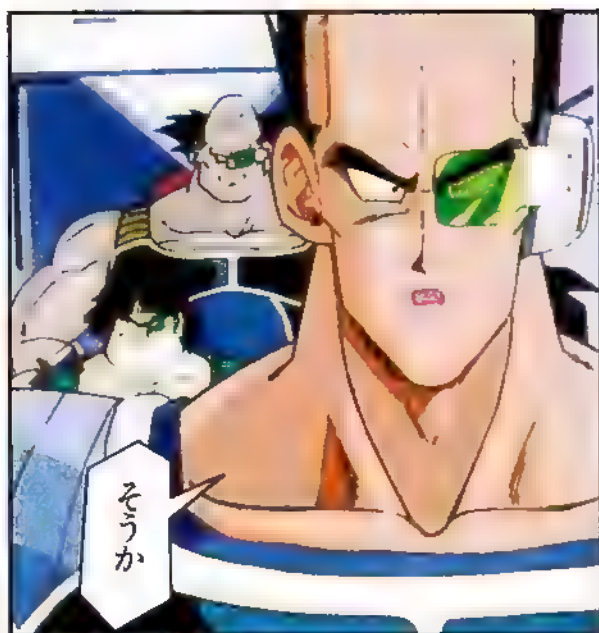
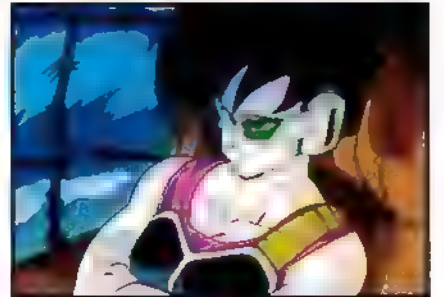
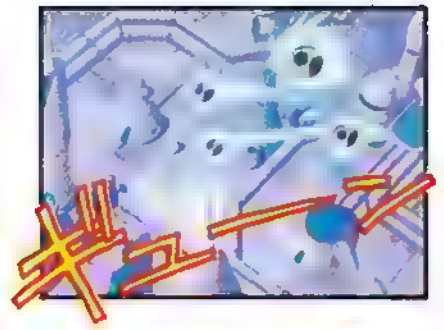
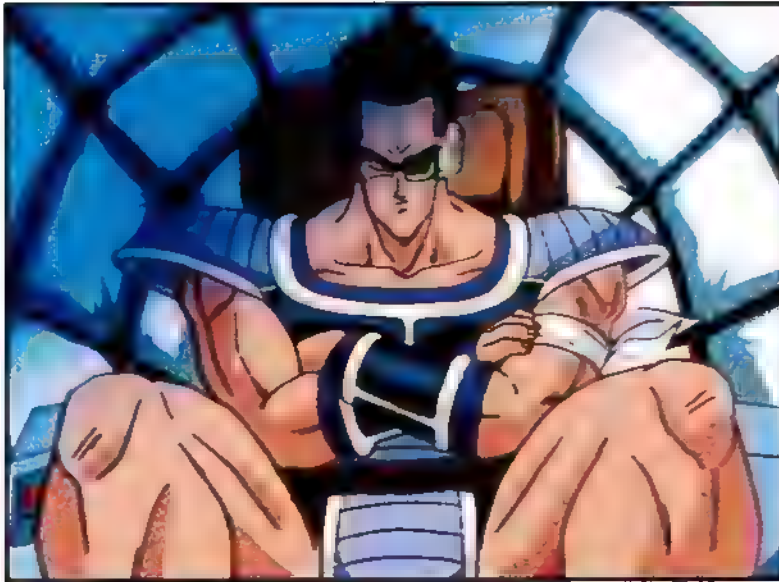
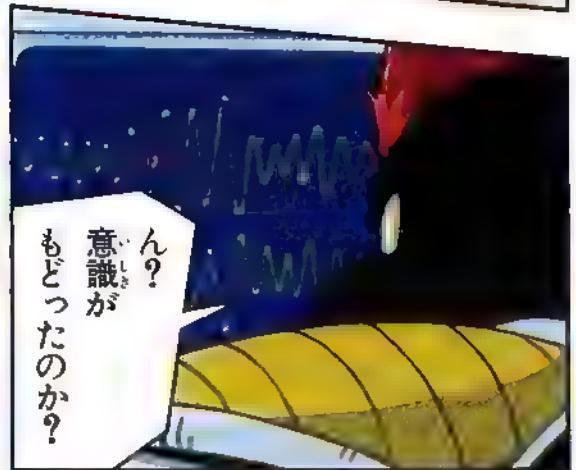
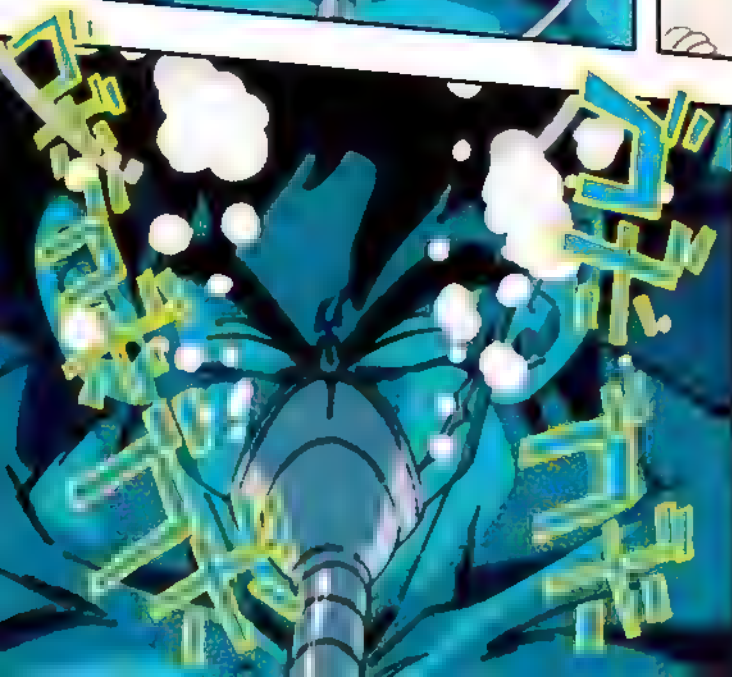
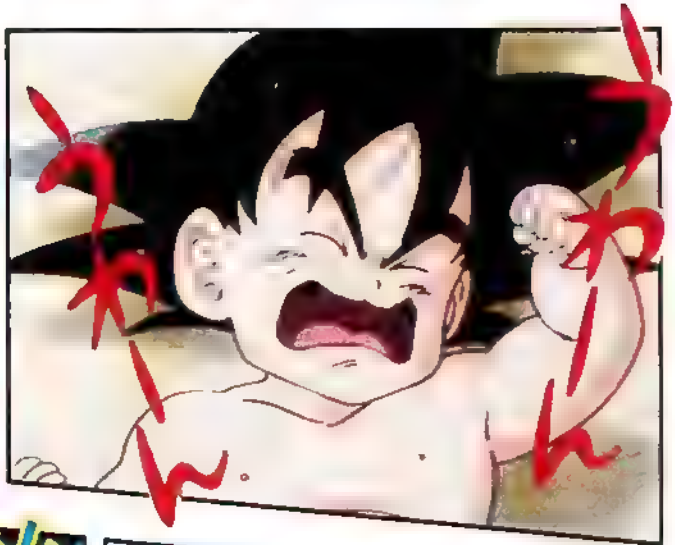
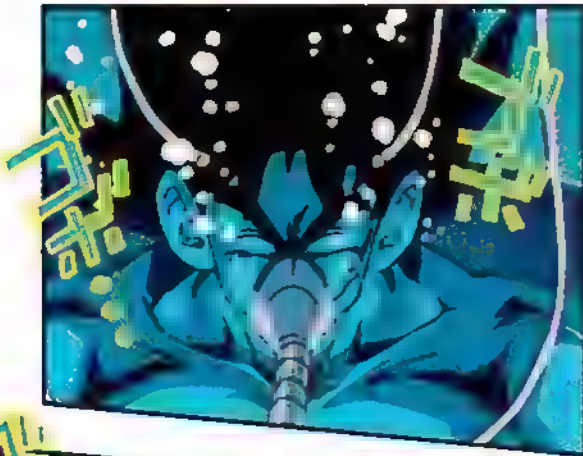
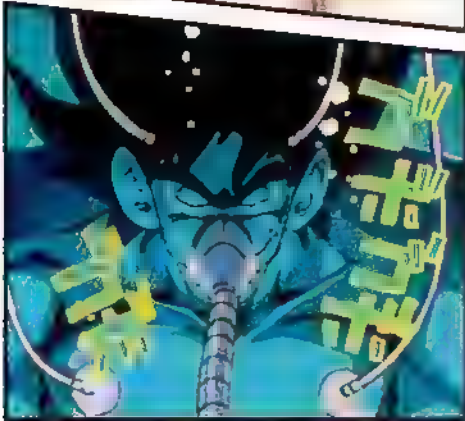
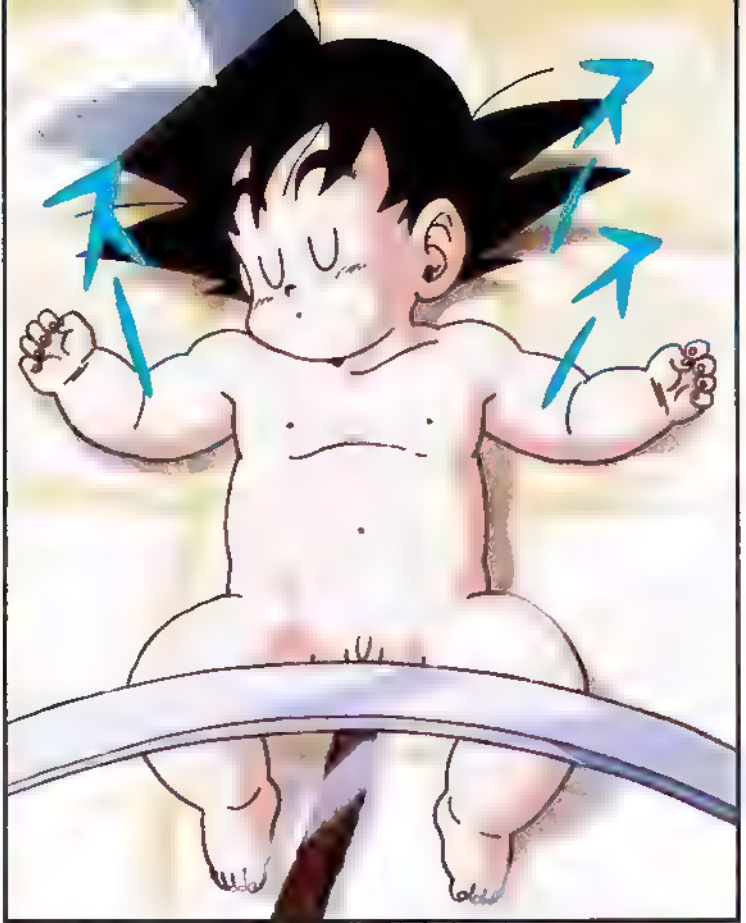
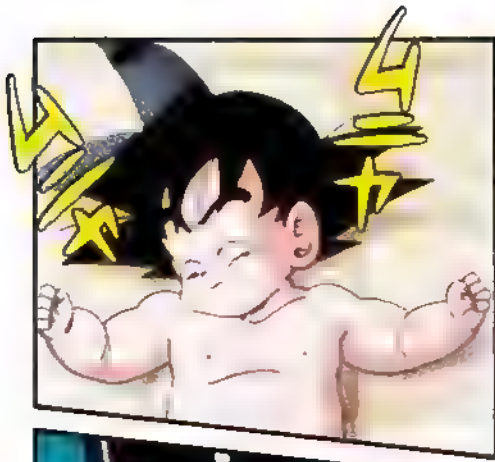
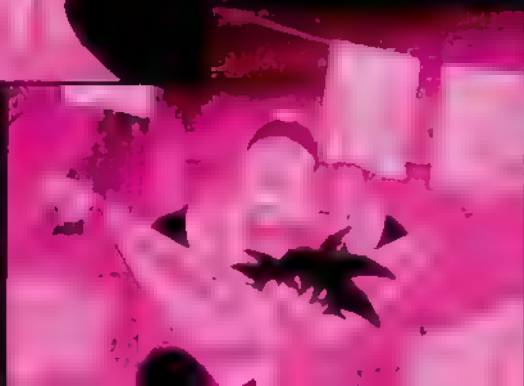
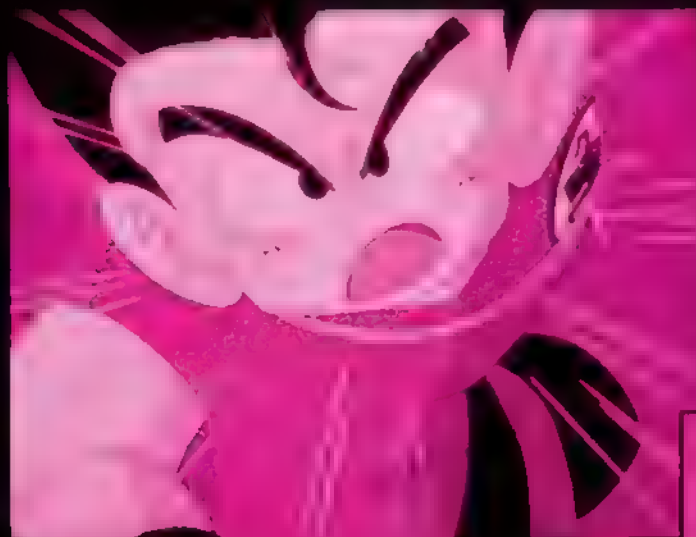
仕方ない今回はバーダックは置いていくとしよう!
ああ

今度はどこの星に行くんだ
?

ニッ
惑星ミートだ!

ギューーン

ギューン

ムニャムニャ
うわーん
うわーん
ゴボゴボ
ん？
意識が
もどったのか？
ゴボゴボ

ゴボゴボゴボ
わしは今　おまえに
未来を予知できる
幻の拳を放った…
おまえら一族の
行く末が　これから
見えてくるはずだ…
言っておくが
おまえらには
呪われた未来しか
ないぞ!

わが一族と同じように
滅びるのみなのだ…
その未来の姿を見て
せいぜい
苦しむがいい…
フッフッハハハ…
ハハハハハハ…

ピッ
ゴボゴボ

うわぁ〜ん!!

だいじょうぶか？
バーダック！

ああ
ザッ

まだ　頭がフラフラするけどな
ちっ！変な夢を見ちまったぜ
…夢…!?
何だったんだありゃあ!?
ああ

本当にだいじょうぶか?
ヘッ!てめえらとデキがちがうんだよデキが…
それよりトーマたちはどうした?
フリーザ様のご命令で惑星ミートに出かけていった
なにっ!!
カチャ
ちくしょうオレを仲間はずれにしやがって…!!
惑星ミートかすぐ近くだな
よし!!
おいバーダック!!

ダ

ん!?

オギャー
オギャー
……
未来の姿を見て
せいぜい
苦しむがいい
フッフッハハ
ハハハハハ
クッ!
…カカロット…

ピピピッ
ちっ！
戦闘力…
たったの2か…！
クズが…!!
ギッ!!
オギャー
オギャー
うおくくっ!!
ドガッ!!

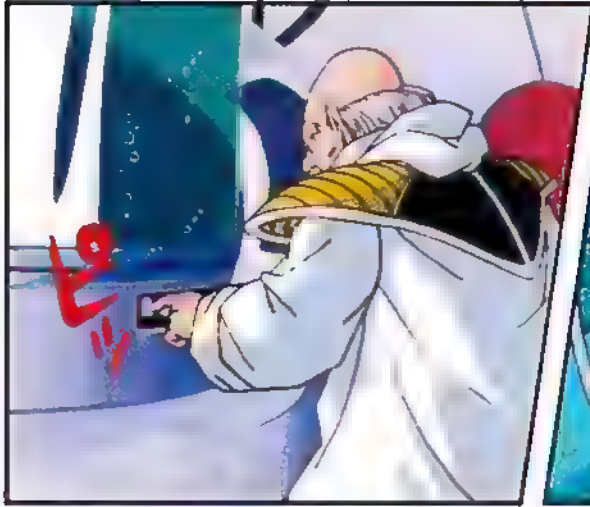
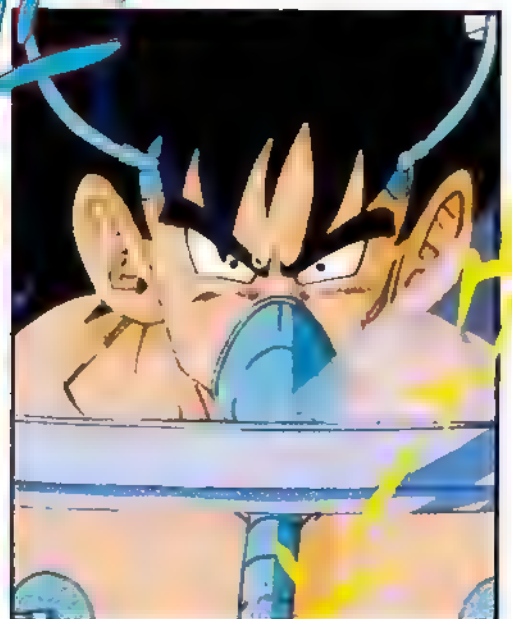
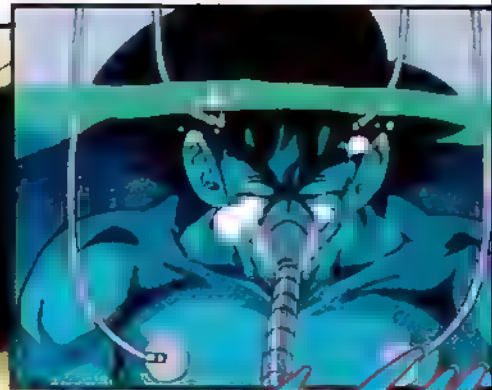
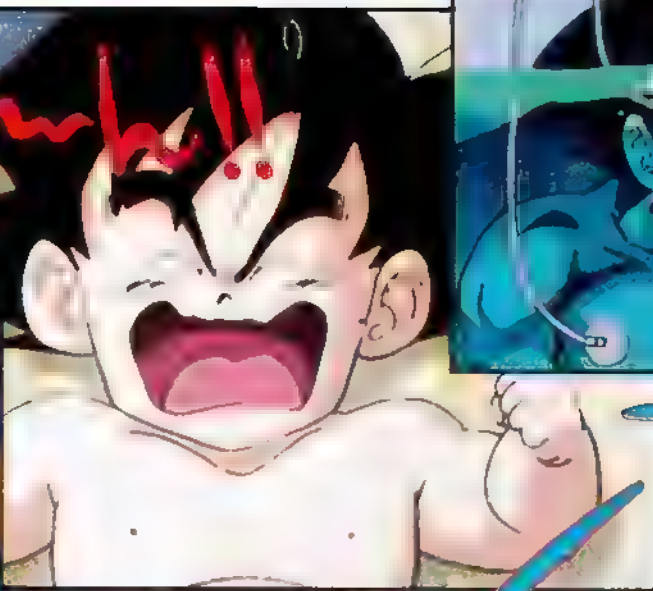
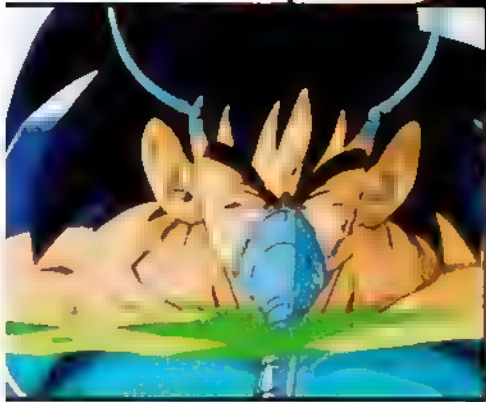
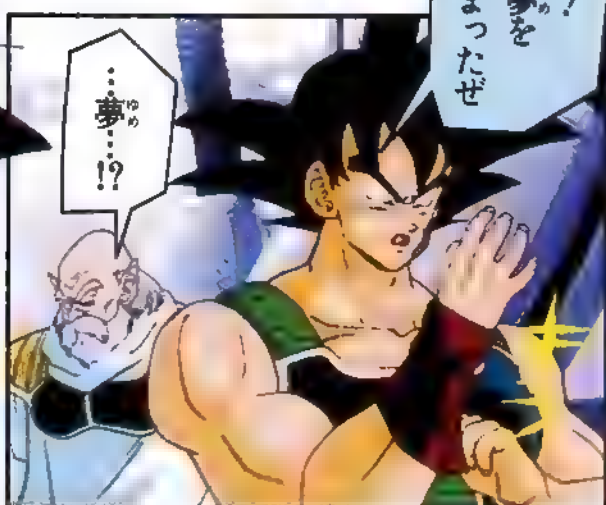
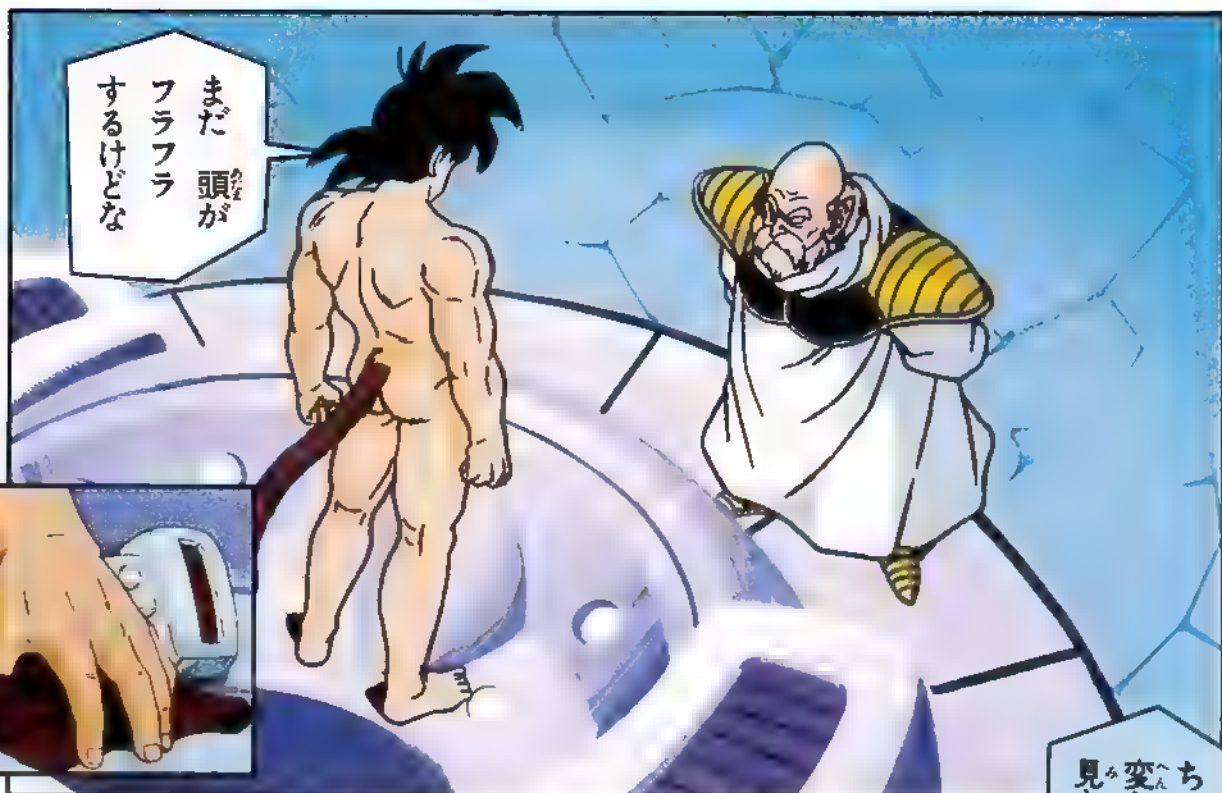
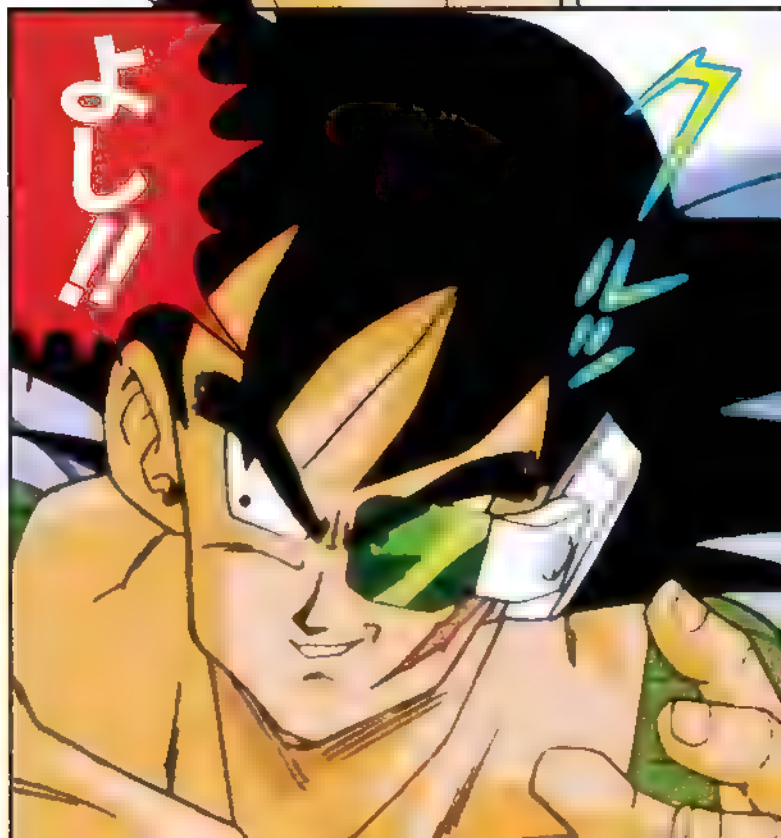
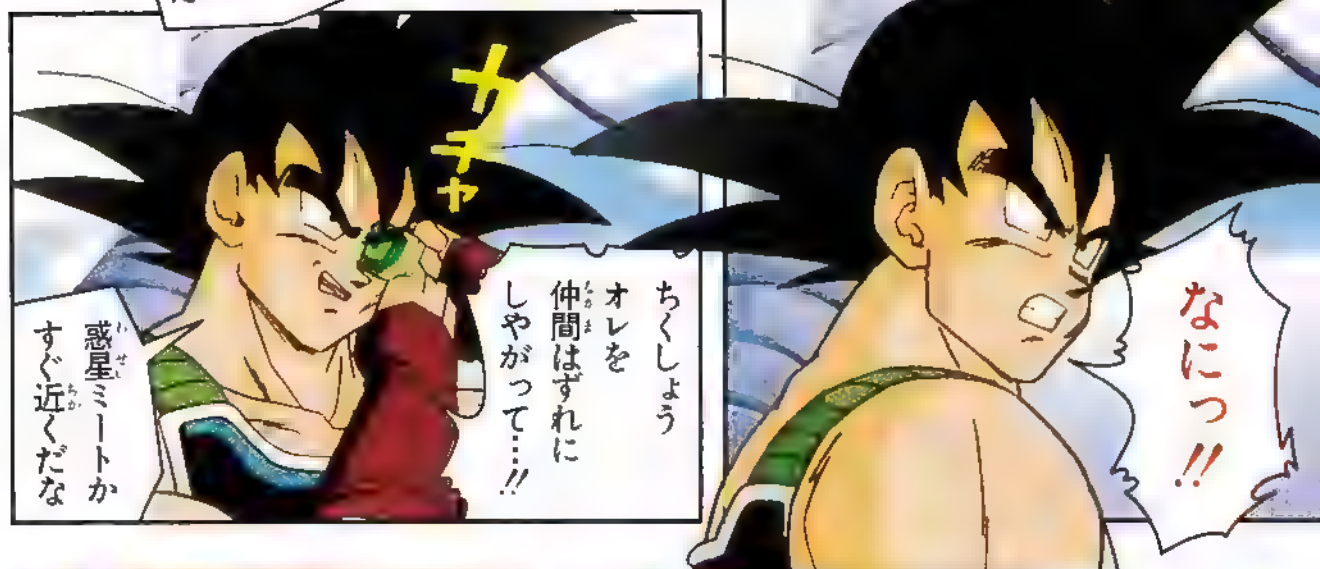
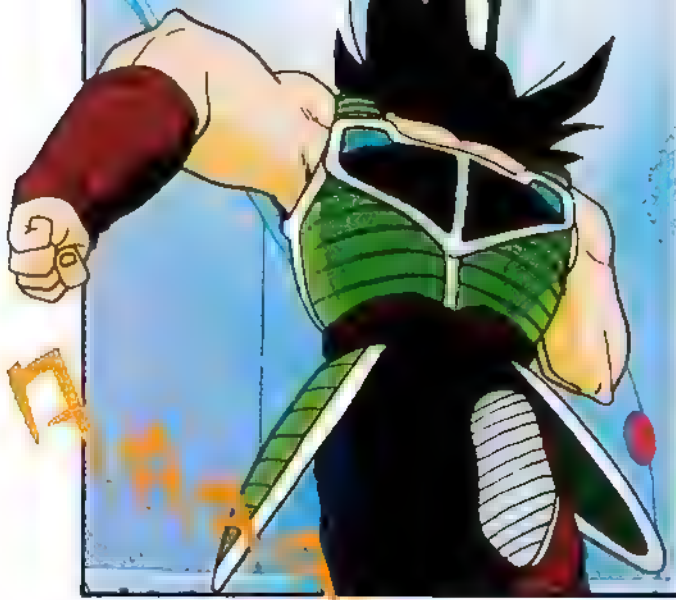
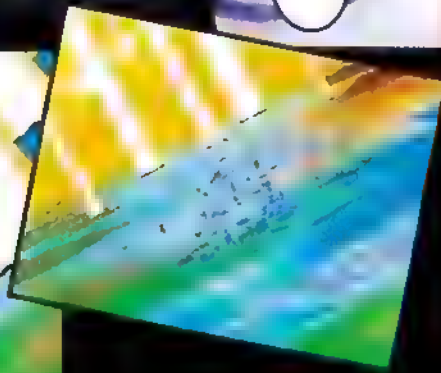
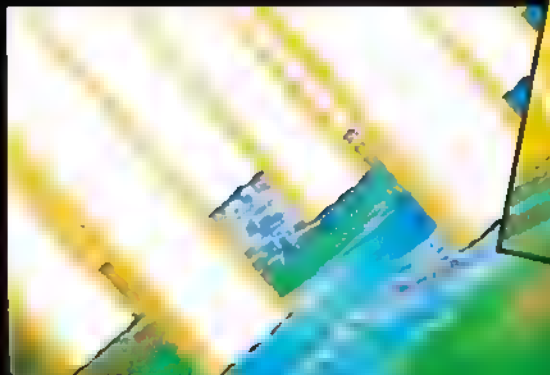
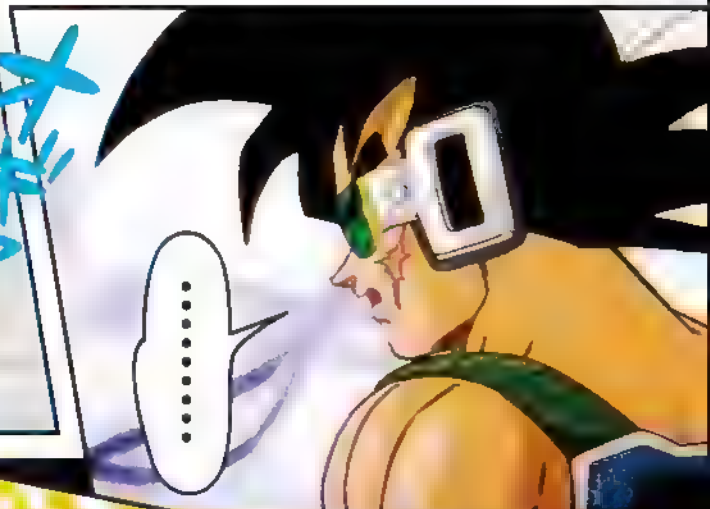
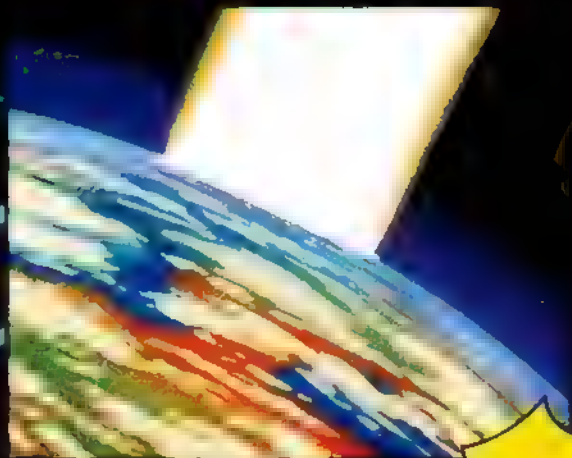
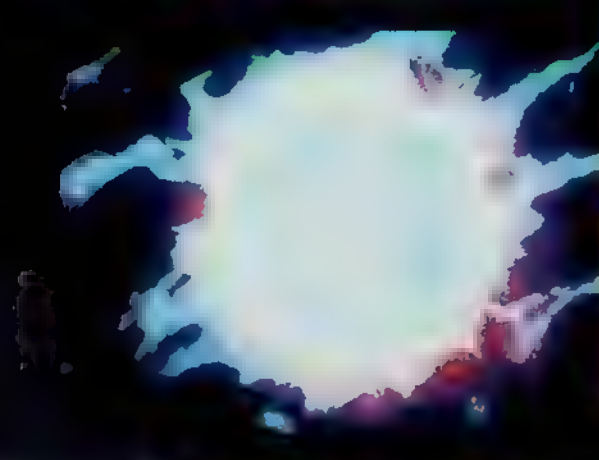
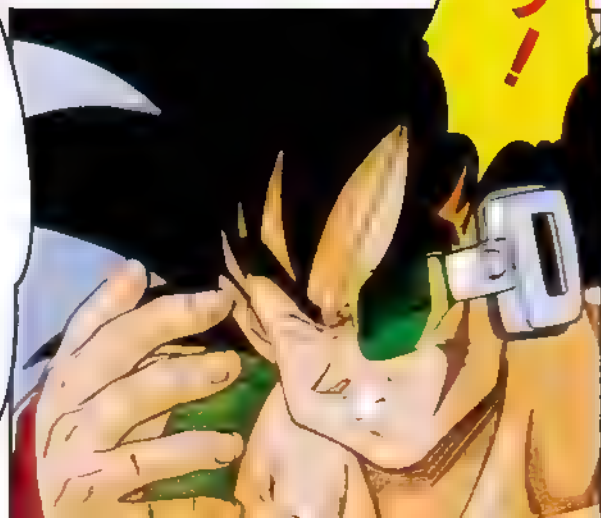
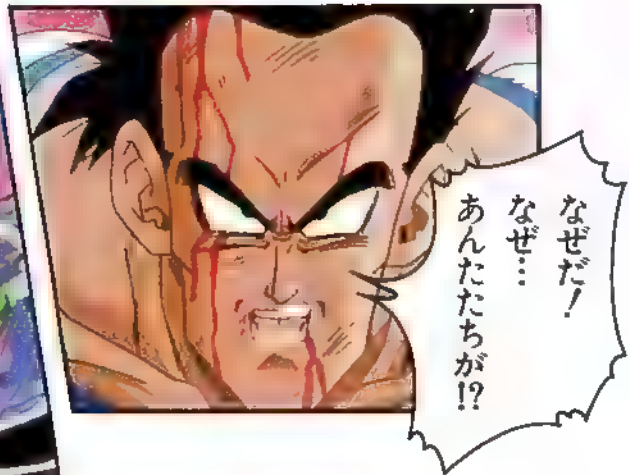
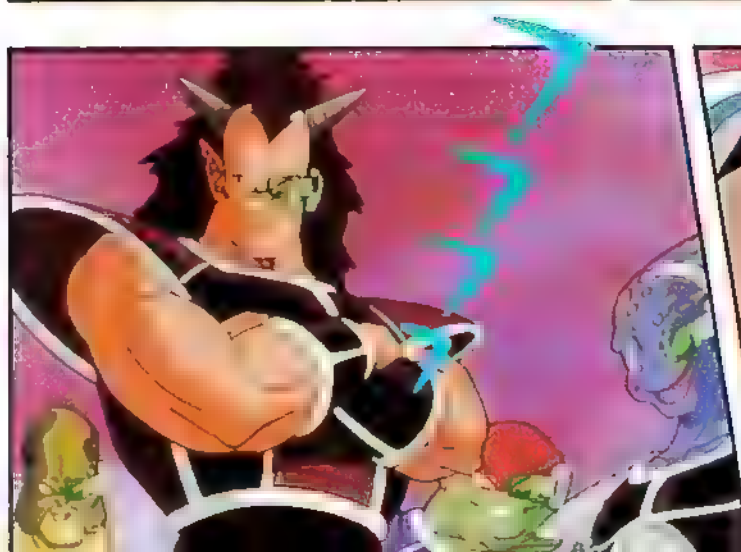
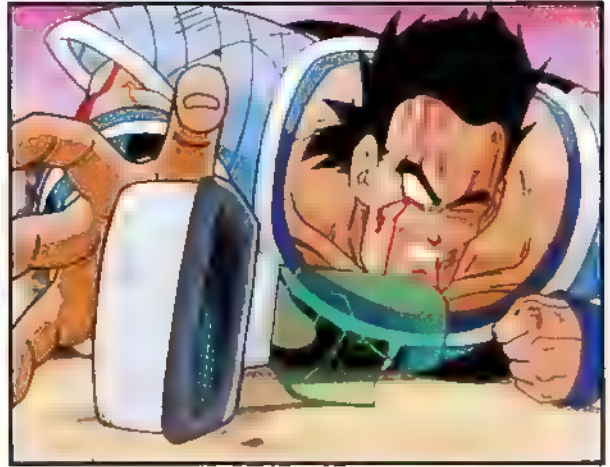
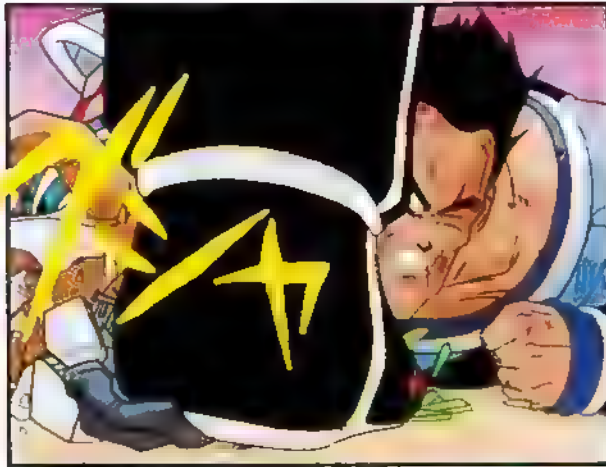
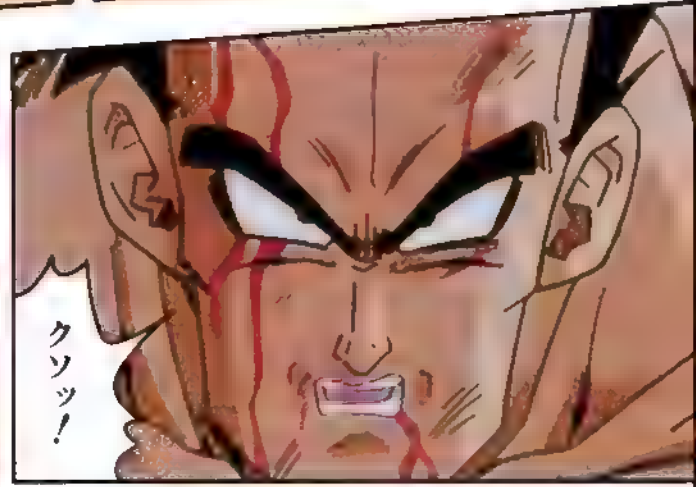
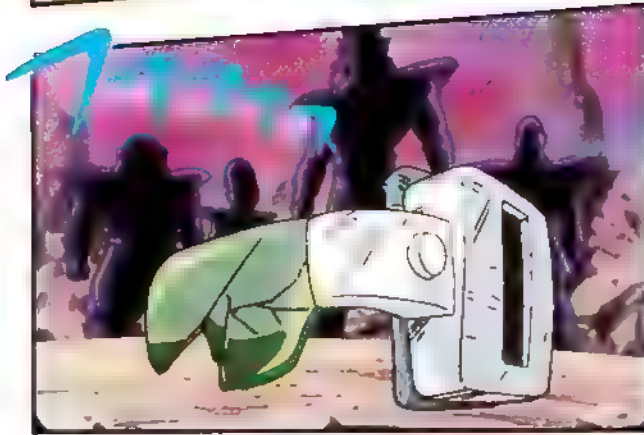
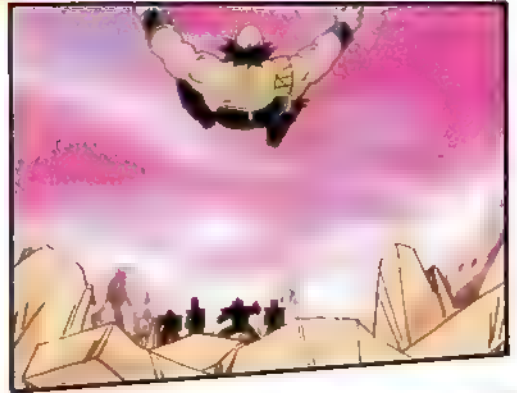
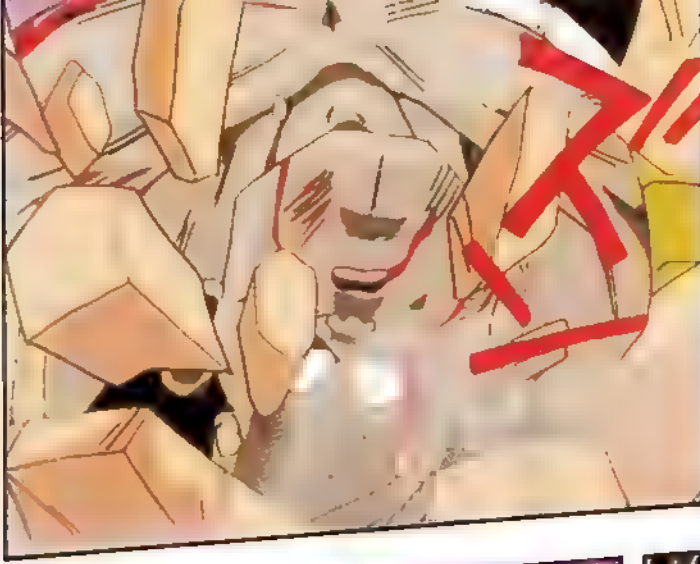
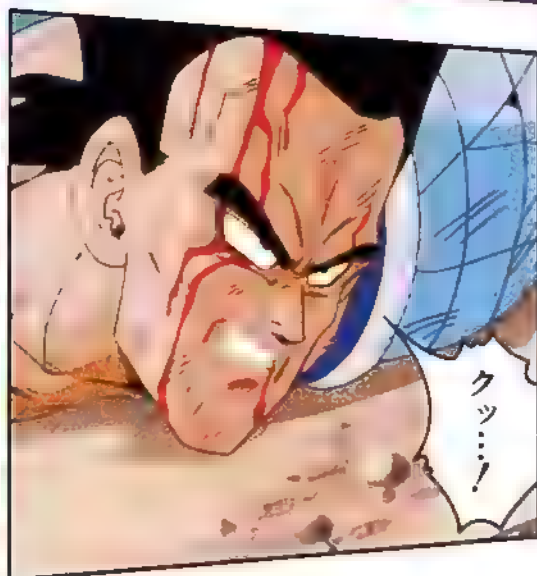
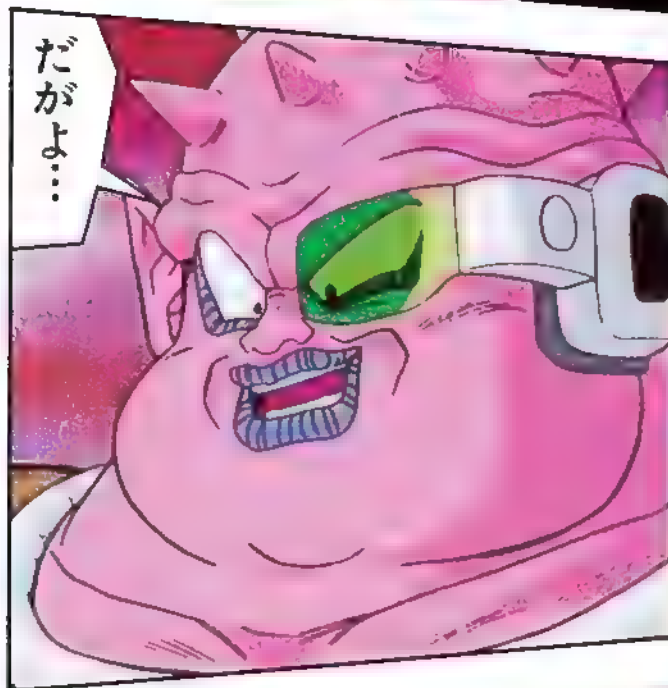
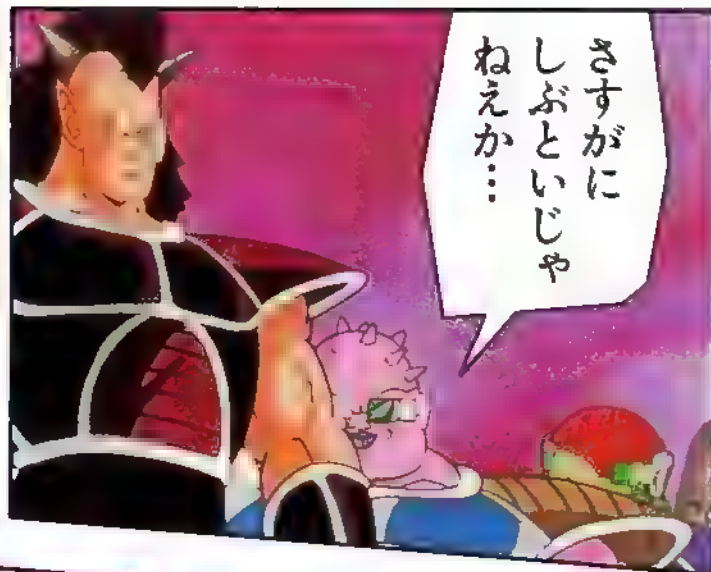
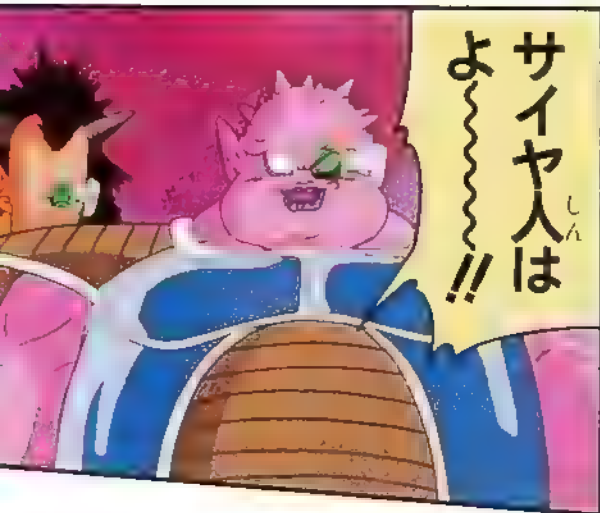
ズゴ
クソッ!
グシャ
なぜだ!
なぜ…
あんたたちが!?

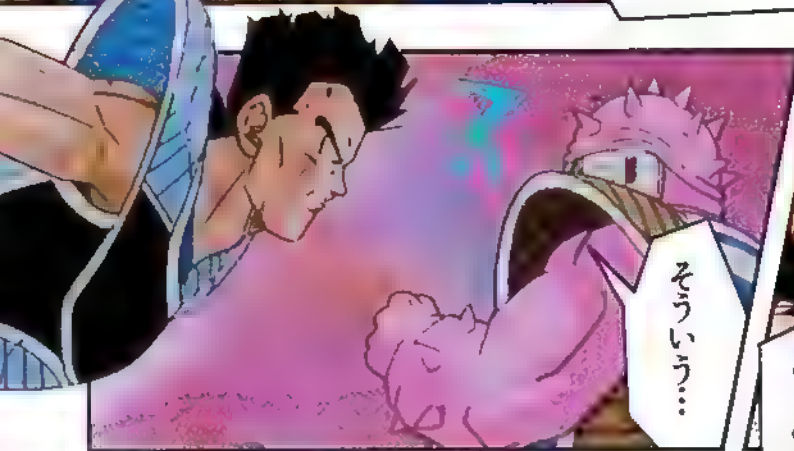
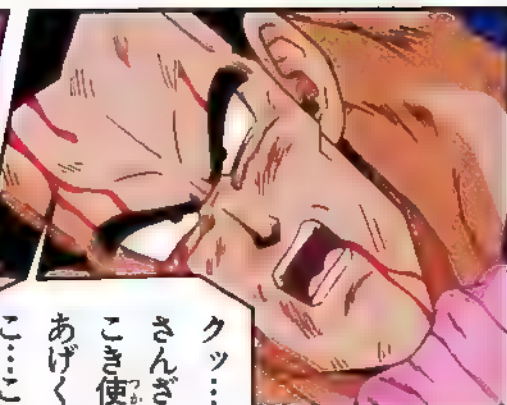
さすがにしぶといじゃねえか…

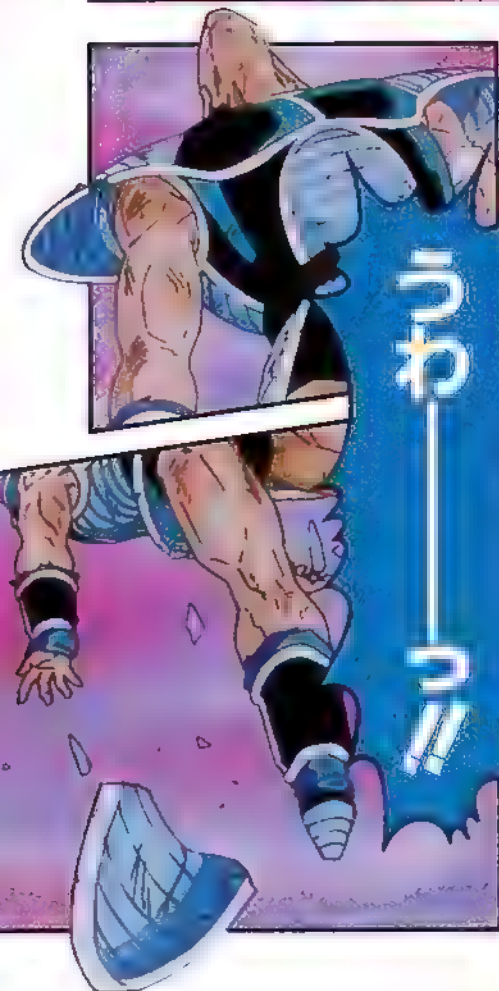
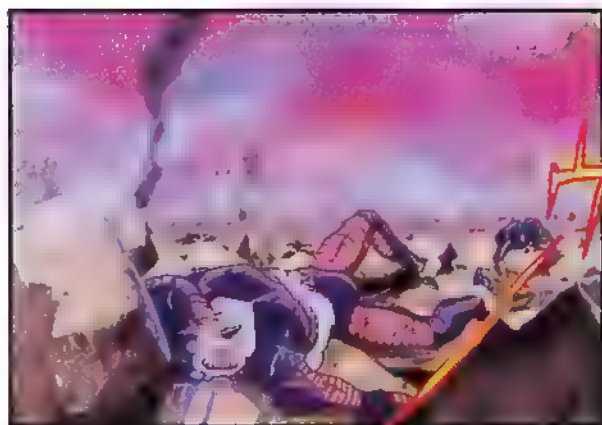
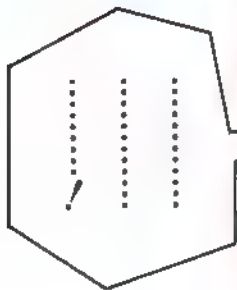
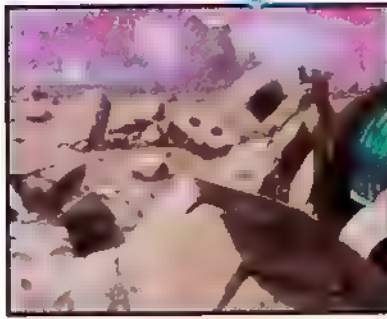
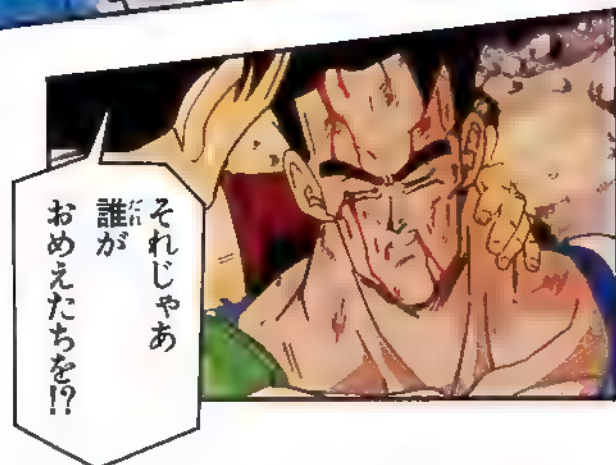
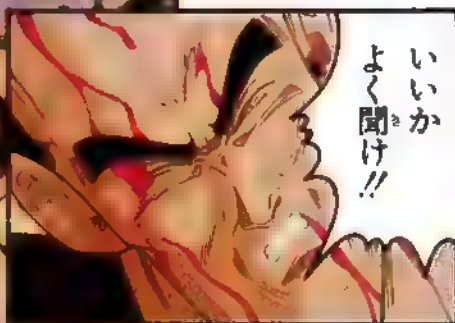
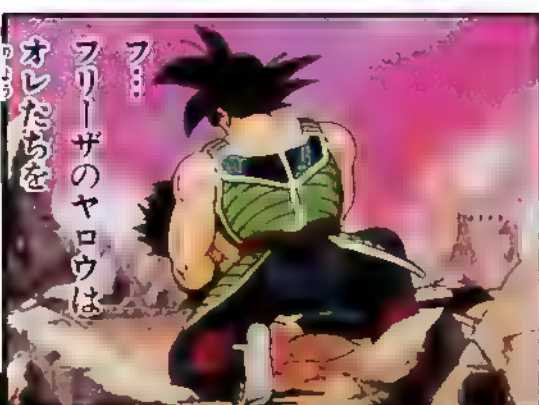
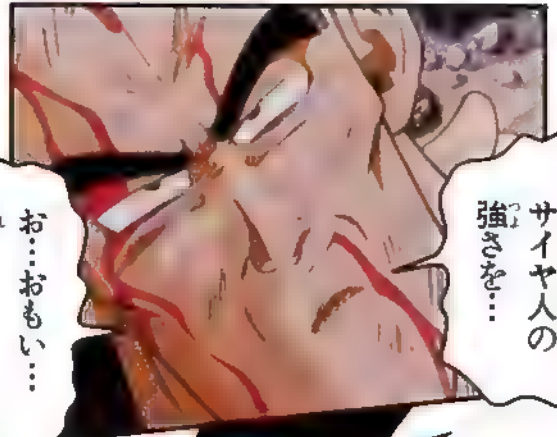
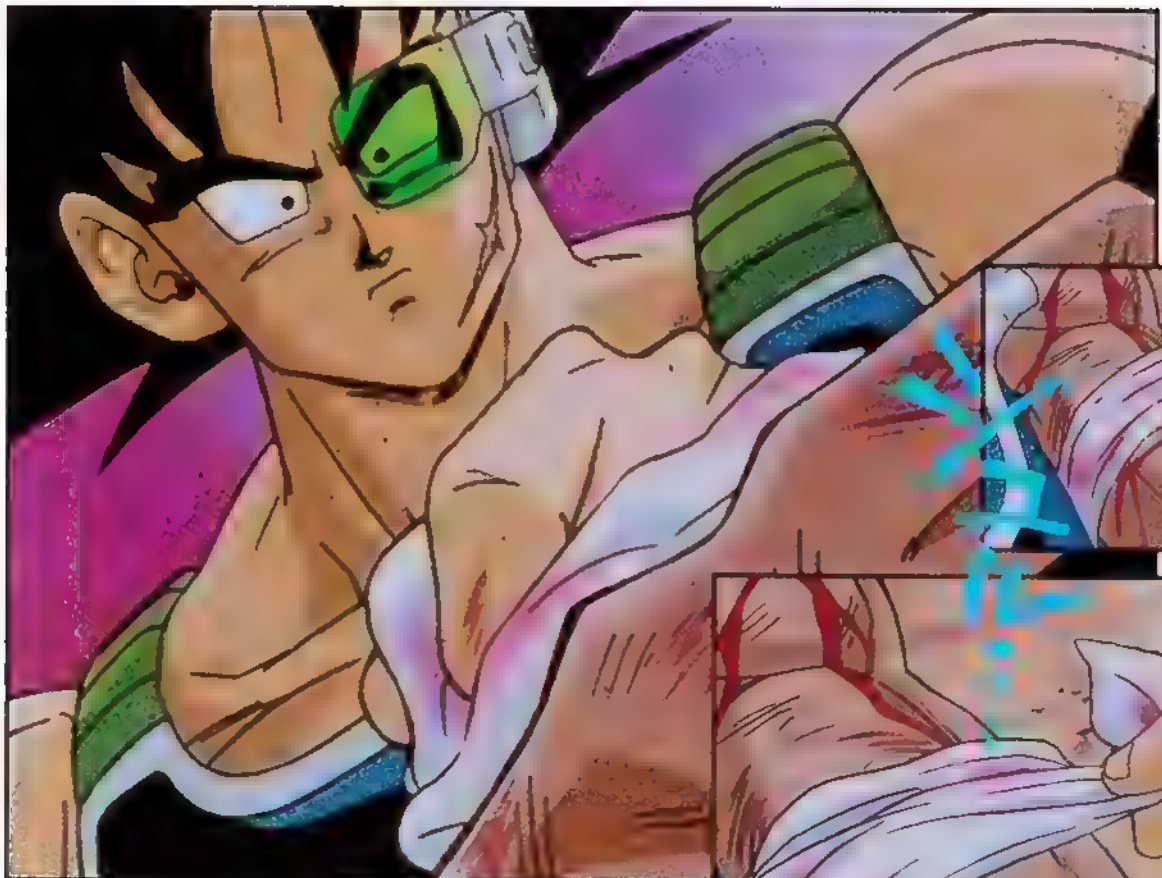
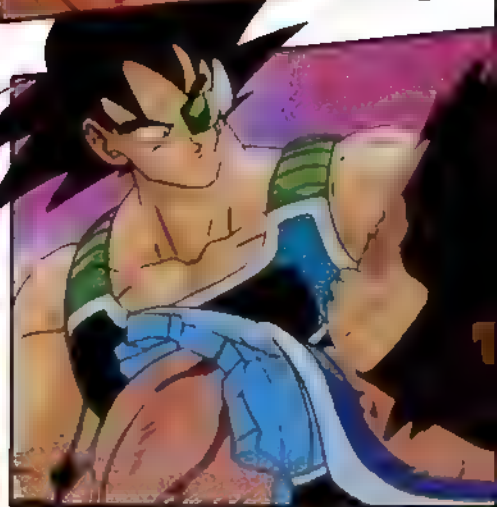
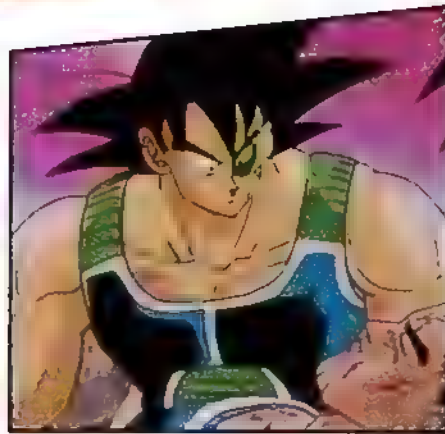
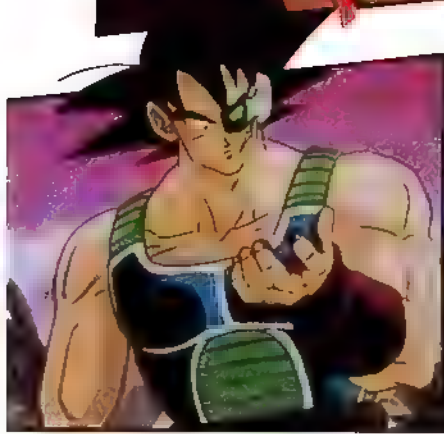
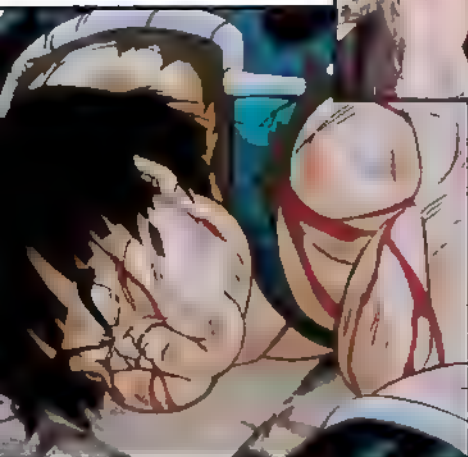
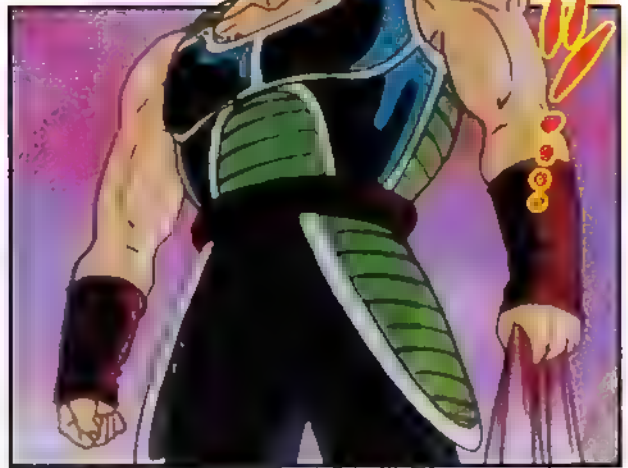
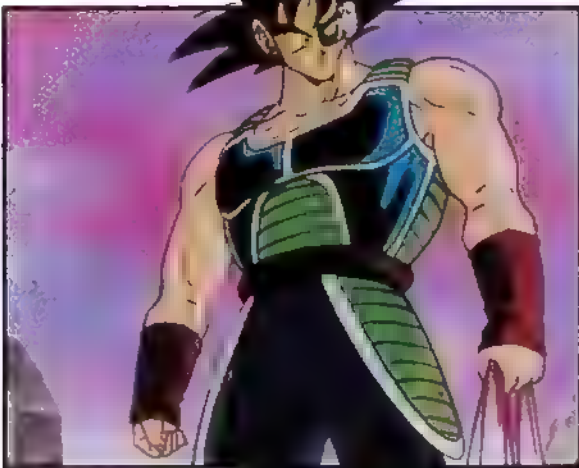
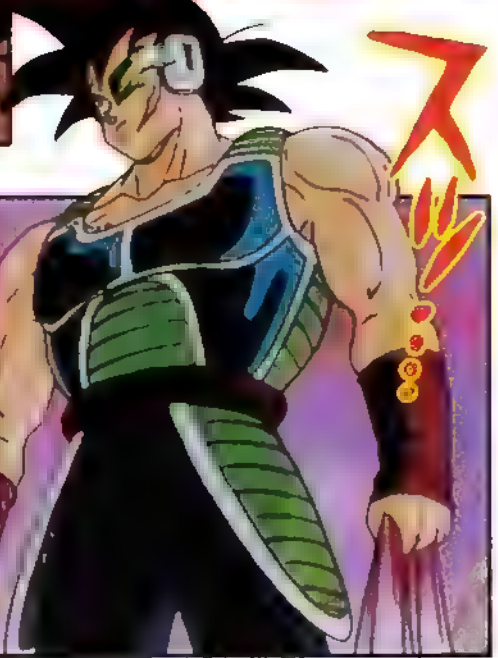
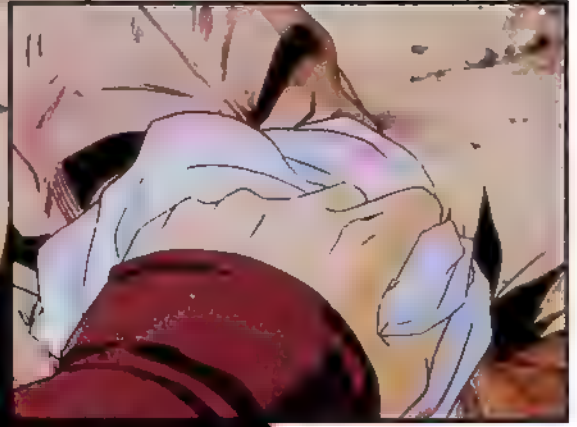
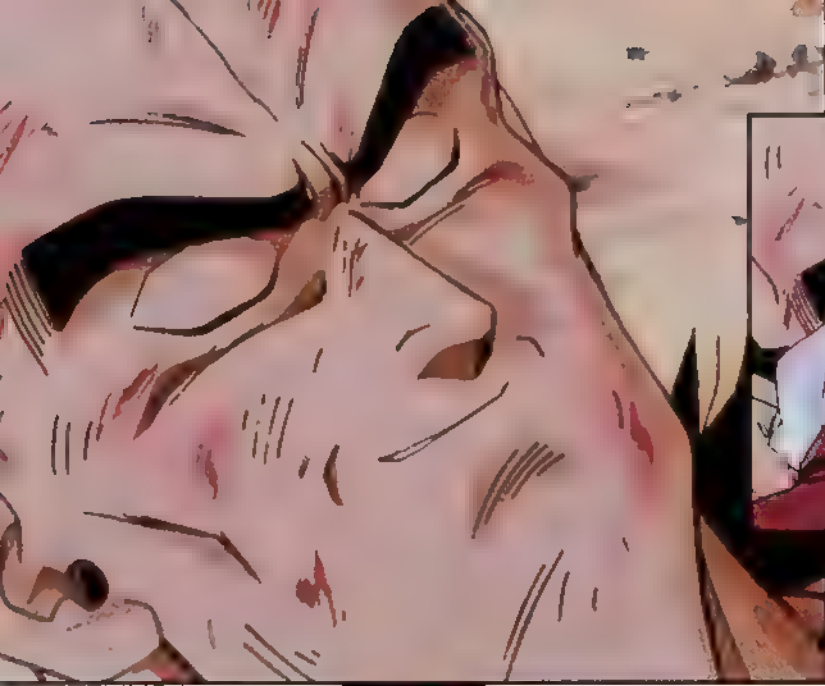
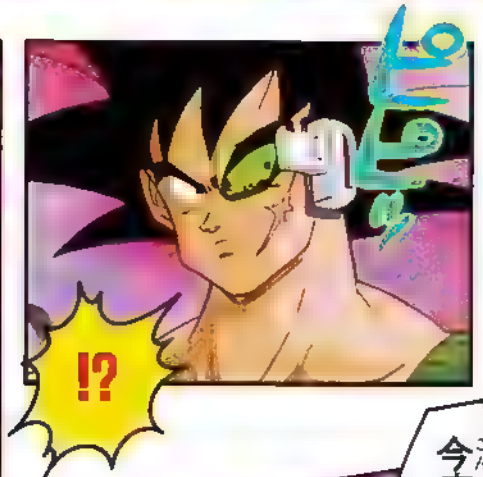
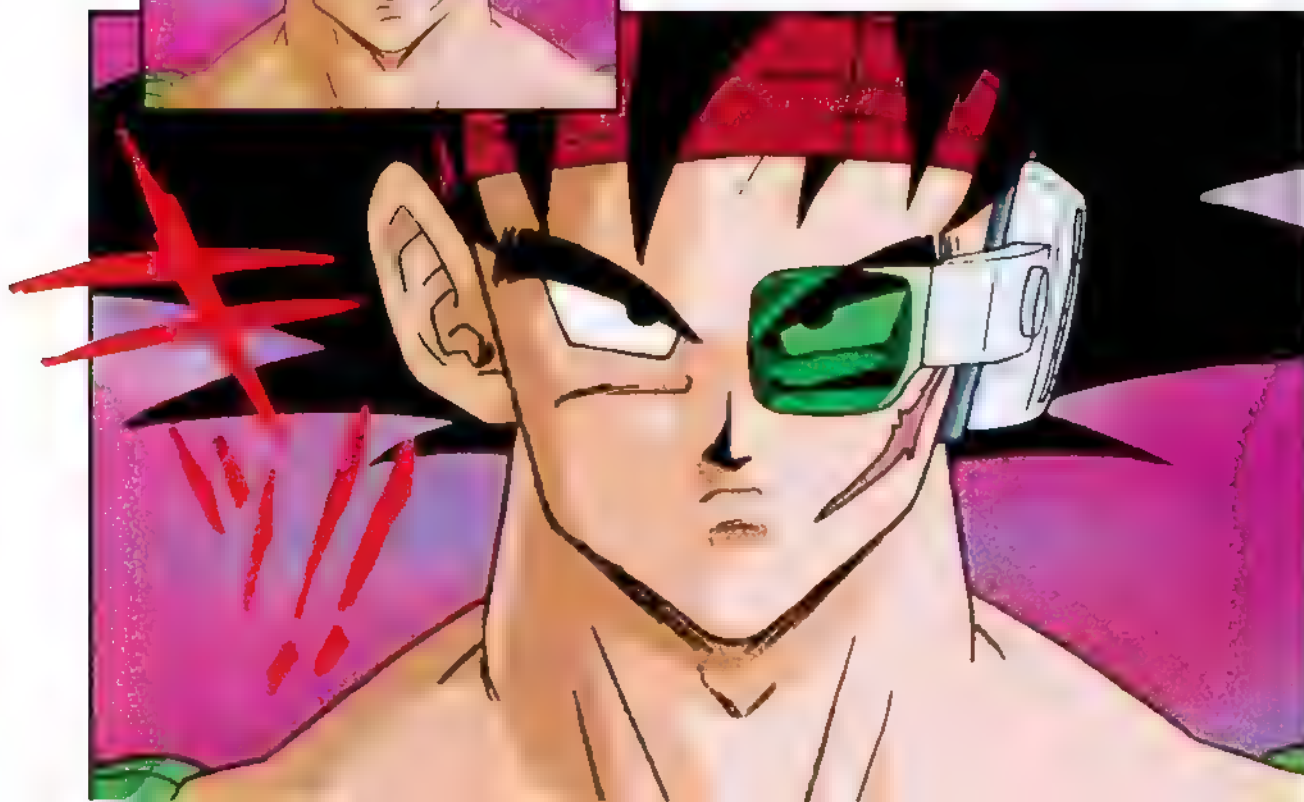
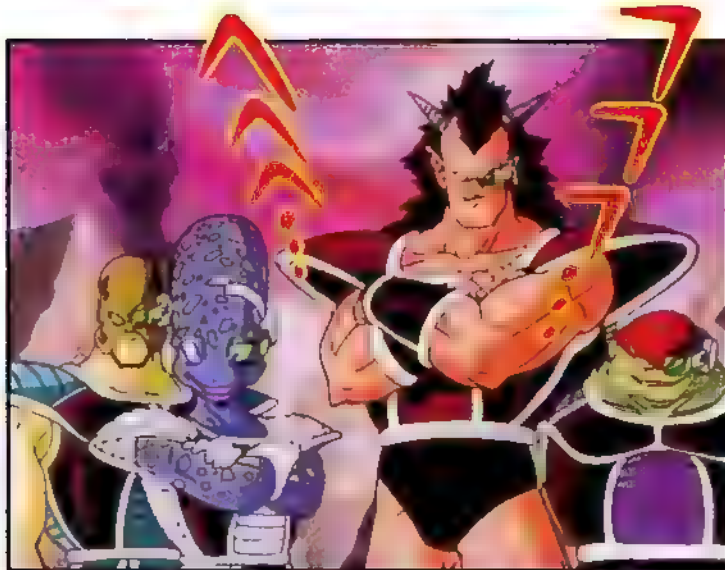
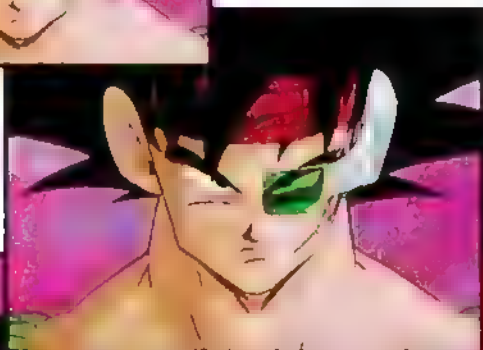
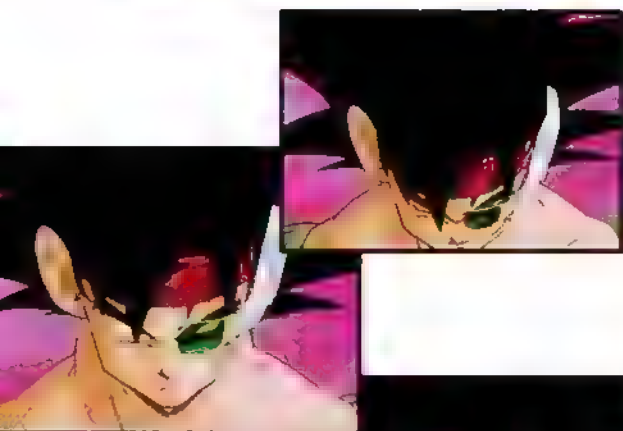
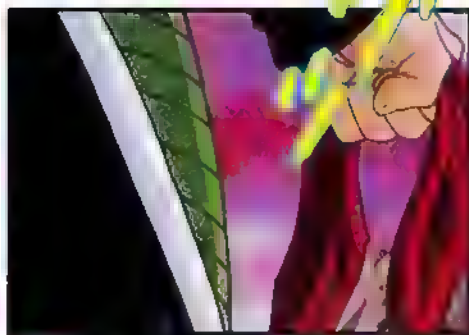
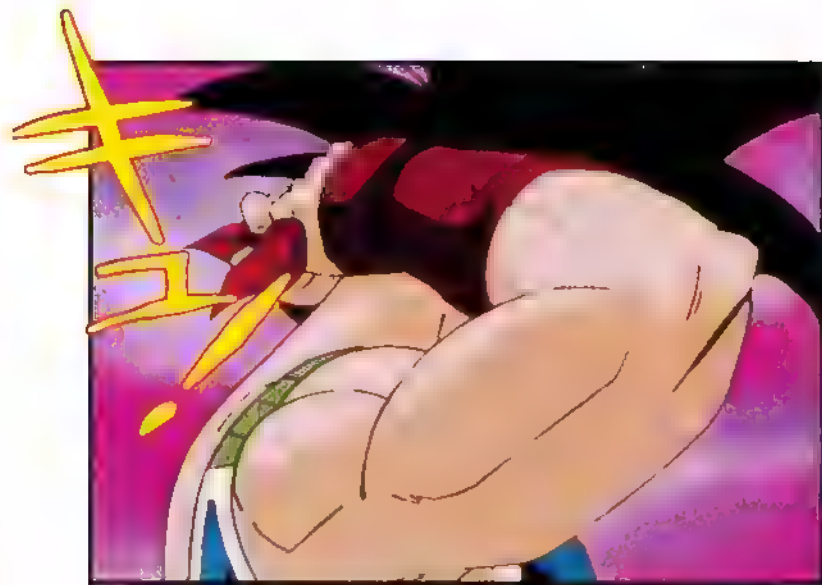
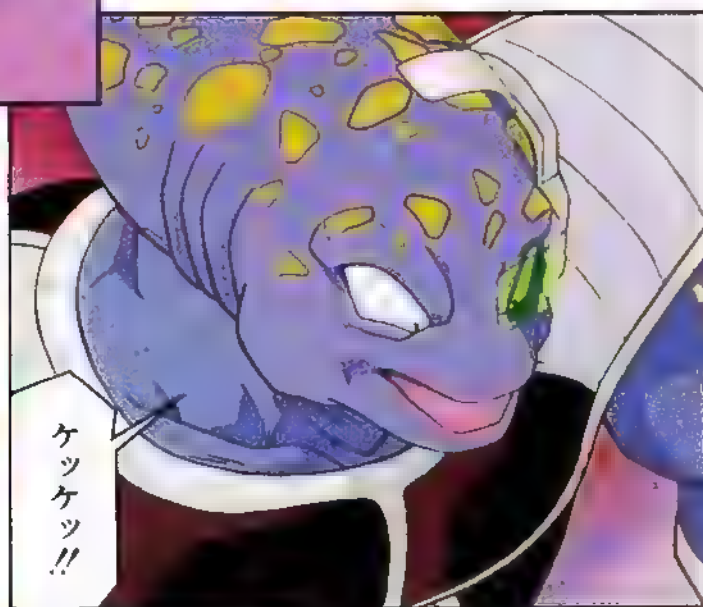
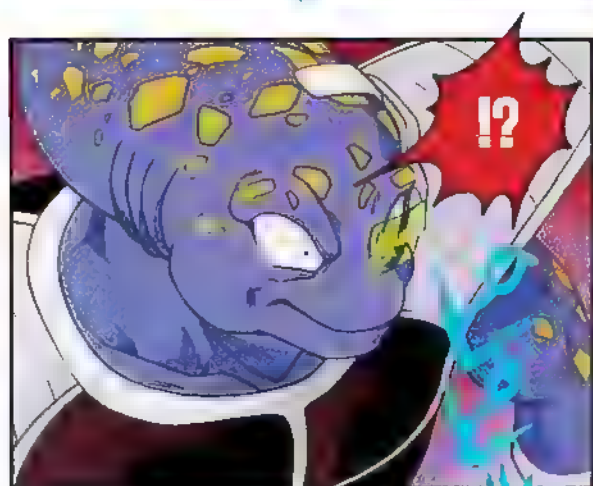
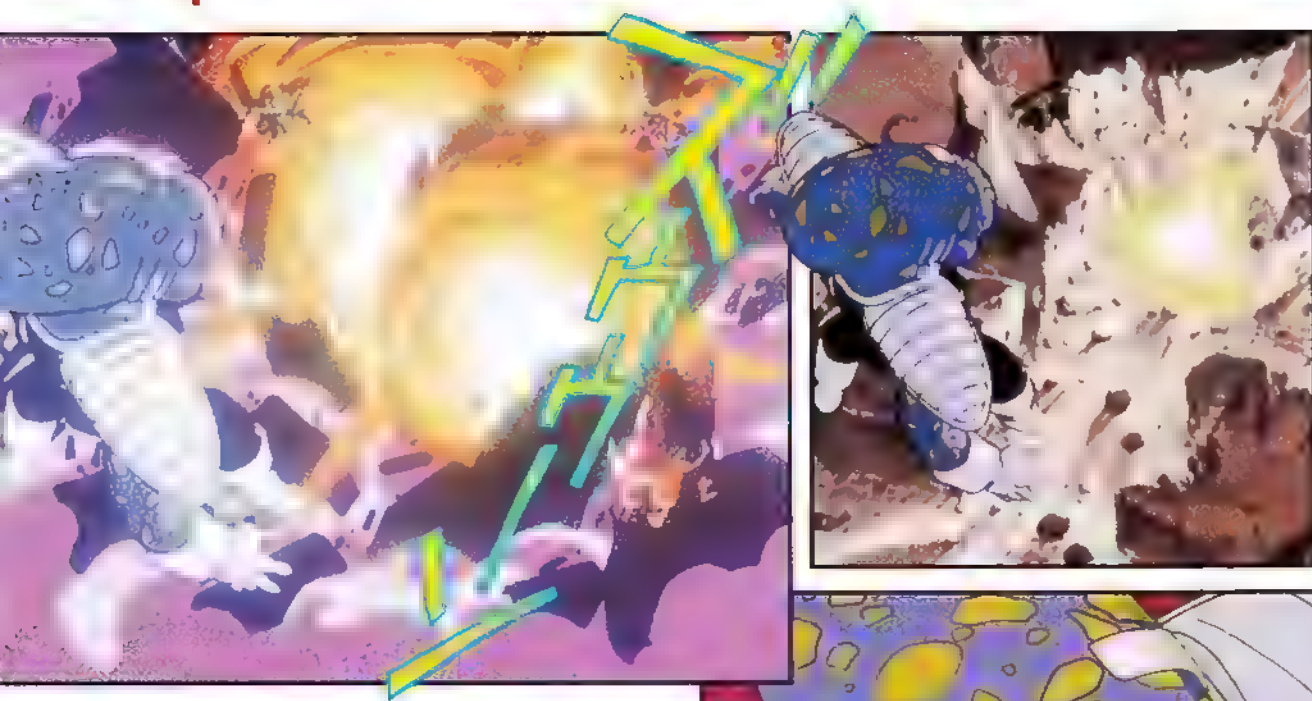
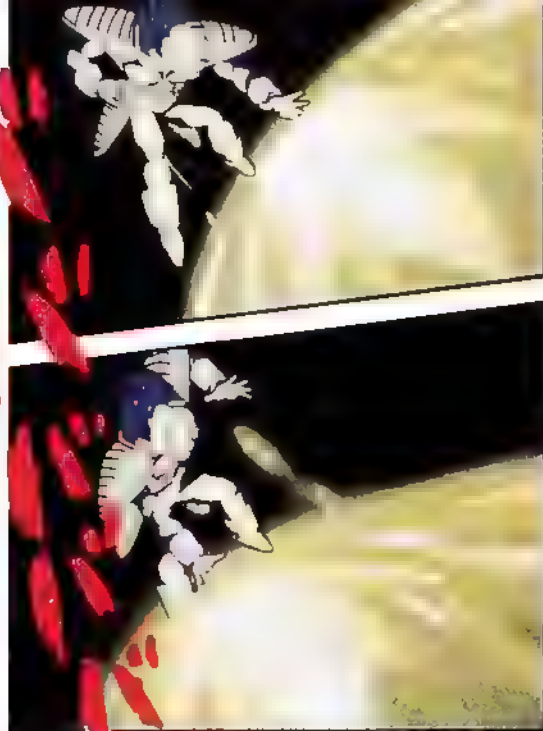
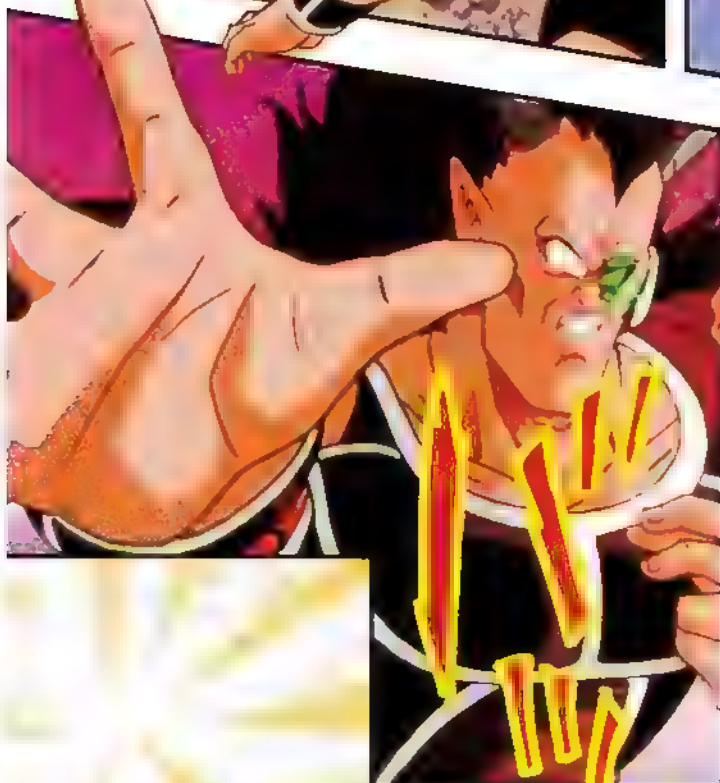
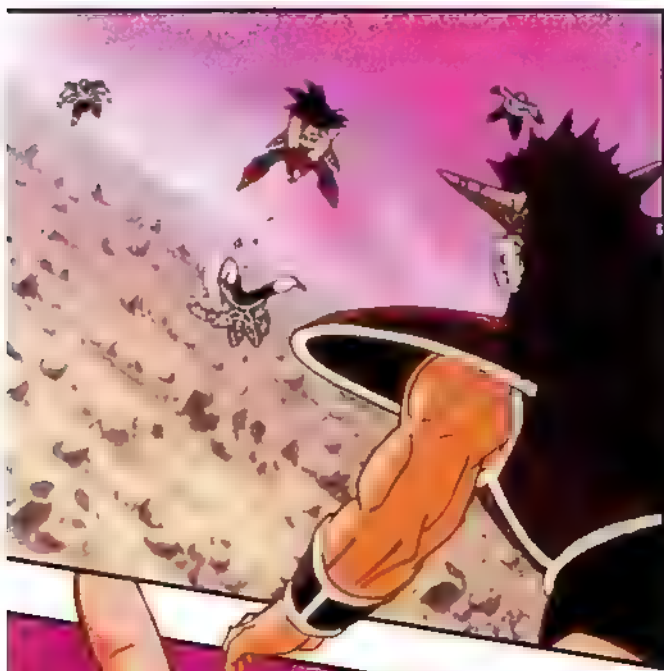
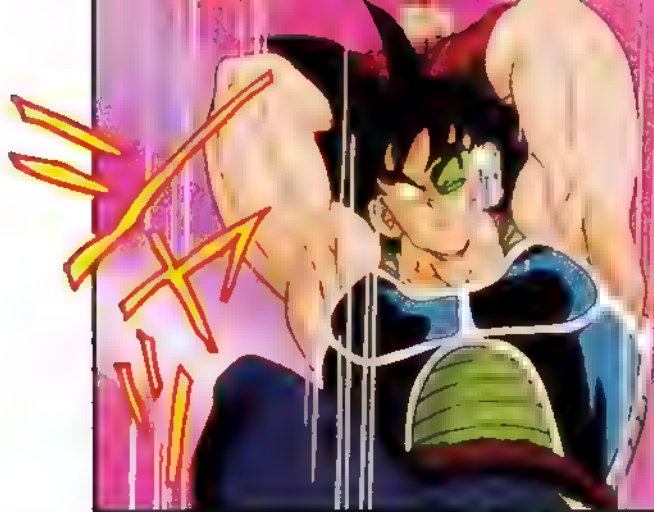
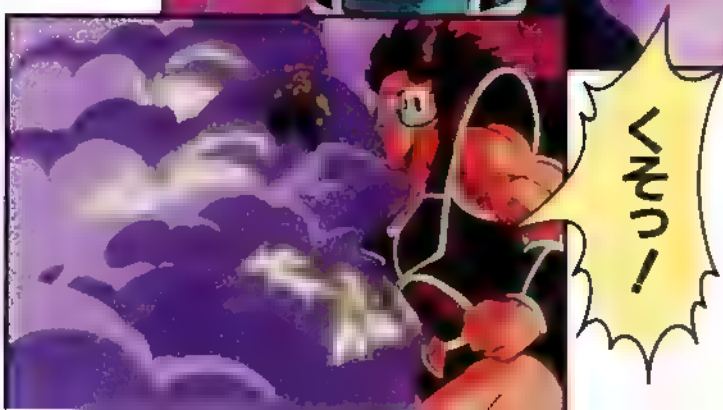
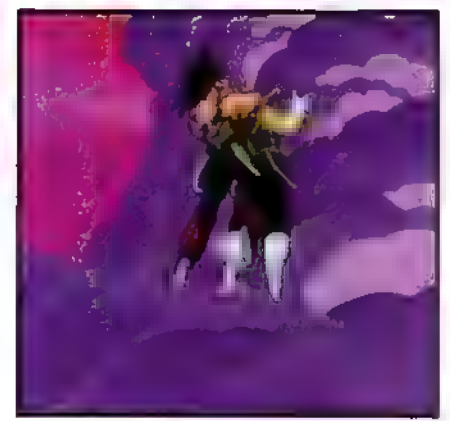
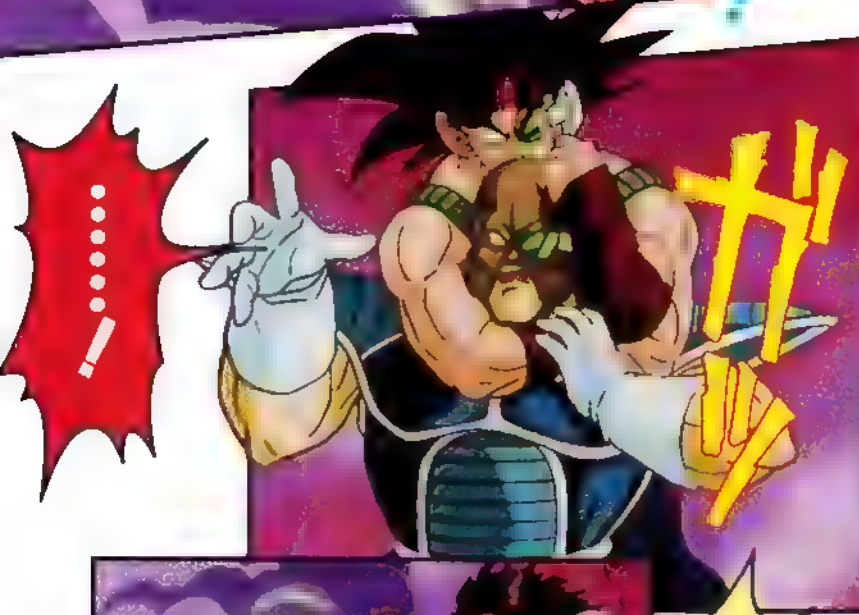
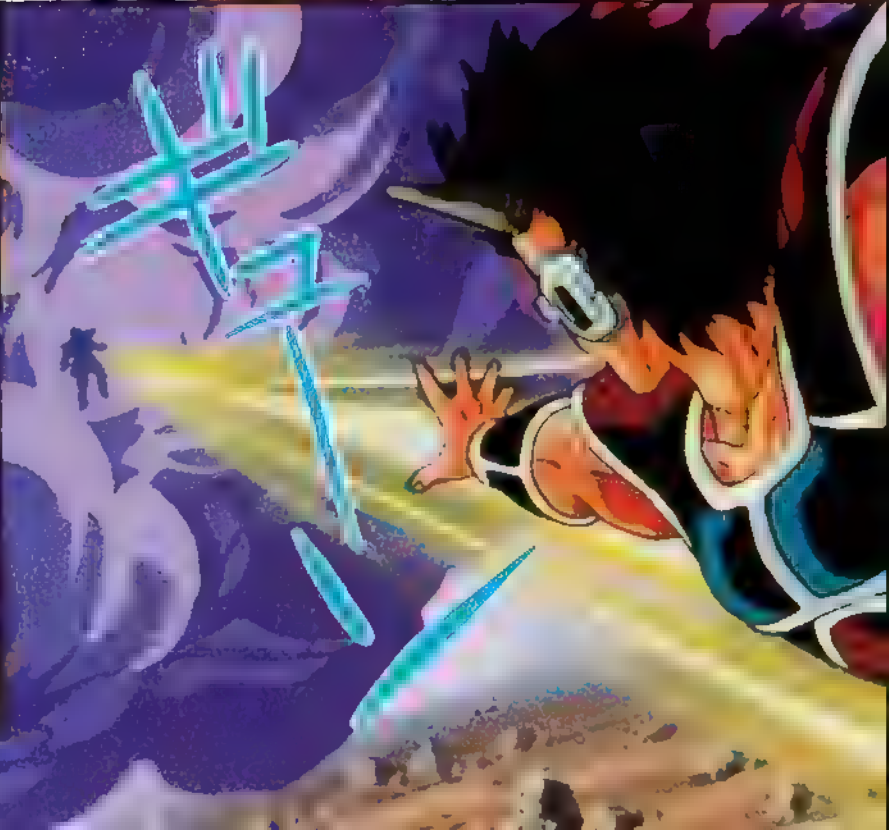
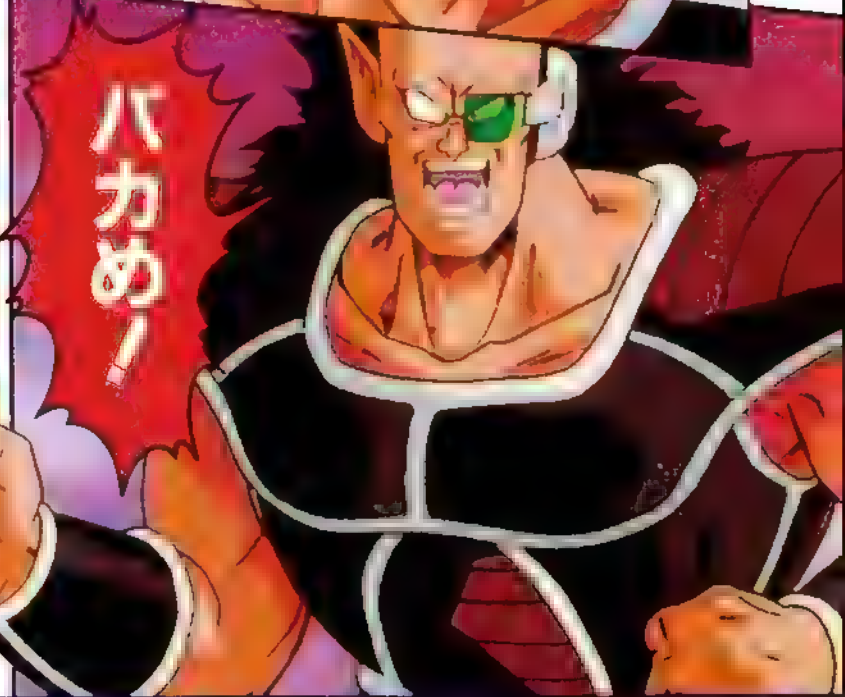
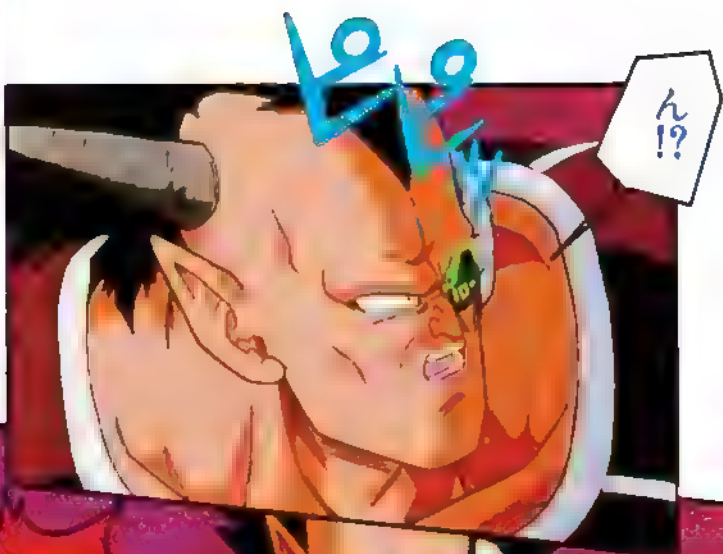
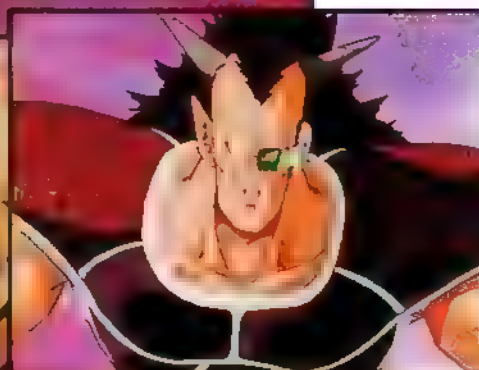
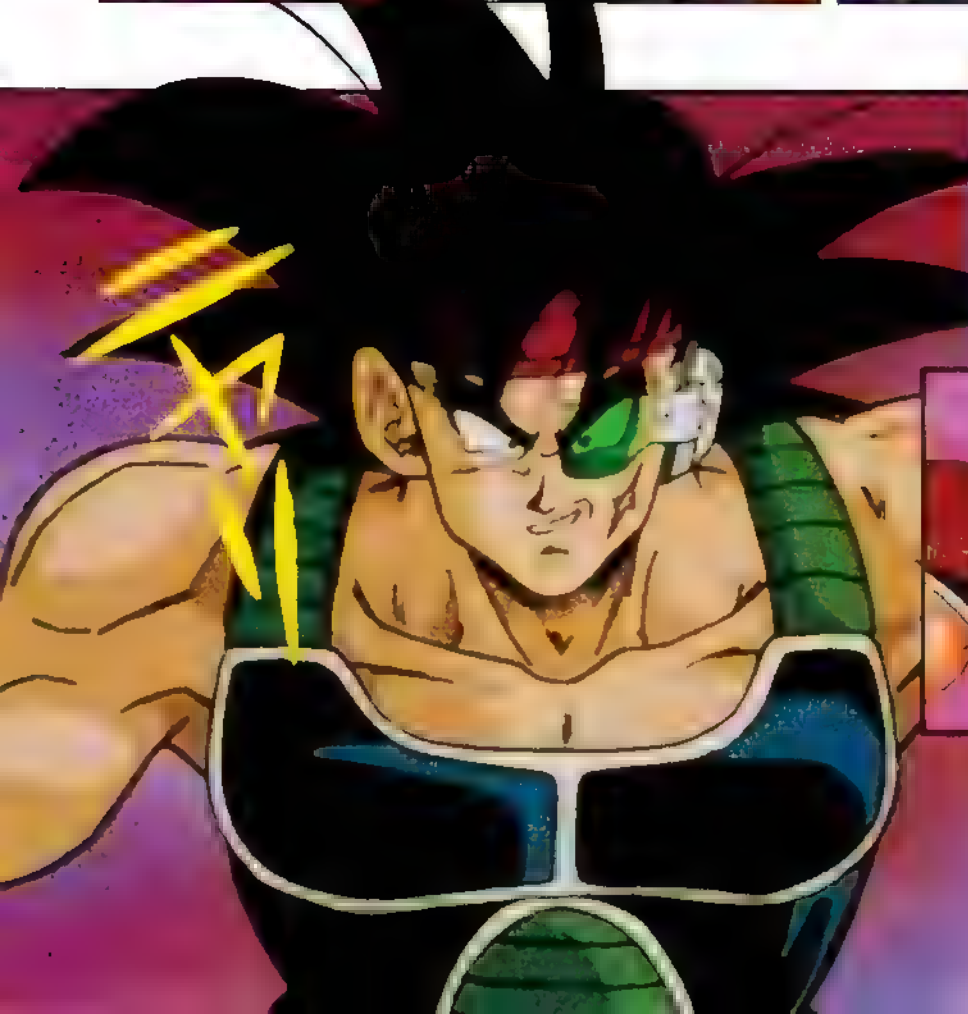
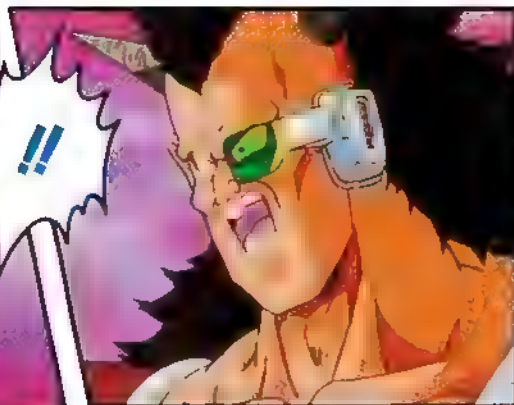
サイヤ人はよ～～～!!

クッ…!

だがよ…

もすこし遊ばせてもらわねえとな!

なぜ…
あんたたちが
こんなことを!?
気になるか?
ハハハハ…!!
そうだな
冥土のみやげに
教えてやるか…
これはな…
フリーザ様の
ご命令だ!!
なな
なにーっ!!
フリーザ様は
キサマら
サイヤ人が
目ざわりだと
おっしゃってる
なんか
気にさわることでも
したんじゃねえのか!?

ウ…
ウソだ
オレたちはずっと
フリーザ様の
命令どおりに
動いてきた
そむいたことなど
いちどもない
それでも
気に入られなきゃ
こうなるんだよ!
クッ…!
さんざん
こき使われた
あげくが…
こ…これか…!!
そういう…
ことだ――っ!!
うわ――っ!!

ずいぶん　またハデに　やりやがったな　あいつら…
ピピピ
うっ!?　いやがった!　ヤツら　夢中になって　暴れてやがるな
ドギャーン
……………!

い…いったい…!?
!?
バ…バーダックか?
トーマ!!
どうしたんだいったい!?ここで何があった!?
へッ…バカなヤロウだぜ…
そんなことより…
おとなしくおねんねしていればいいものを…
まさかミート星人なんかに…!?
へっ…あんなヤツらはすぐに全滅させた…
それじゃあ誰がおめえたちを!?

フ…フリーザだ！
ヤツが
裏切りやがったんだ…！
そんな
バカな…!?
フ…
フリーザのヤロウは
オレたちを
利用している
だけだったんだ
ゴホッゴホッ
オ…オレは
もうだめだ
だが　このままじゃ
サイヤ人…全員
フリーザのヤロウに
やられちまう
いいか
よく聞け!!
すぐ
惑星ベジータに
もどれ!!
そして
仲間をあつめて
フリーザを
倒すんだ!!

ヤツにサイヤ人の強さを…
お…おもい…知ら…せ…て
や…やれ…!

ス…
ミシ…

てめえら……!!
!?
今度は…
キサマの死ぬ番だ
……

キュッ!
ググッ
ヘヘヘ
フフフ
キッ!!

うおおおおーーっ!!
ドッ

!?
ケッケッ!!

ちっ!!

ギャウウッ!!
ドウッ
ヤロウ! どこへ 行きやがった!?
ガッ
……!
くそっ!

ピピ
ん!?
バカめ!
ドバッ
バッ
ギュー
ズドッ

!!
ズーン…
ニヤ!

そ…そんな
バカな…!!
ヤツは
最下級戦士の
はず……!?
レベルは
どうあれ
サイヤ人には
違いねえ!
油断するな!!
行くぞ!
うぉーーっ!!
おおーーっ!!

!?
界王拳!!
ハッ!
バキッ!!

ドン

カカロット!
そんな程度じ
ないだろう!!
ま…
まただ
クソッ!!
オレの頭の中はどーしちまったんだ!?

うおおお
お――っ!!
うおっ!!
グハッ!!

バッ
ドカッ
ま・まっ……
クワーッ!!
ゴオオ

ズゥウウ……ン
スタ!
な…
なぜだ!?
ハッ
ピピピ
!!
バッ!

フフフフ

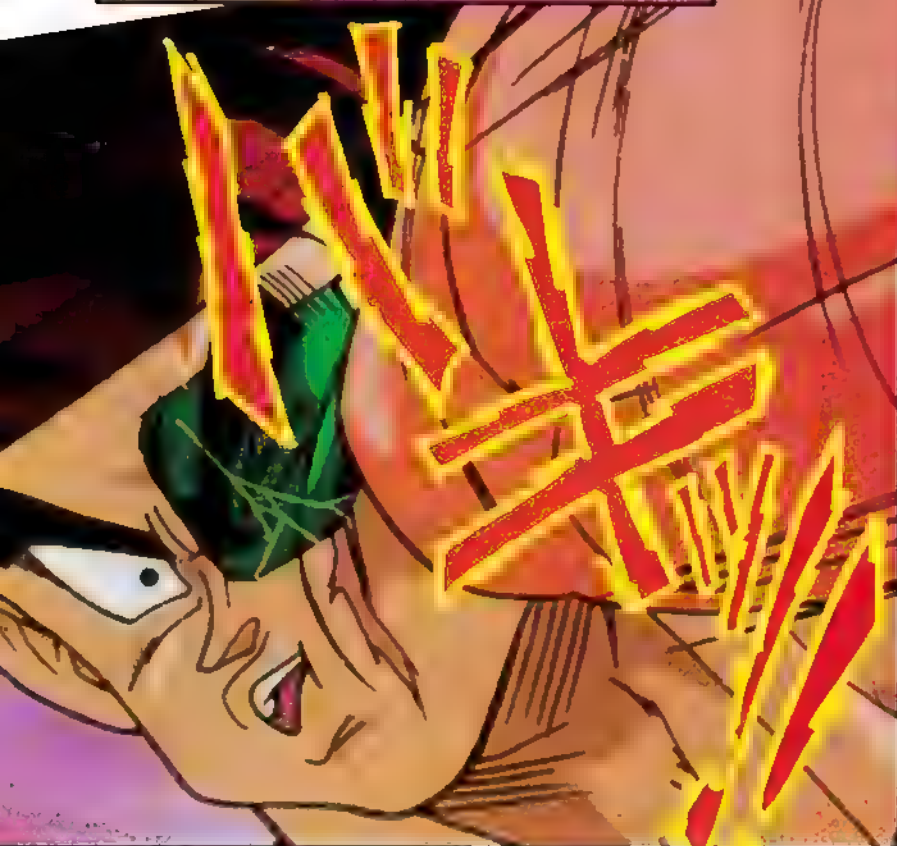
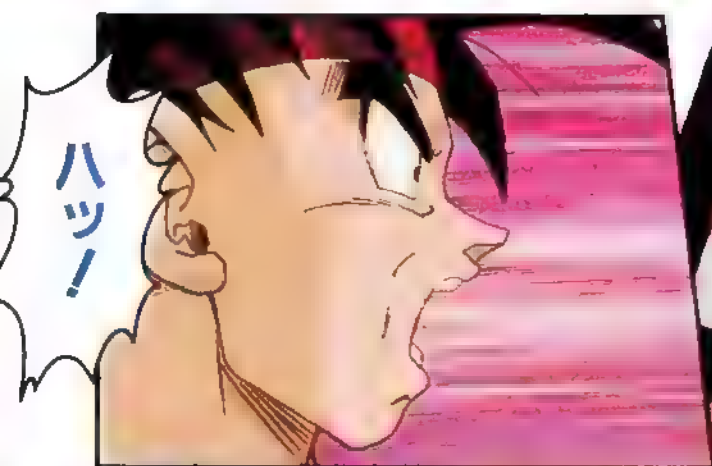
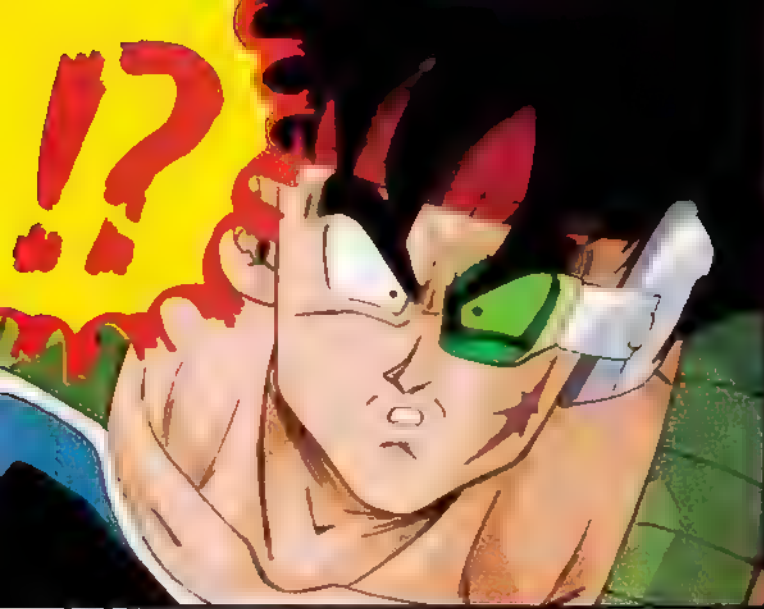
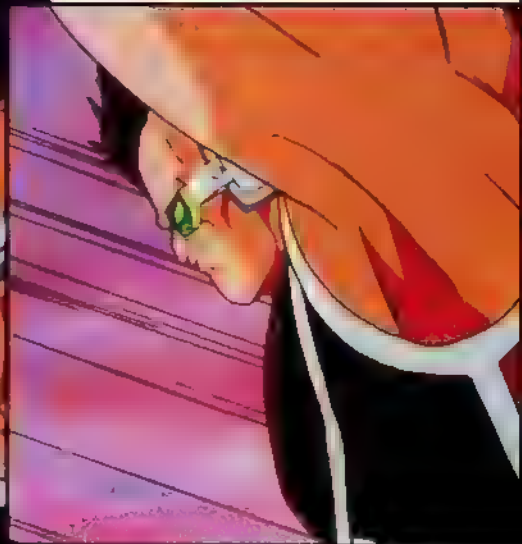
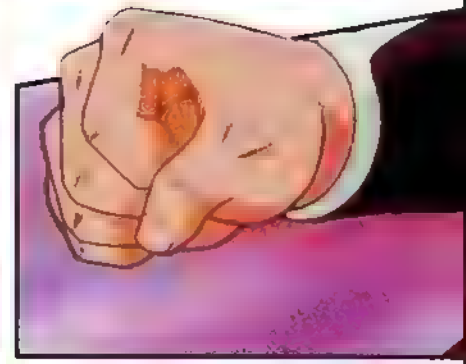
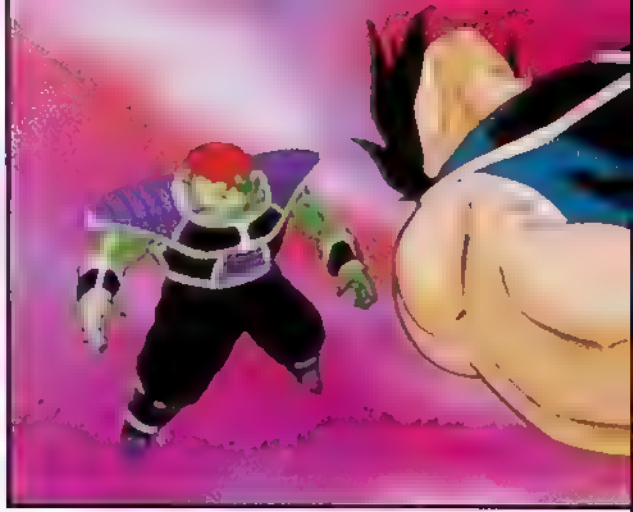
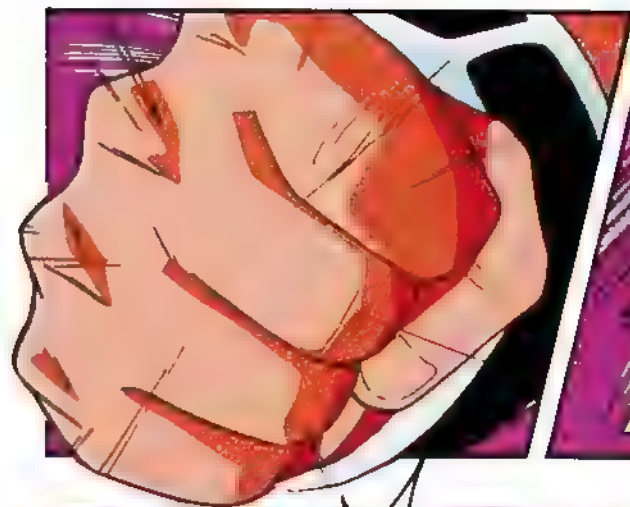
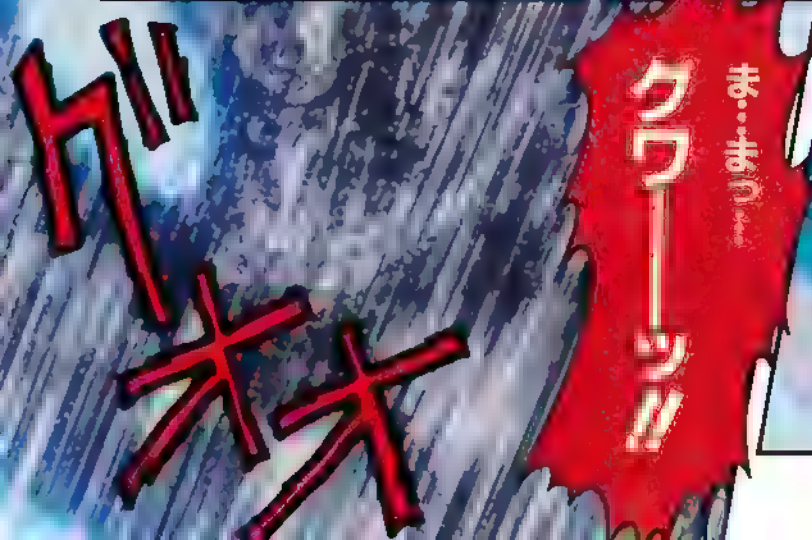
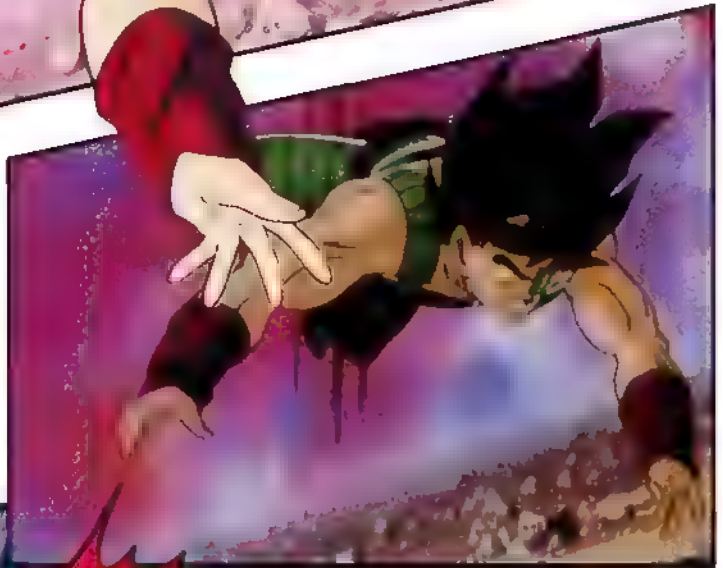
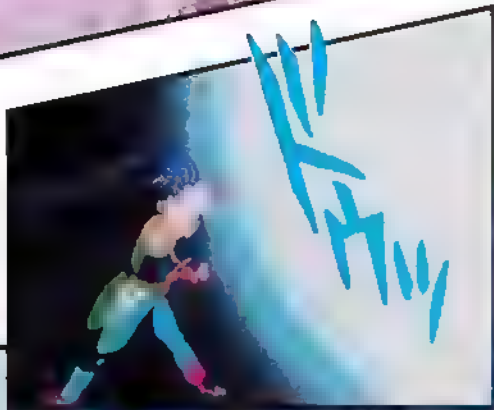
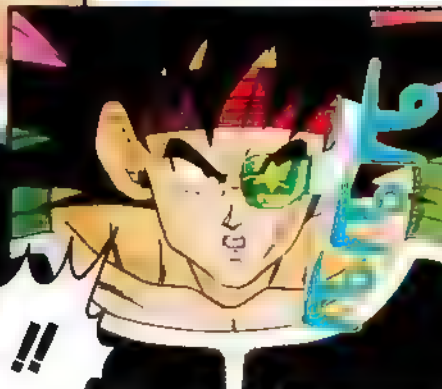
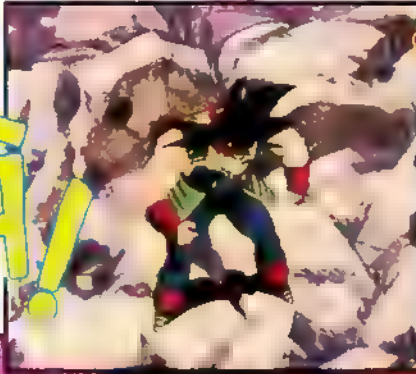
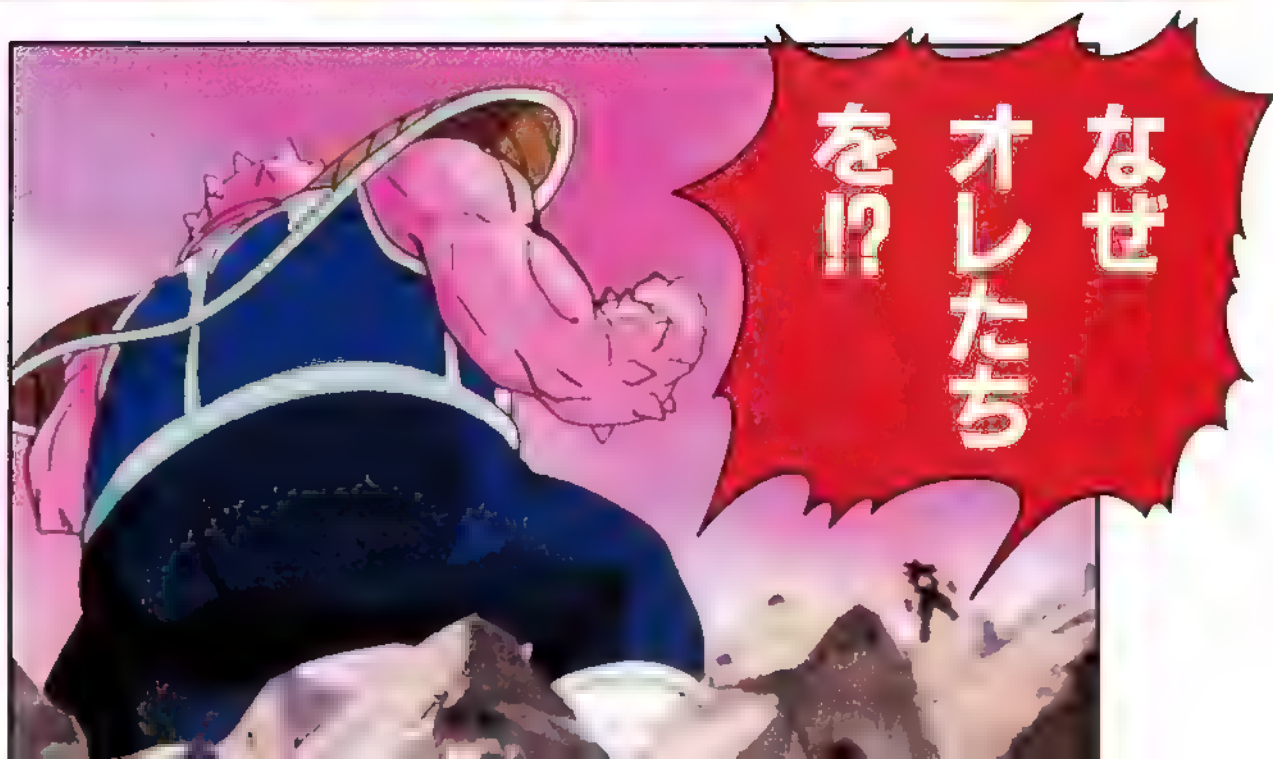
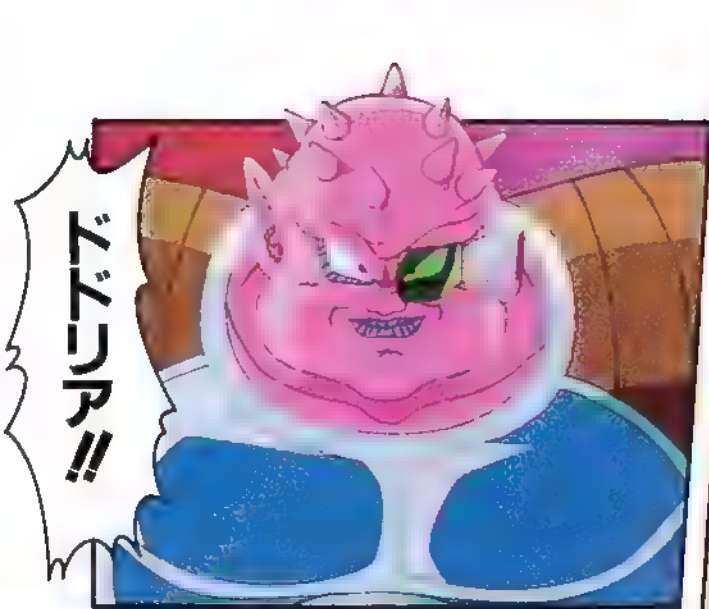
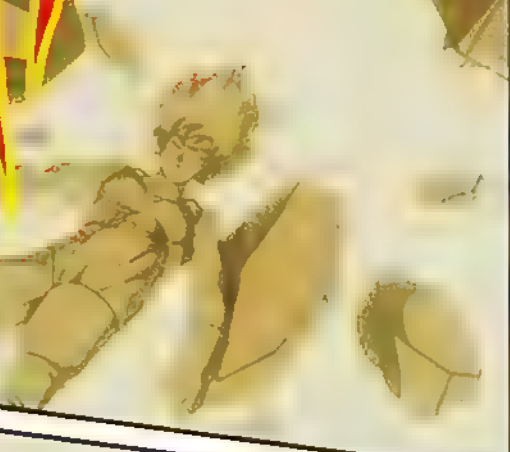
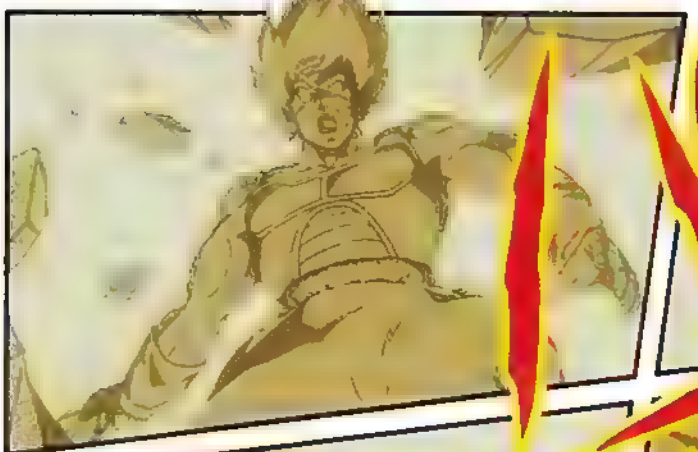
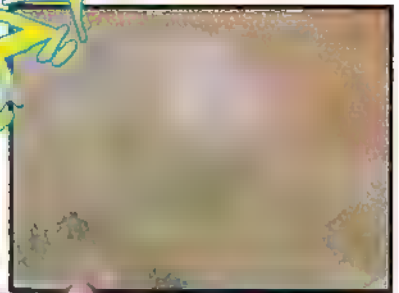
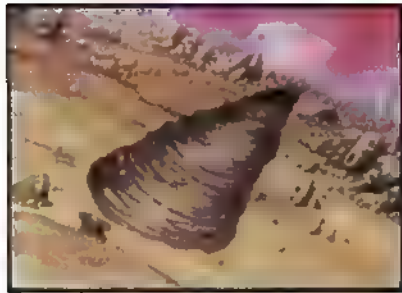
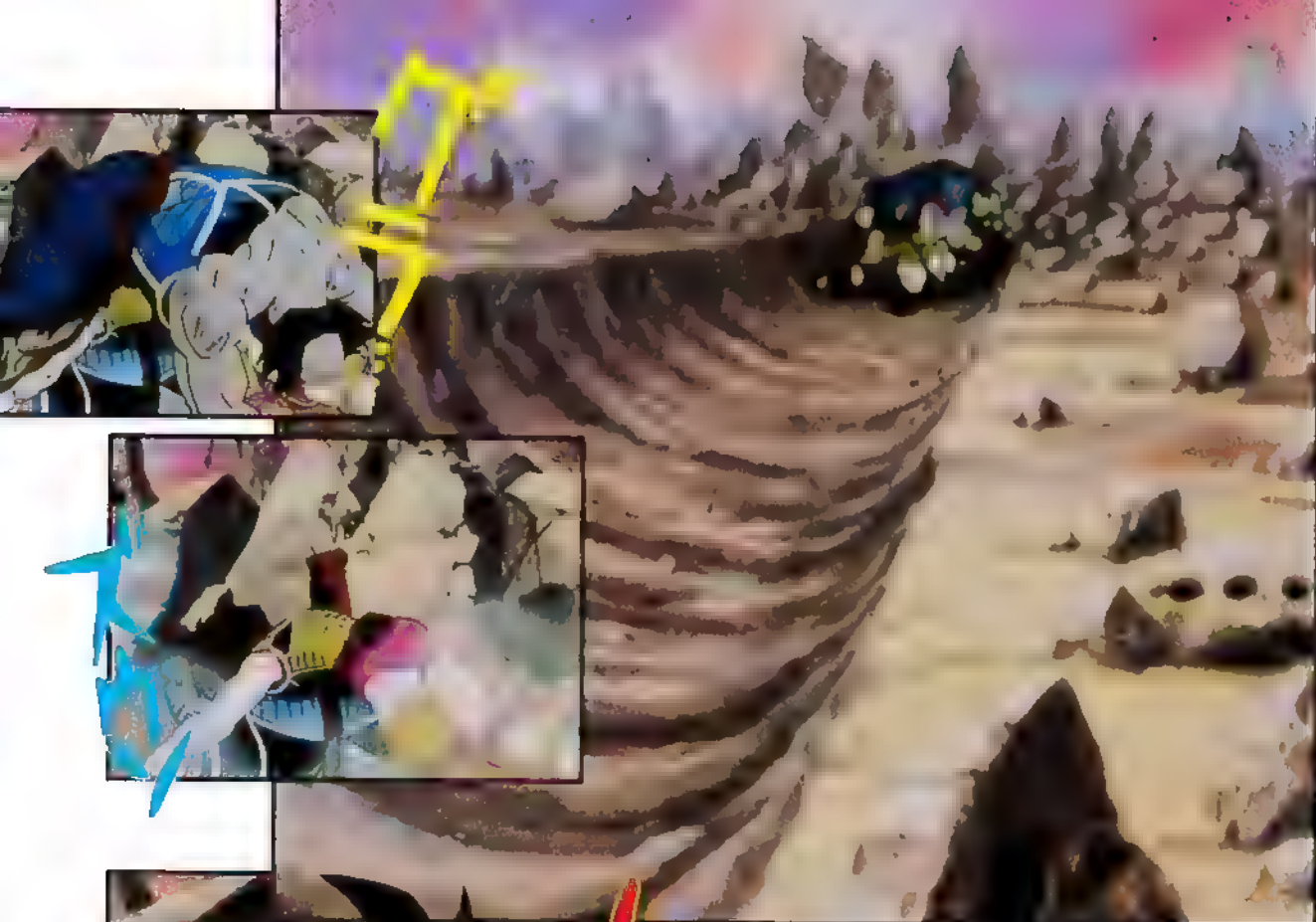
ドドリア!!

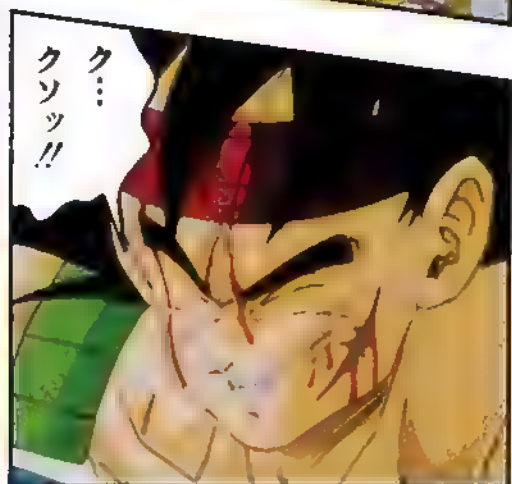
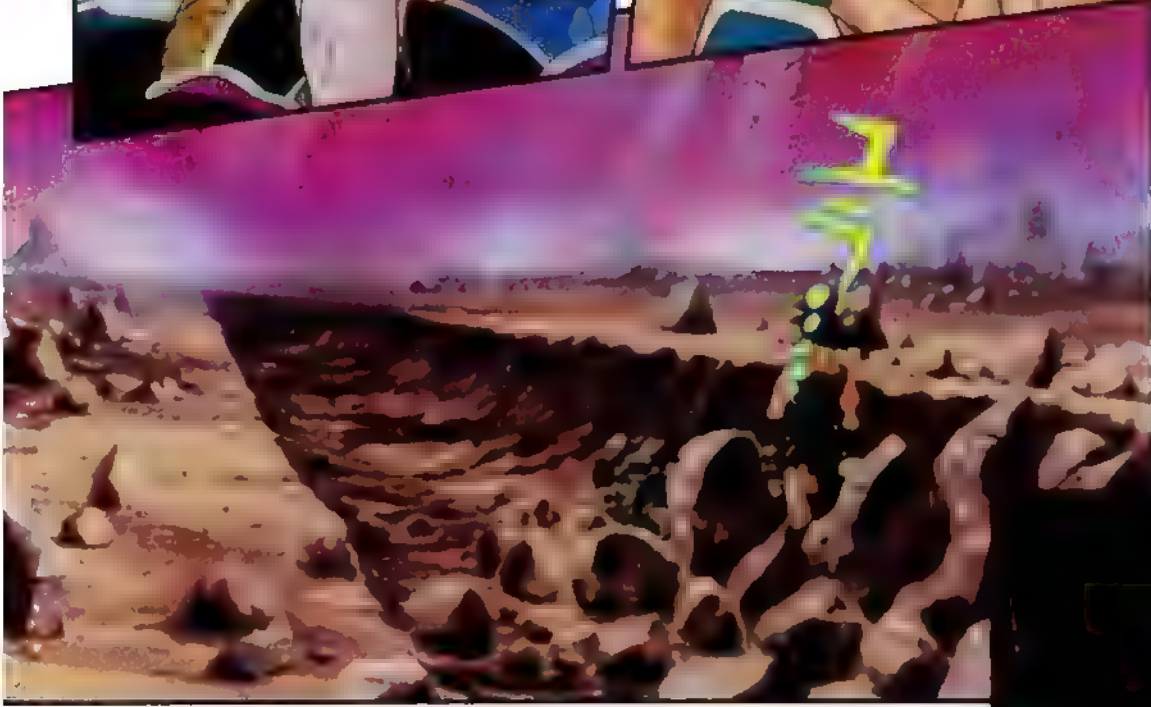
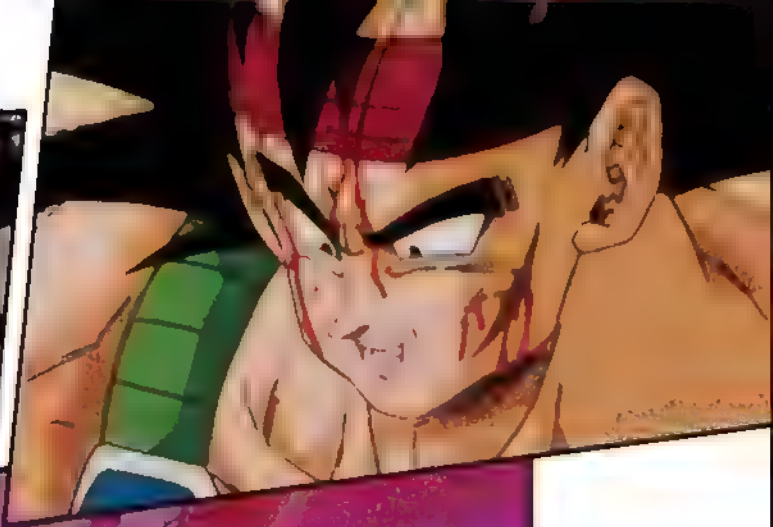
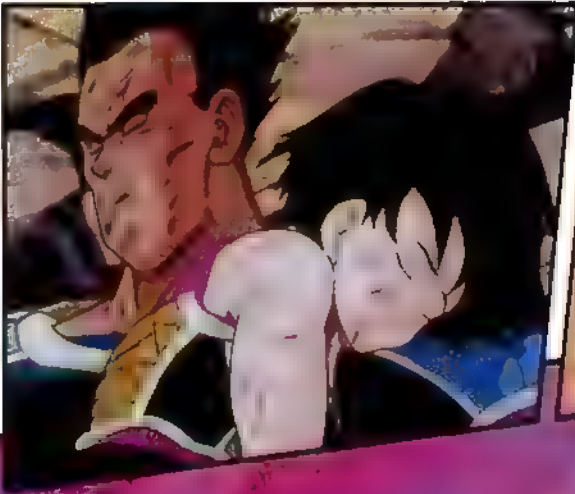
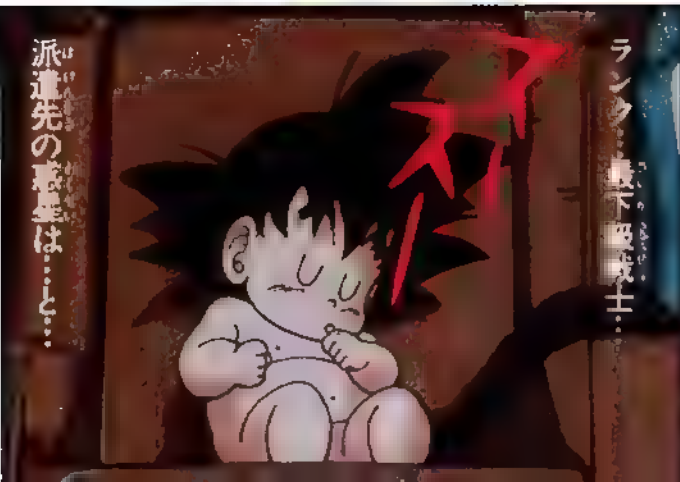
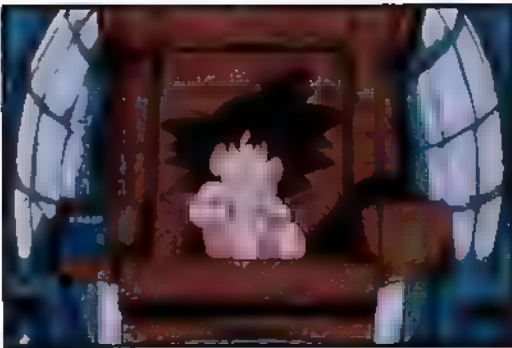
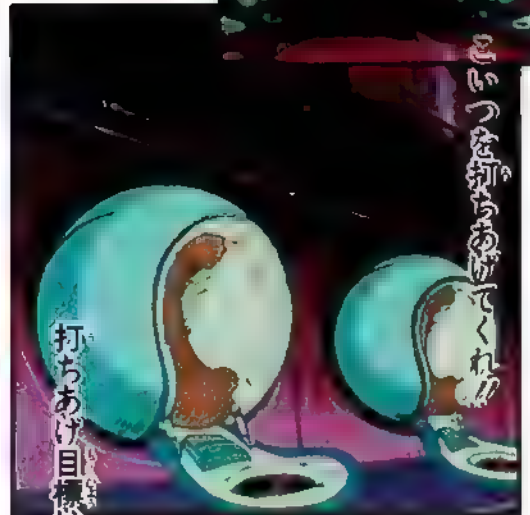
なぜだ!!

なぜ
オレたち
を!?

ニタッ
グワッ
!!

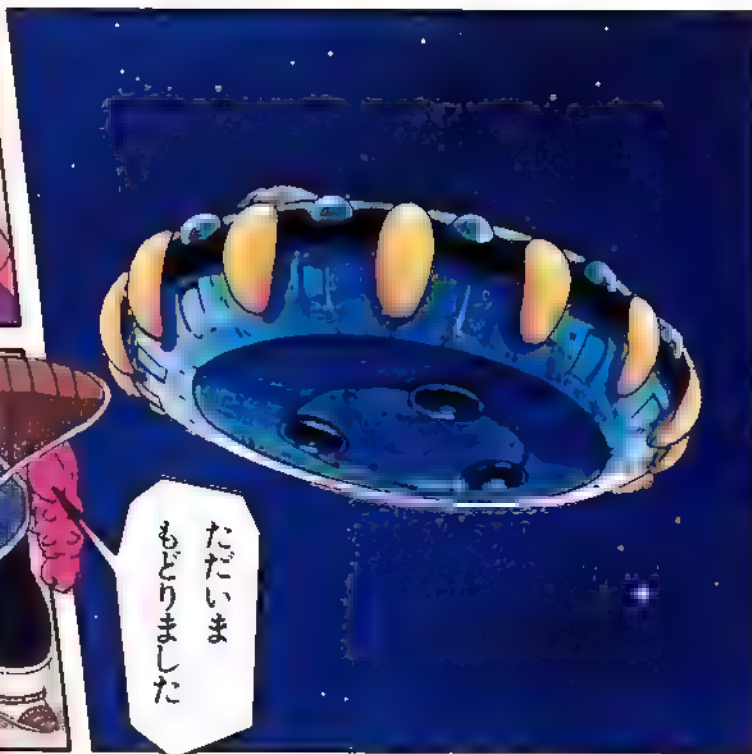
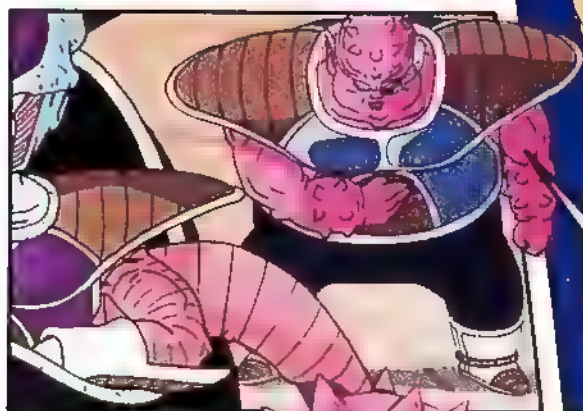
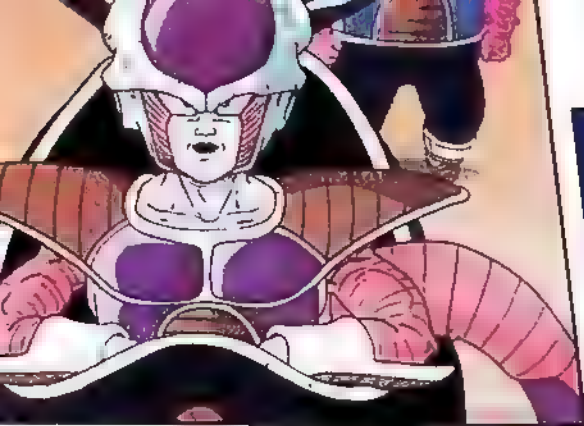
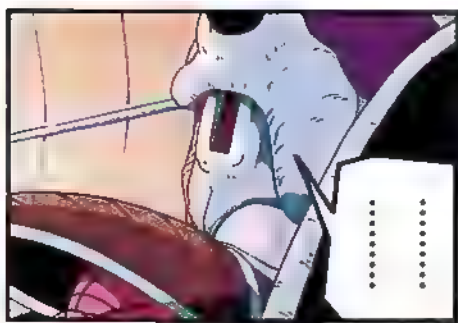
パァァァァ…

あっけなかったな
もうすこし遊んでやってもよかったんだが…
ああ?
わかった!

まさか…
フリーザ様は
本当に
オレたちを…!!
ク…
クソッ!!

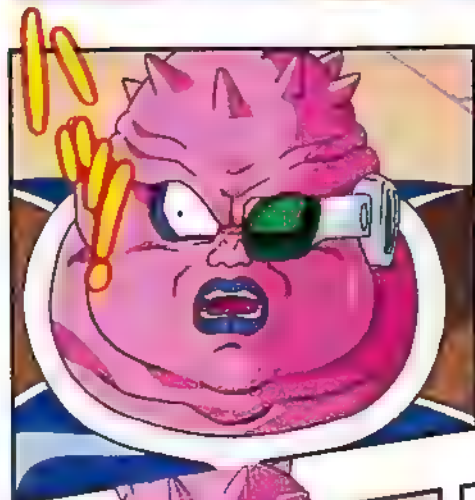
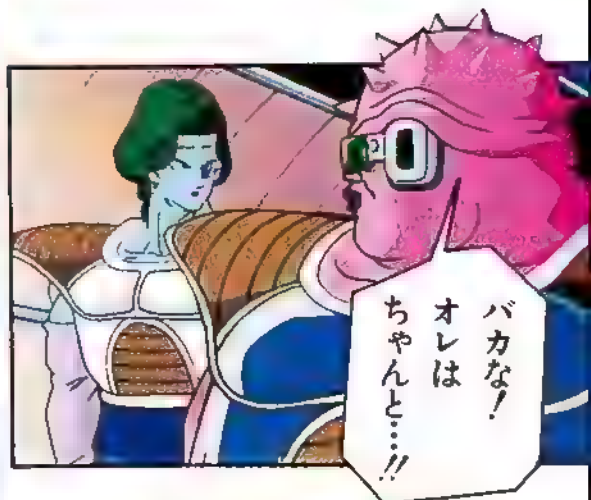
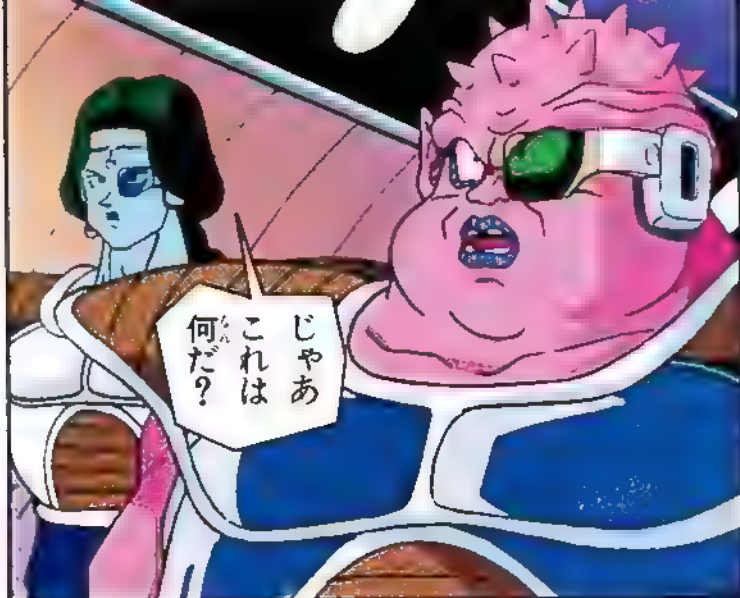
エラ…

こいつを打ちあげてくれ!!

打ちあげ目標はＦＸ50方向…

名前はカカロット…

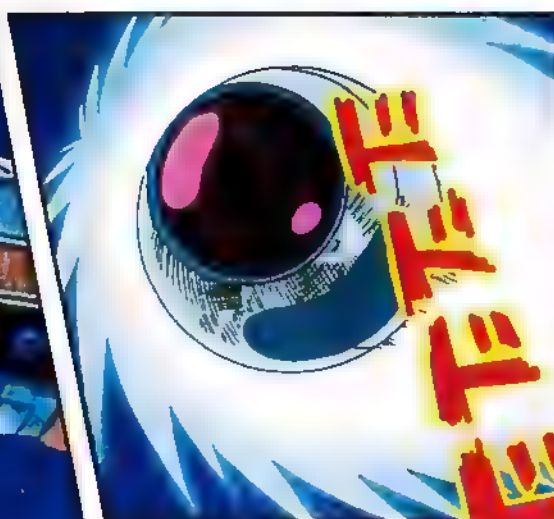
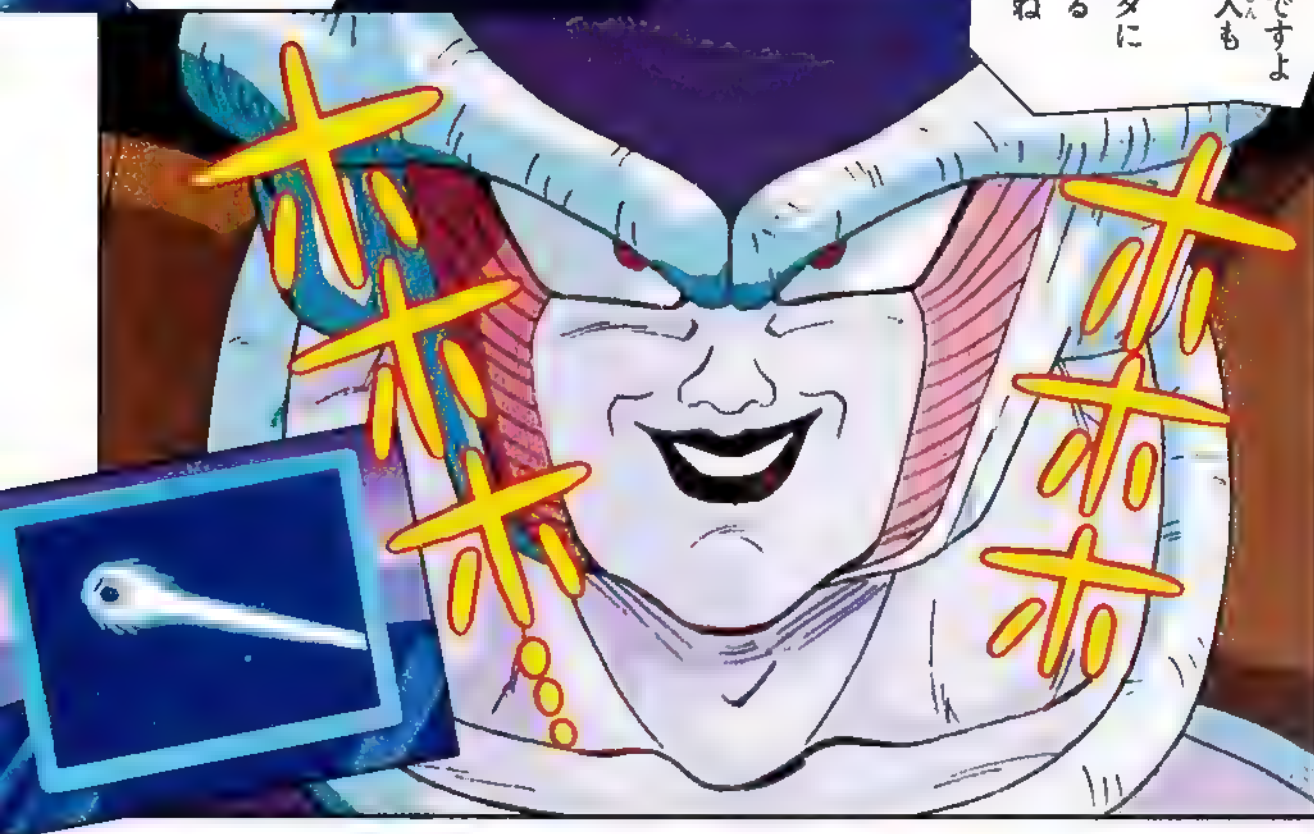
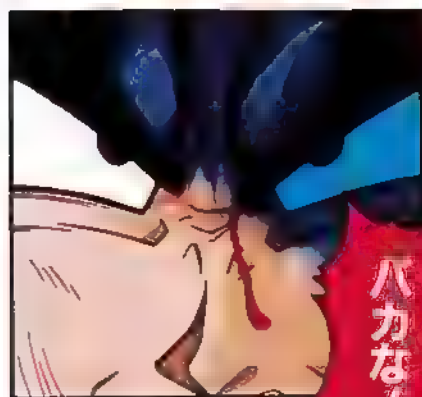
バーダックの息子か

ただいまもどりました
?
………
ドドリア不手ぎわだったな
何だと!?
惑星ミートのサイヤ人をひとり…取り逃しただろう…

バカな！オレはちゃんと…!!
じゃあこれは何だ？
クッ！あ…あいつ…
生きていやがったのか!!
……………
も…申しわけございません！
すぐかたづけてまいります

まあ…いいですよ このサイヤ人も どうやら 惑星ベジータに 向かっているようですしね

はあ?

どうせ 同じ運命をたどるというわけですね

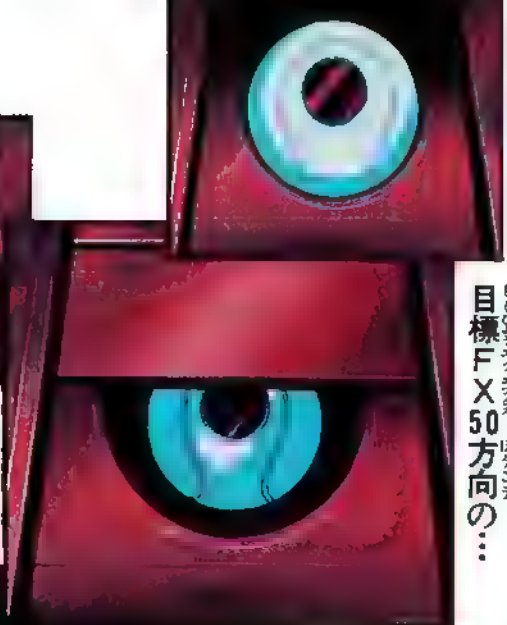
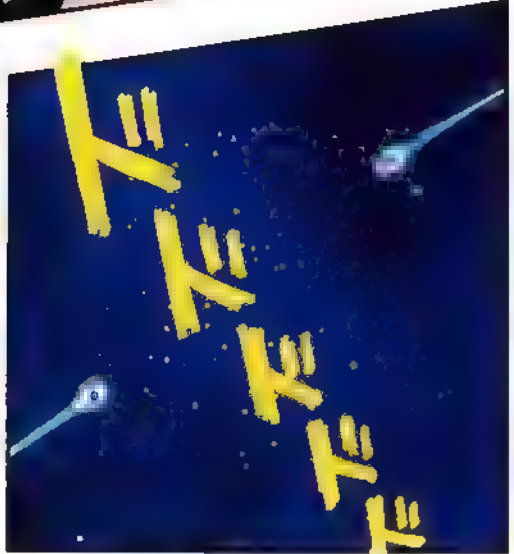
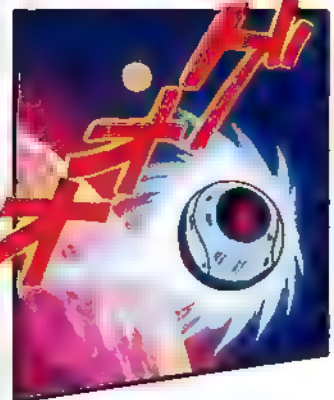
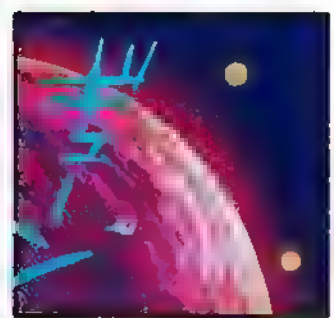
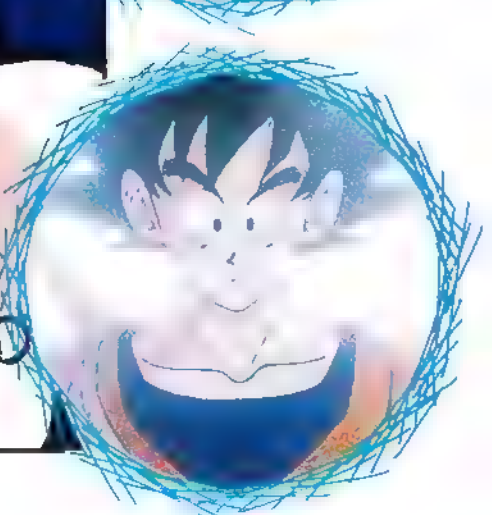
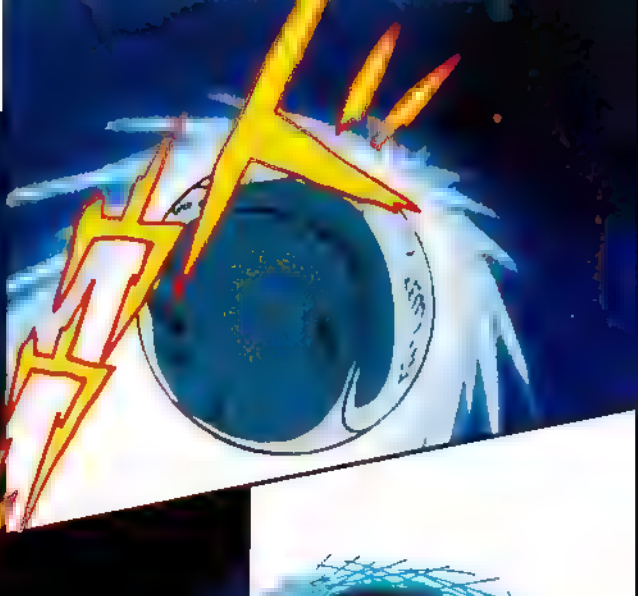
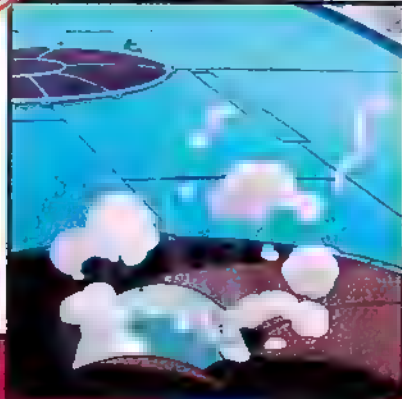
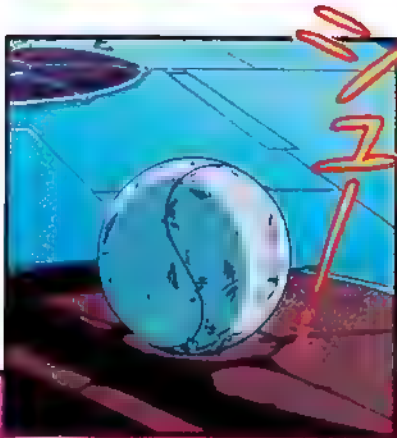
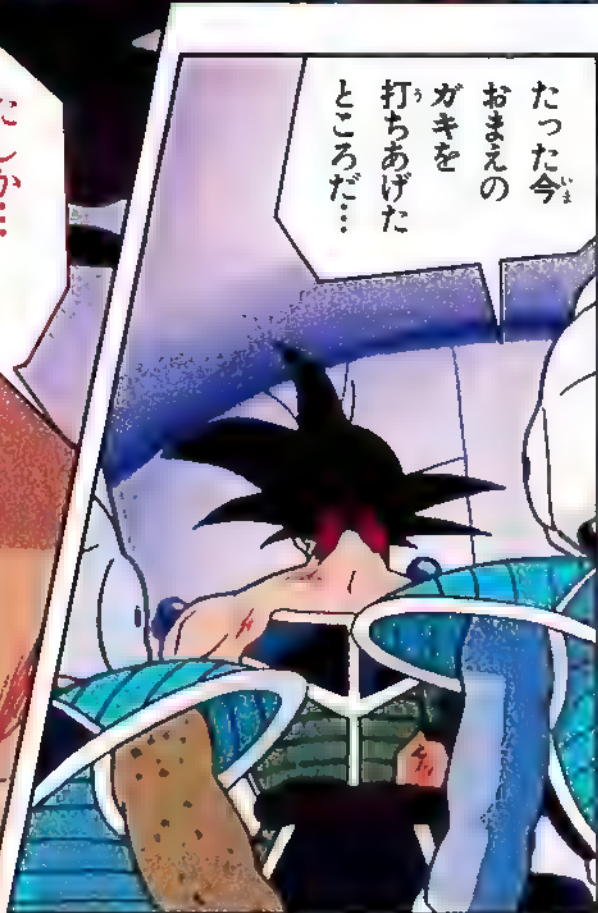
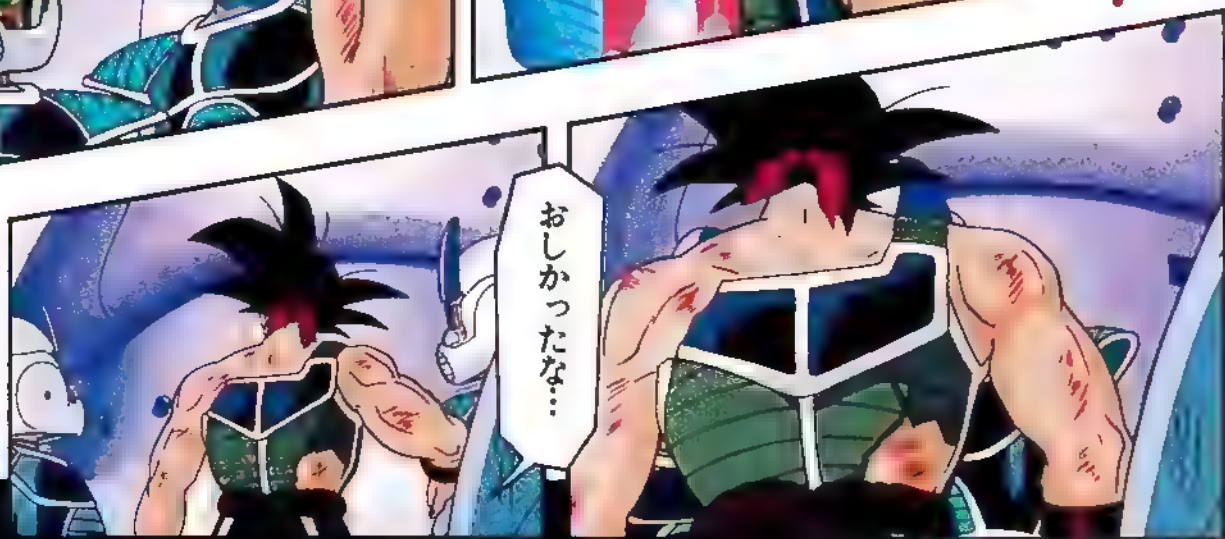
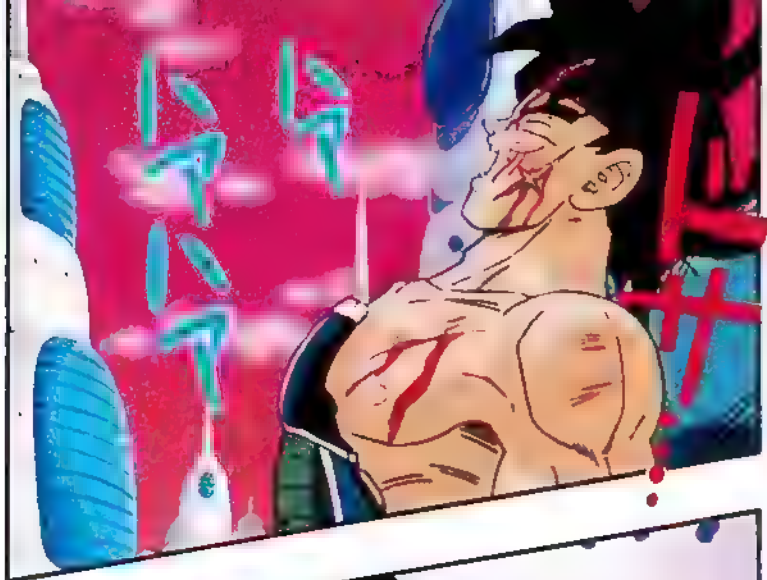
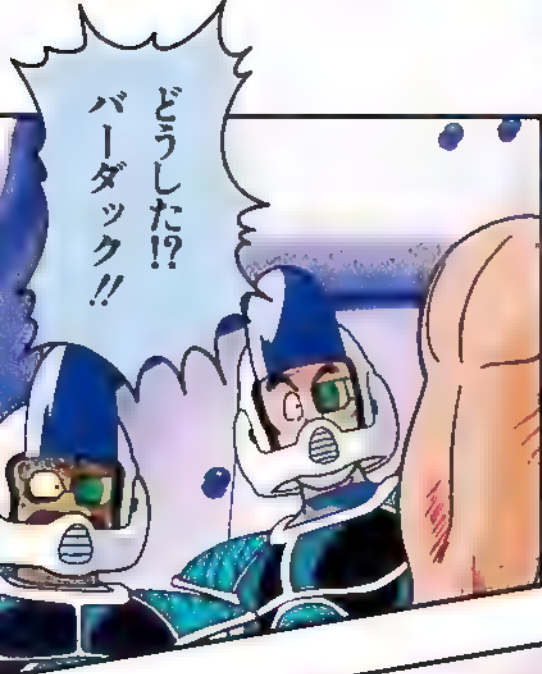
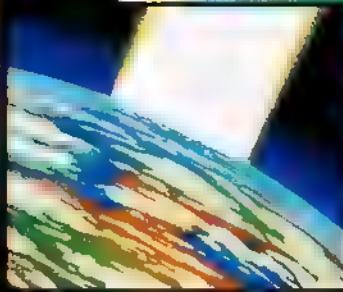
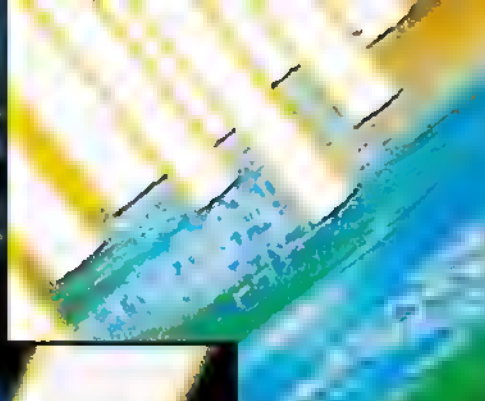
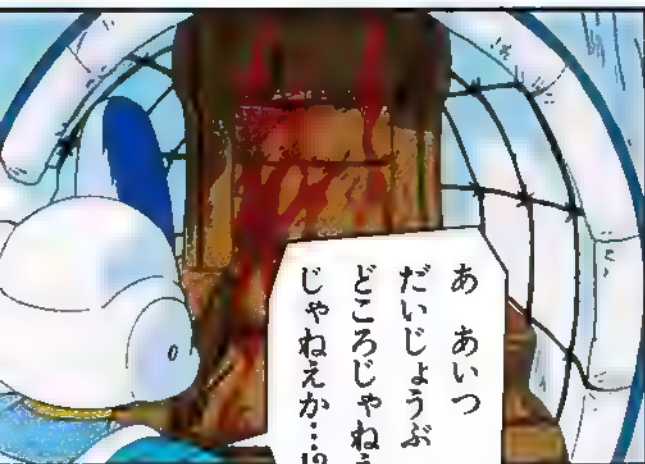
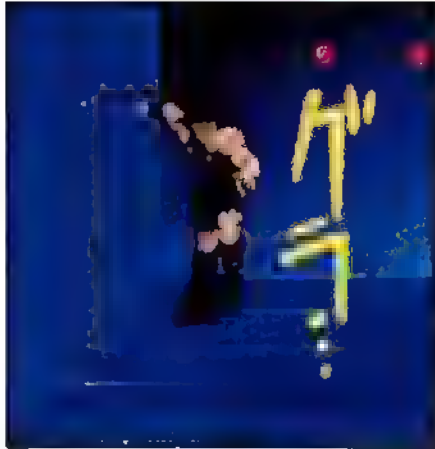
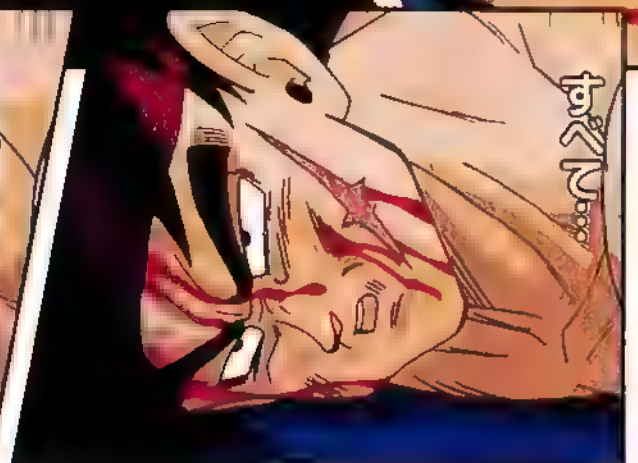
ホホホ

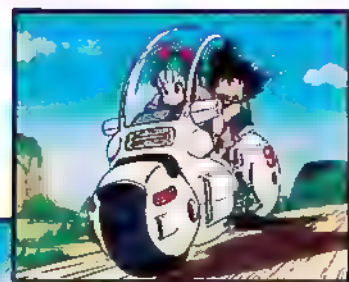
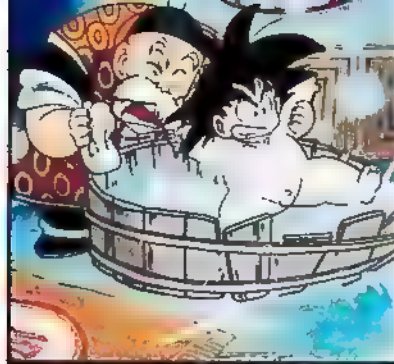
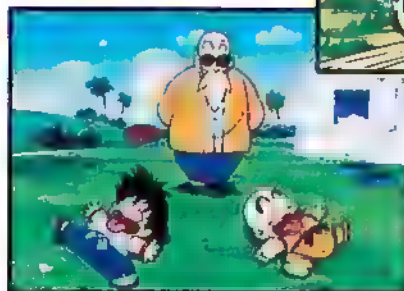
ホホホ……

惑星ベジータへ……!?
あ…あれは…フリーザ様の宇宙船…!!
そんなバカな!
久しぶりに…この宇宙で最高のショーが見られるのですか
きれいな花火たといいですね…!!

ポッド射出!!
ドシュッ!
目標FX50方向の…
惑星…地球…
ん!?

…カカロット!!!
ダ

ギューン
ズボッ
シュー
コロ
ハァ
ハァ

ドサ!!
ハアハア…
どうした!?
バーダック!!
おしかったな…
たった今おまえのガキを打ちあげたところだ…
たしか…地球とかいう辺境の星にな…

地球だと…!?
あ…ああ…
太陽系の青い星だ
まあ…いくら下級戦士でも
数か月もあれば
壊滅できる星だぜ
おまえ…
その体を直したら
会いに行って
やるといい
しかし どうしたんだ?
おまえともあろう者が
そんな傷をつくって…
たしかミート星に
行ったんじゃ…
あ…
あれは地球だ!
まちがいない!!
今まで見てきた夢は
すべて…
本当の未来…!

ということは…
どうした!
バーダック!!
まさか!?
あん?
おい!
これを見ろ!
あ あいつ
だいじょうぶ
どころじゃねえ
じゃねえか…!?

ハァ
ハァ
あれが…
本当の未来!!
グラ…
ウッ!
ドサッ
すべて…
これから…
おこる…
現実…!!

わしは 今 おまえに
未来を予知できる
幻の拳を放った…
おまえら一族の
行く末が
見えてくるはずだ

言っておくが
おまえらには
呪われた未来
しかないぞ!
わが一族と
同じように
滅びさるのみなのだ!

その未来の姿を見て
せいぜい苦しむがいい
フッフッハハハ
ハハハハハハ!!

ホッホホ
ホーホホ

うおーーっ!!
ピチャ

ハァ
ハァ

ハァ
ハァ

ザッ

ハァ
ハァ

許せねえ!
ヤツだけは…
このオレの手で!!
フリーザ!!

ガヤガヤ

ガヤガヤ

ウィーーーン

バーダックじゃねえか!?

おい どうしたんだ?

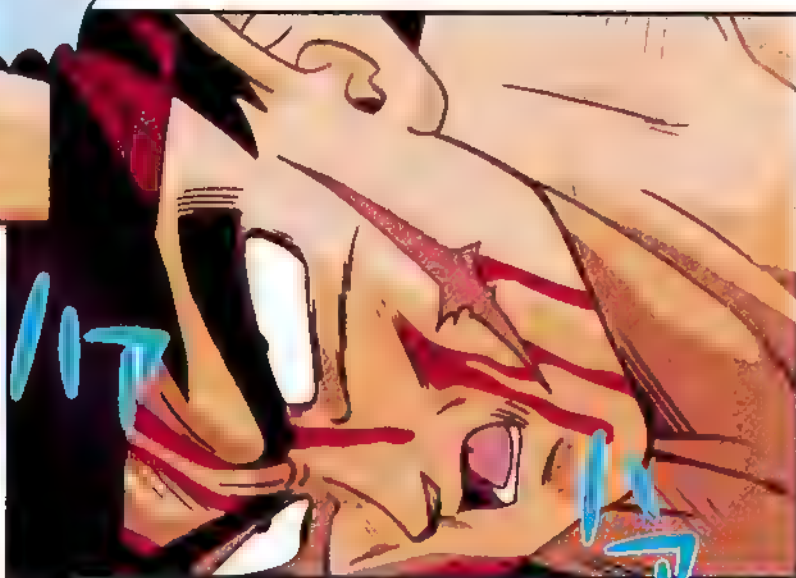
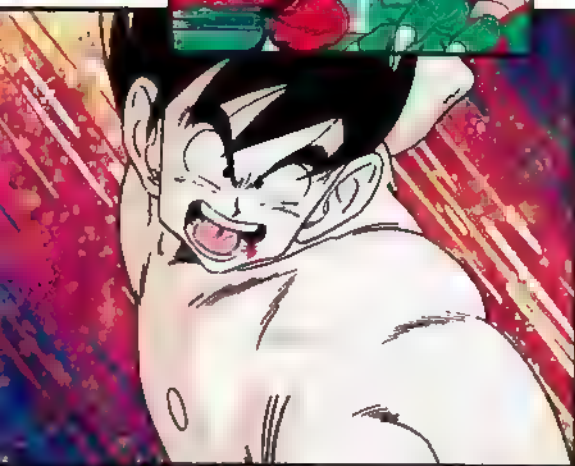
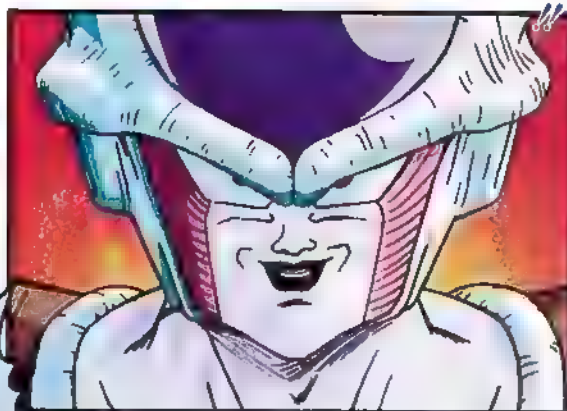
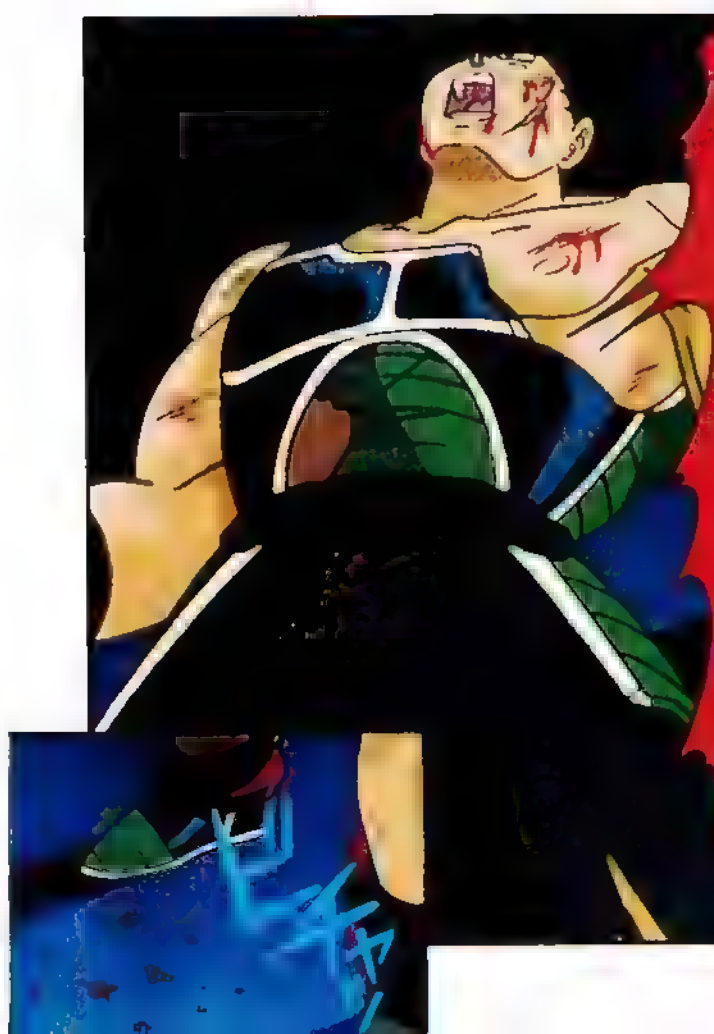
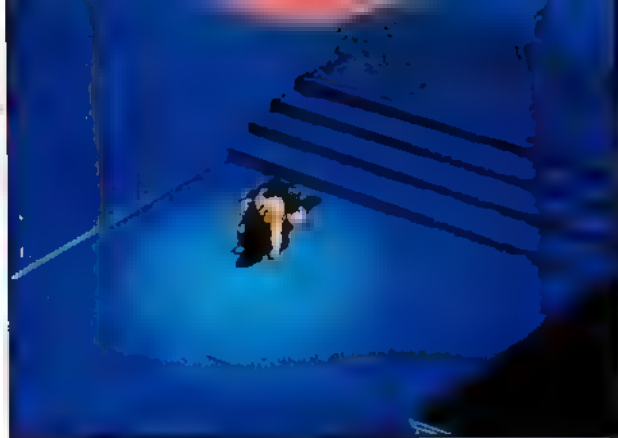
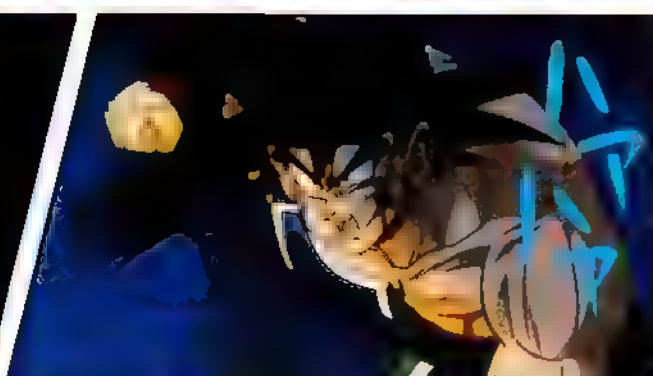
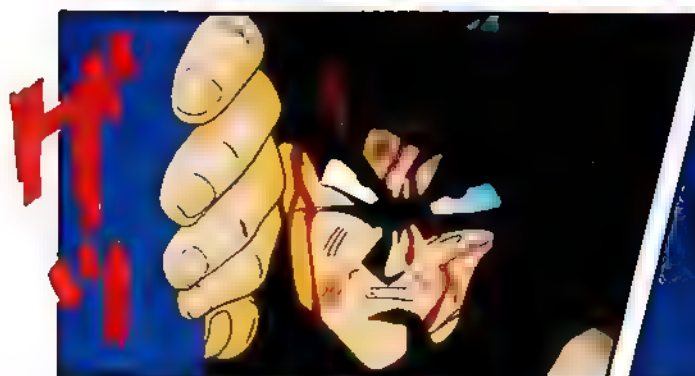
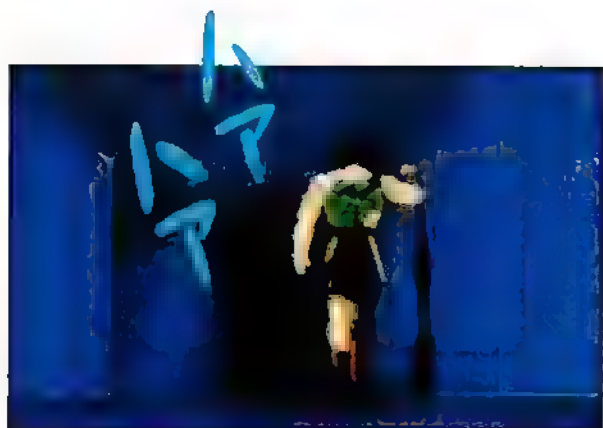
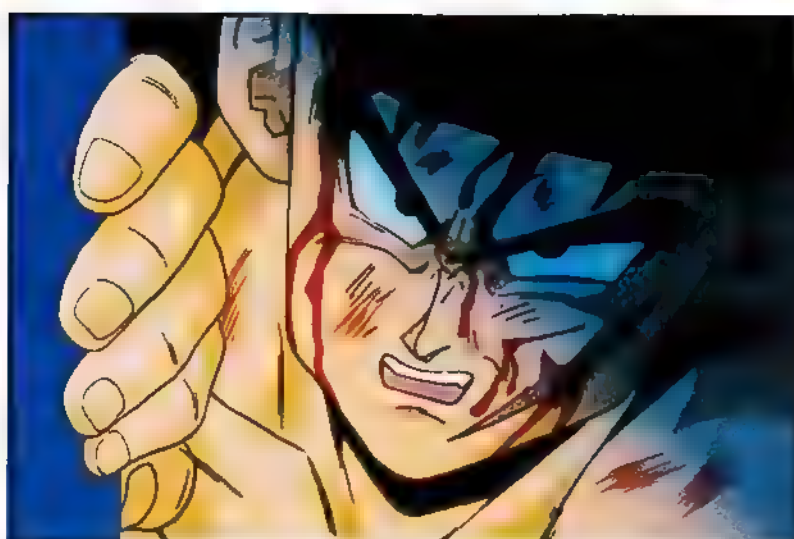
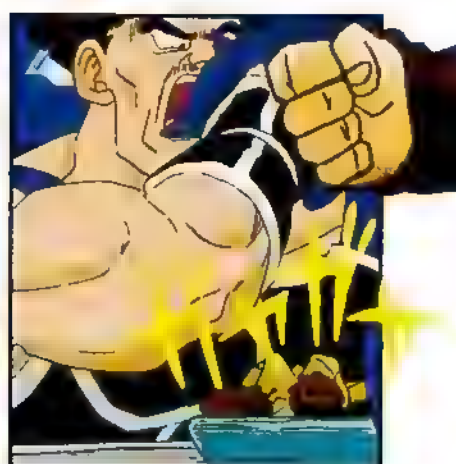
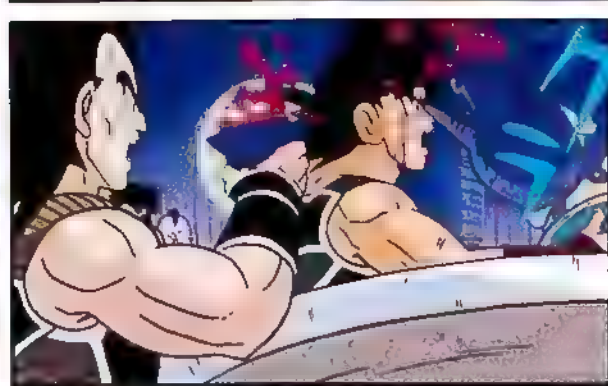
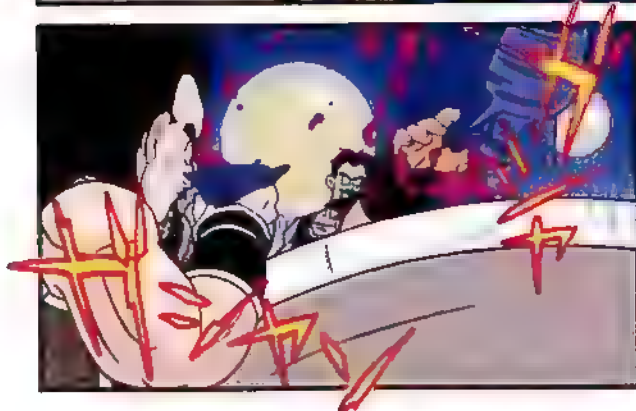
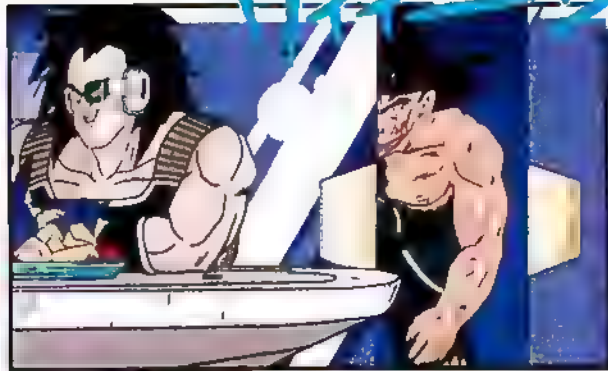
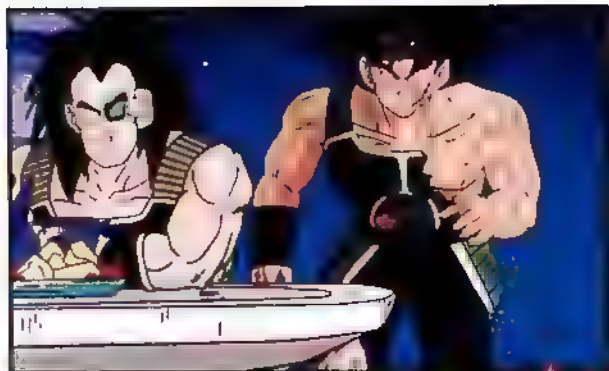
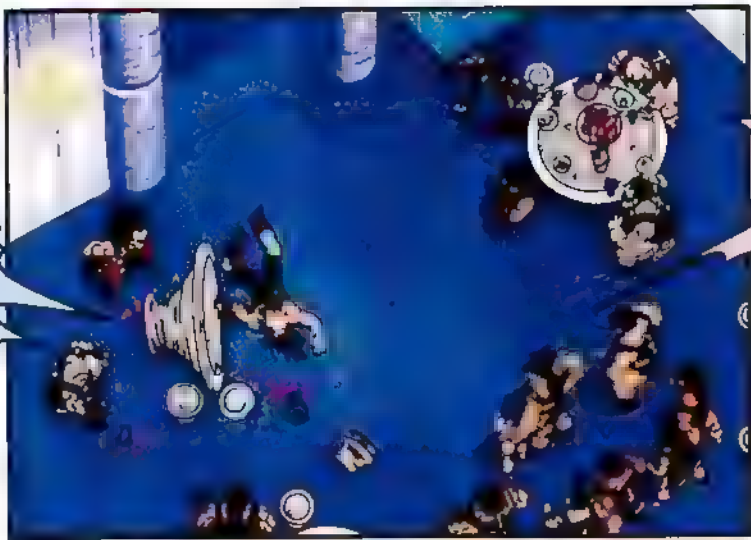
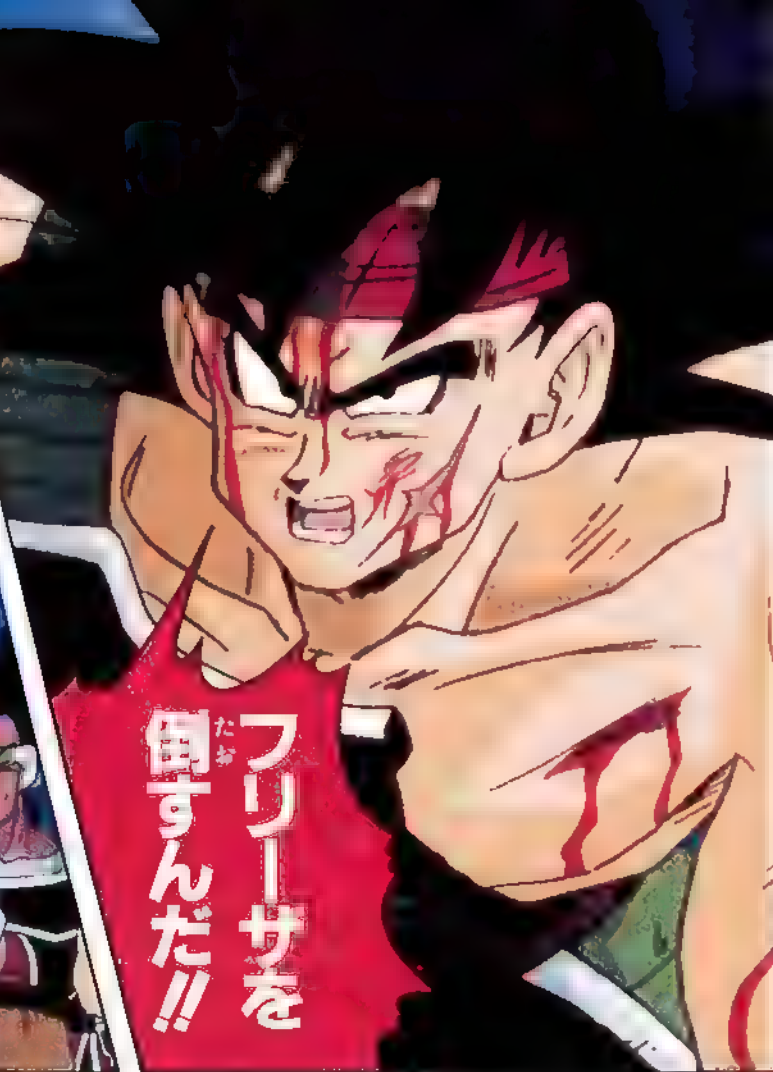
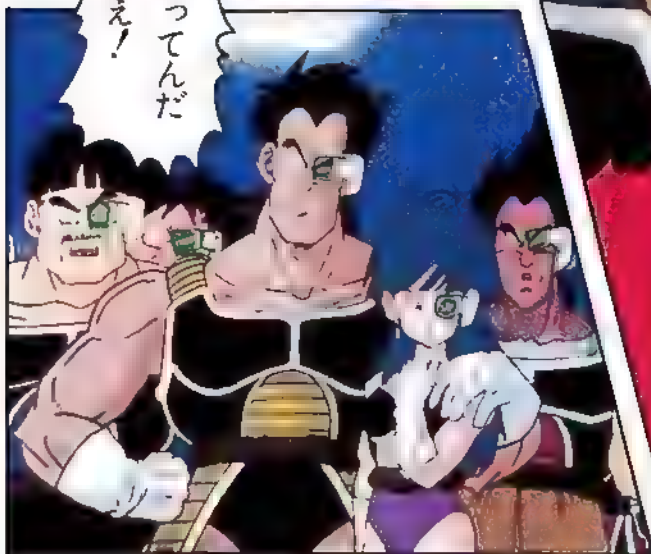
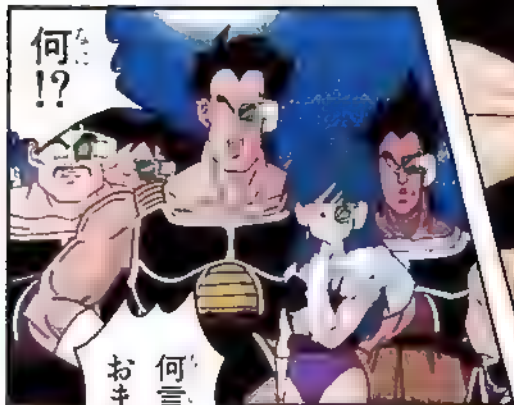
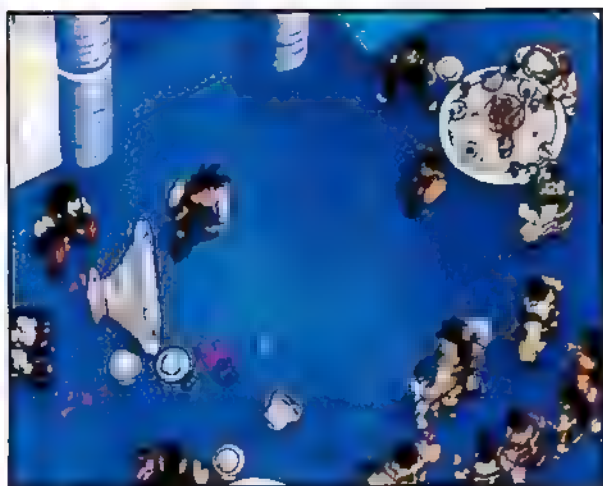
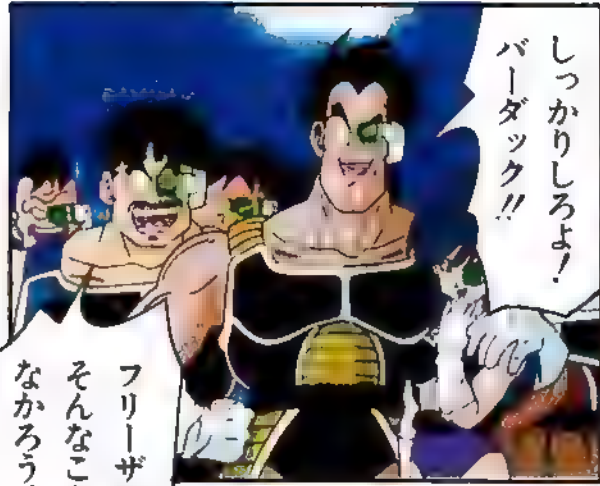
フリーザを倒すんだ!!

何!?

何言ってんだおまえ!

フリーザがオレたちを・・・
この惑星ベジータを消そうとしているんだ!!

ククク
ハハハハ

この星が消えてなくなるだと!

だいじょうぶか
おまえ…!?

しっかりしろよ！
バーダック!!

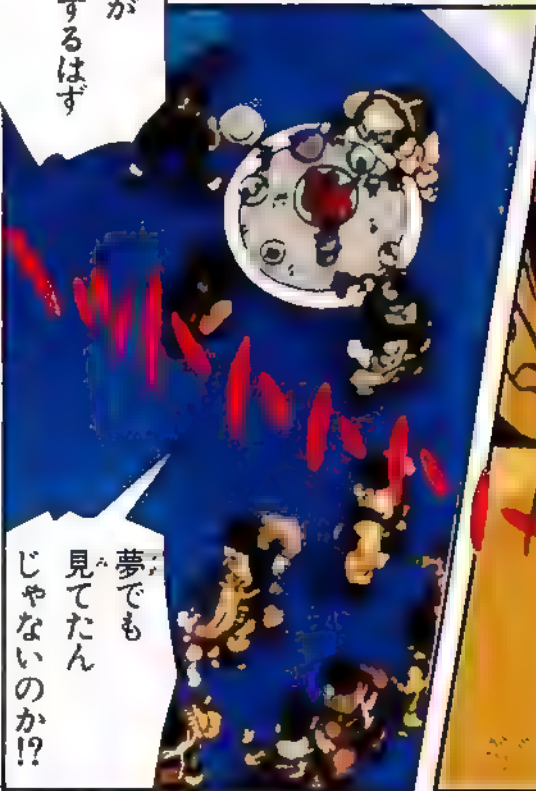
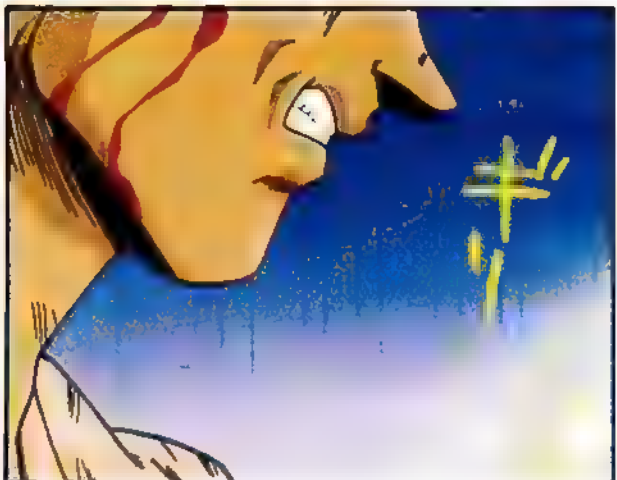
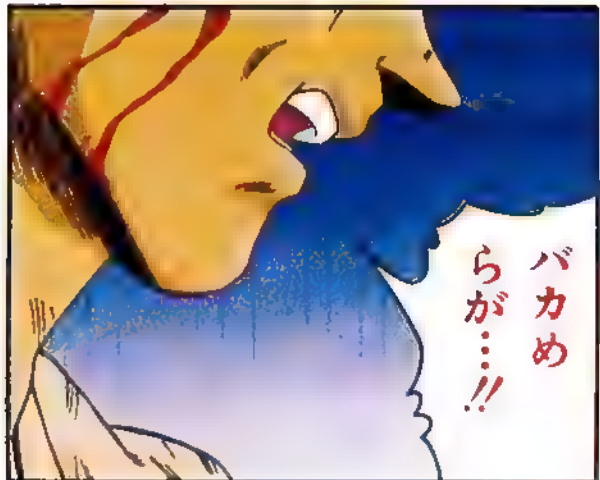
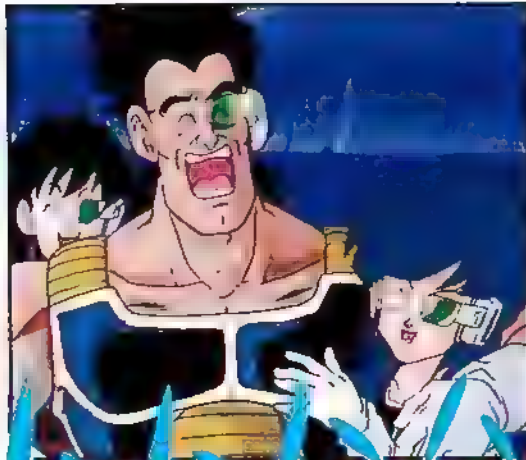
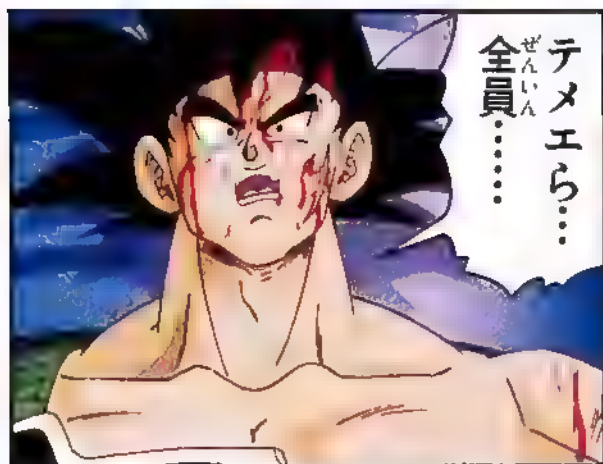
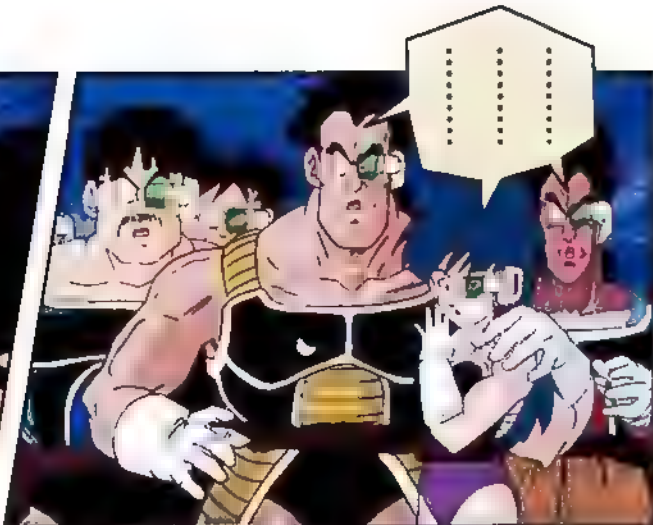
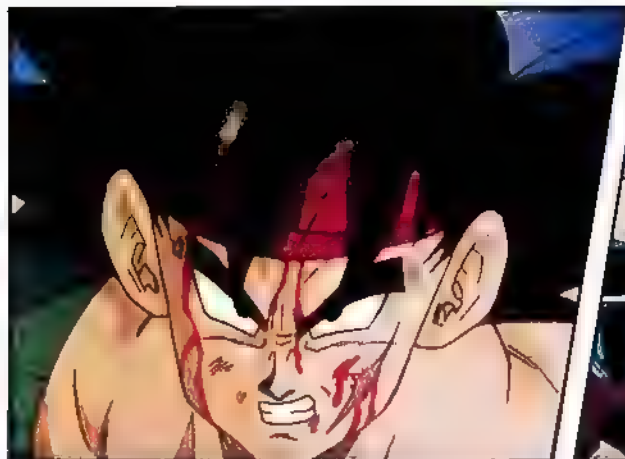
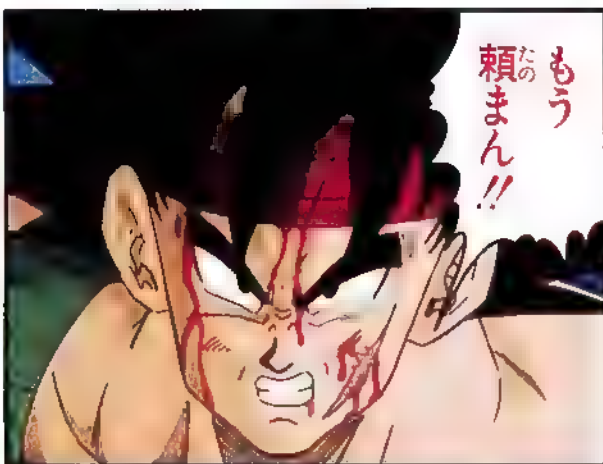
フリーザ様がそんなことするはずなかろう！

夢でも見てたんじゃないのか!?

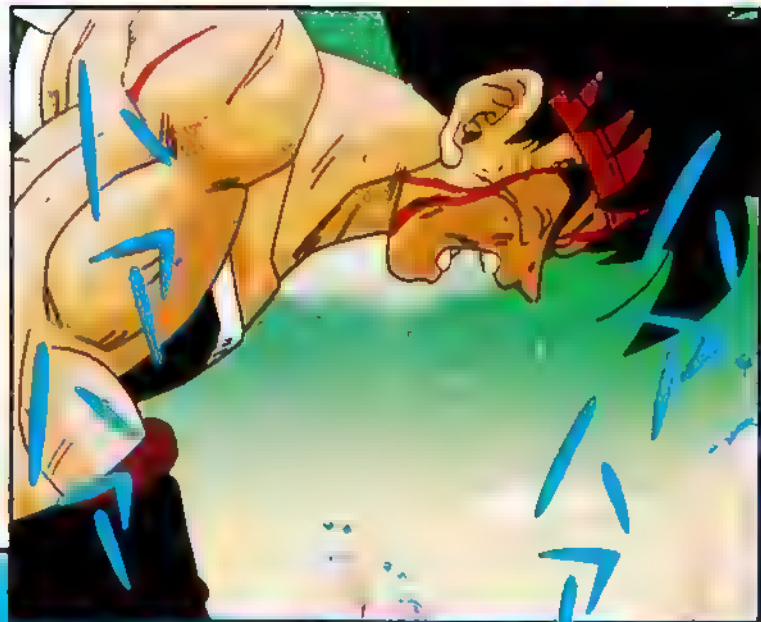
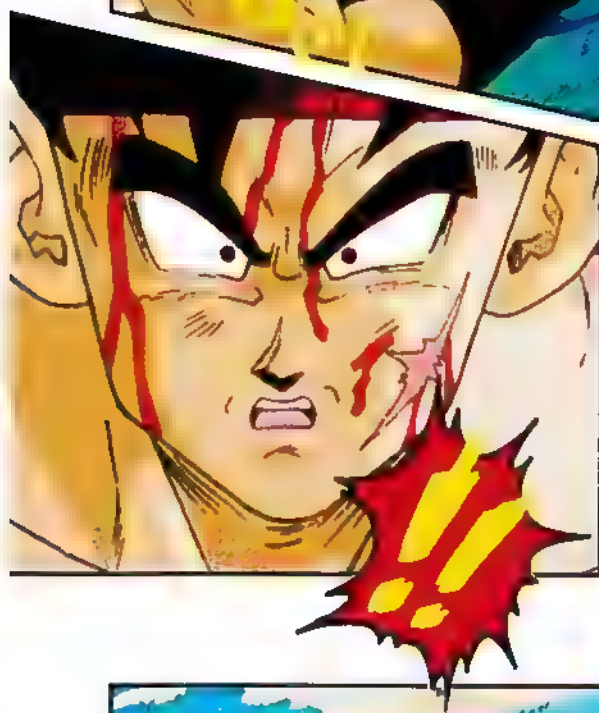
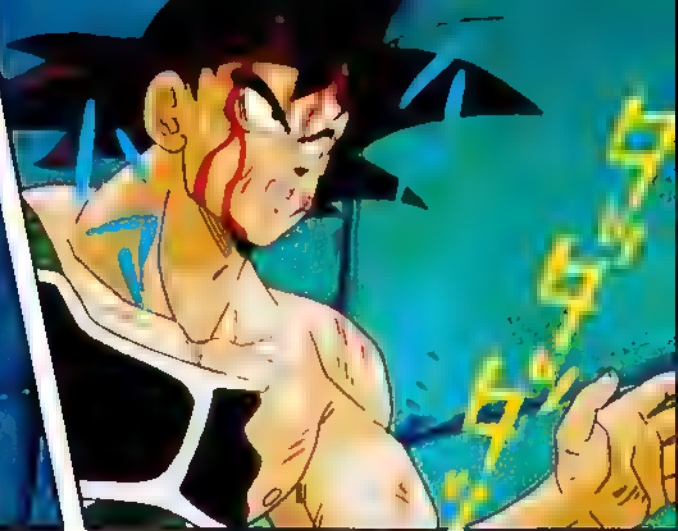
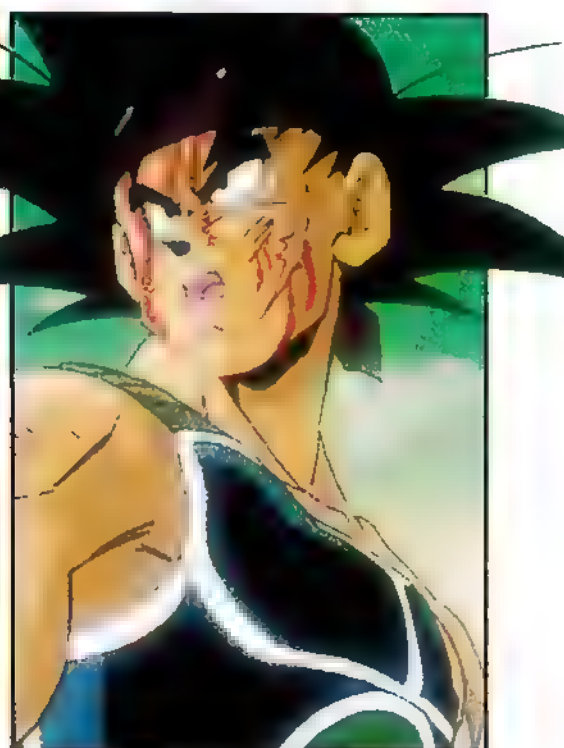
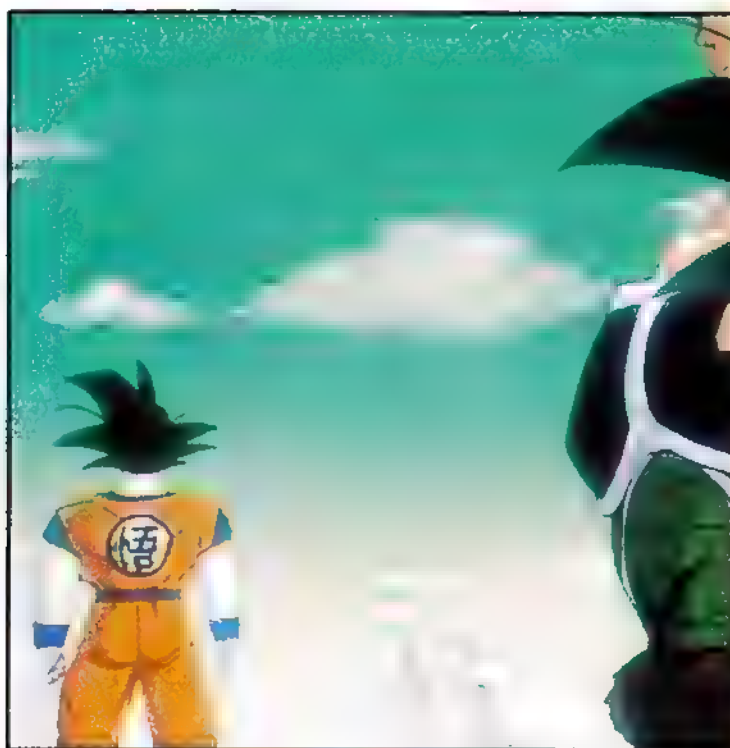
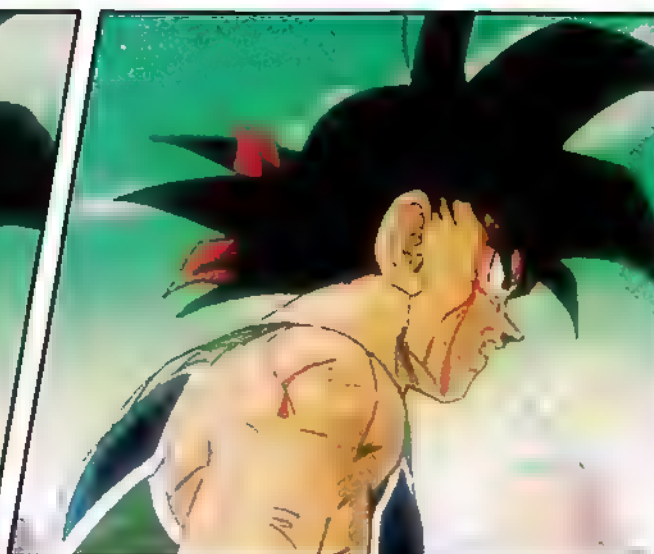
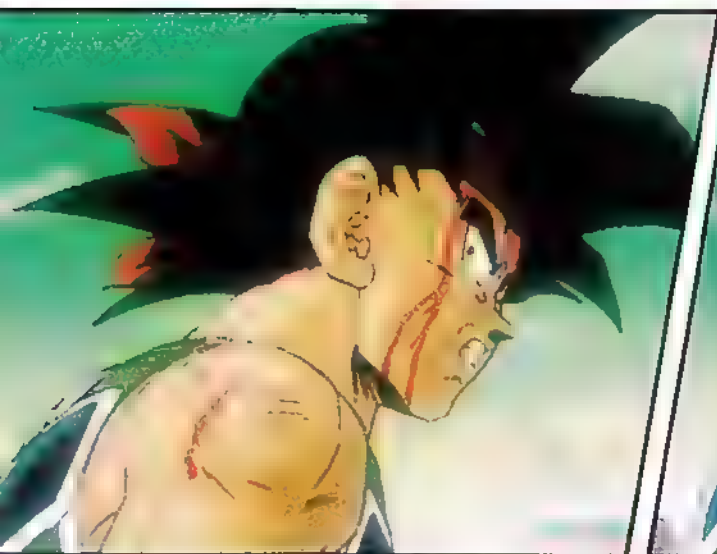
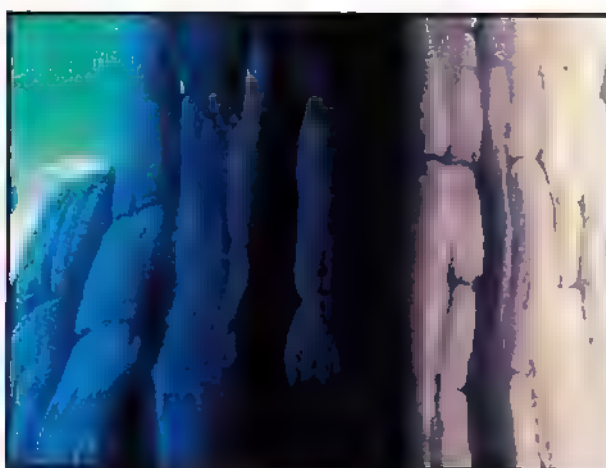
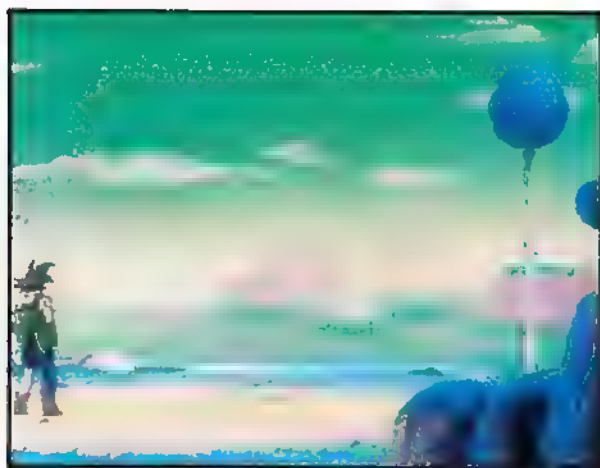
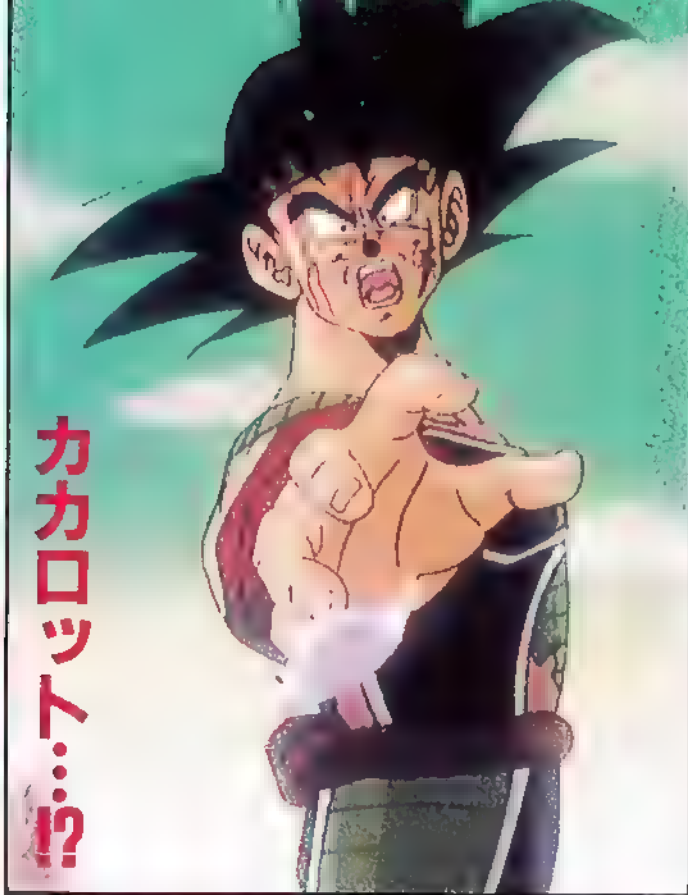
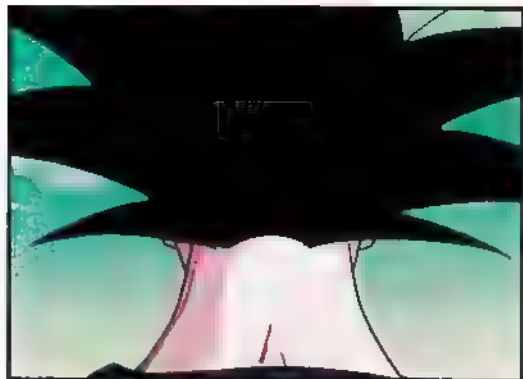
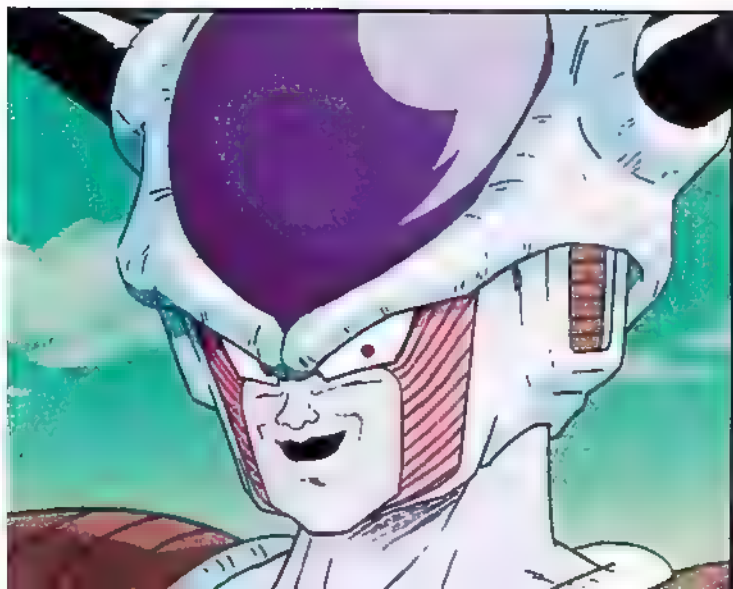
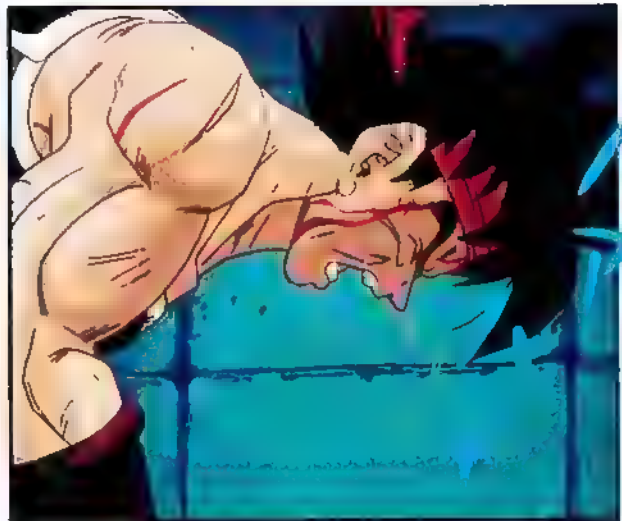
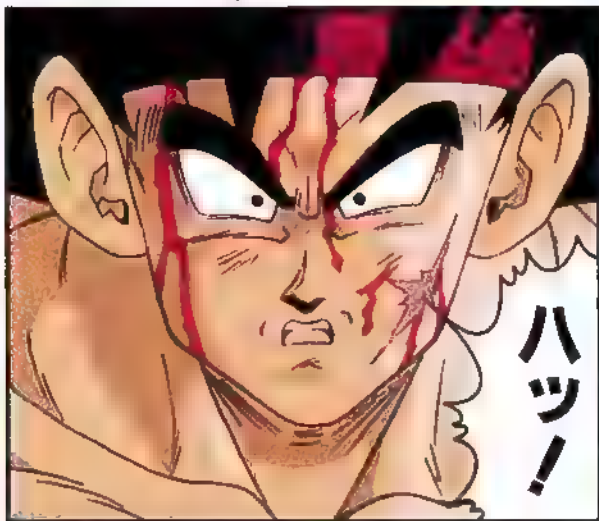
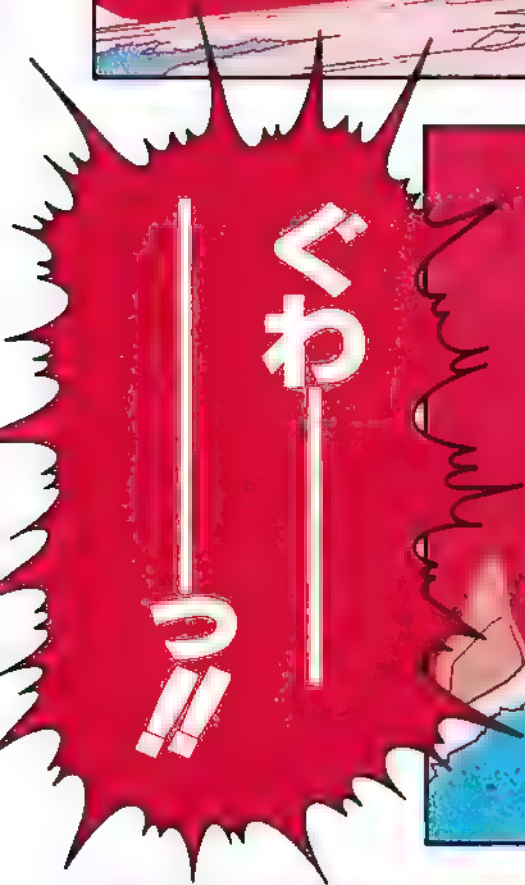
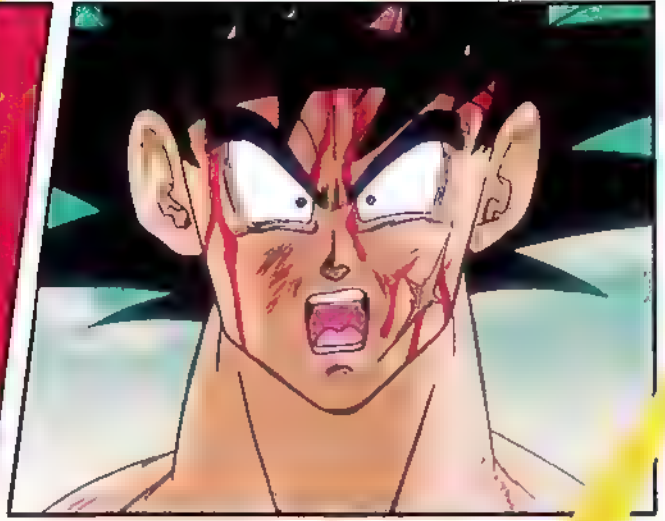
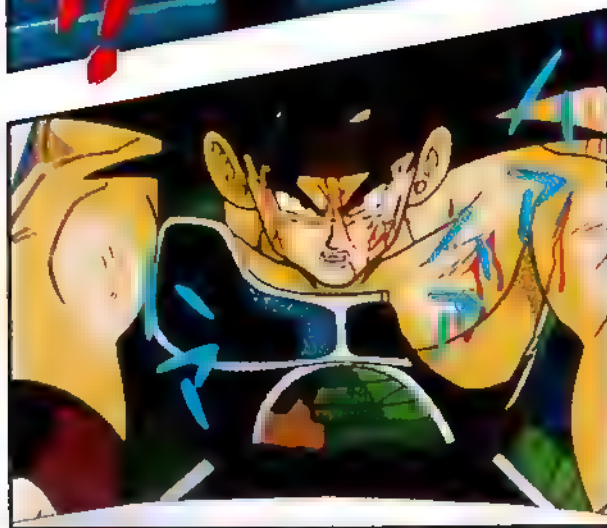
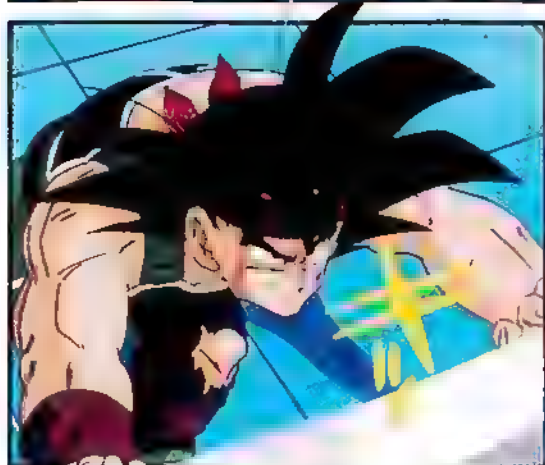
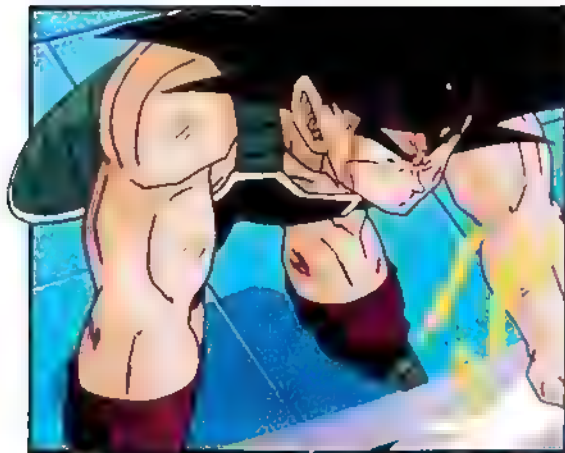
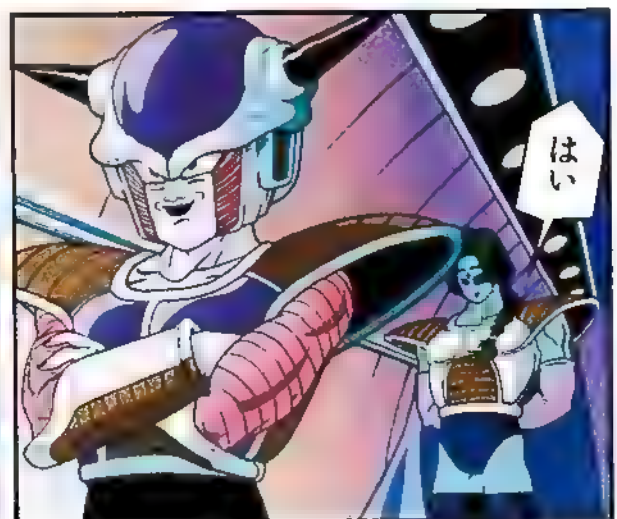
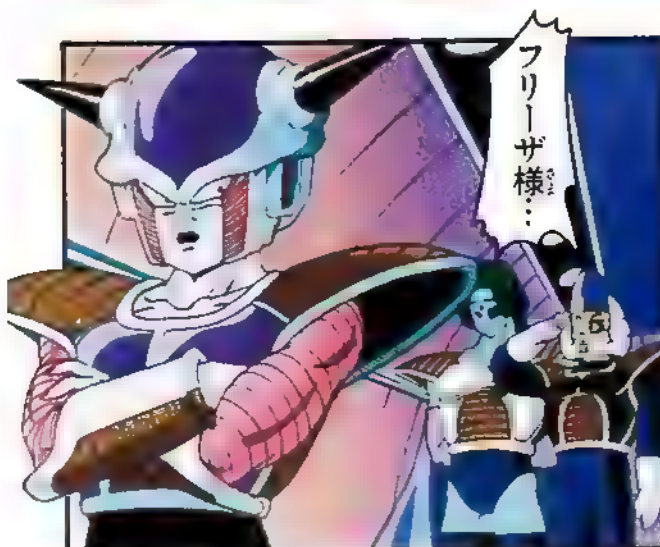
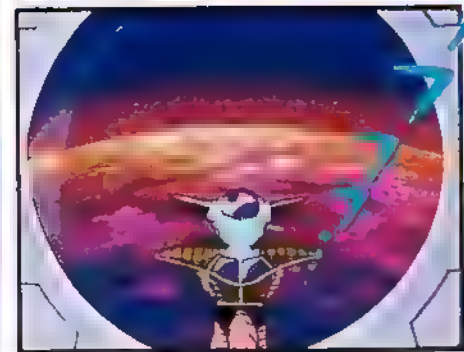
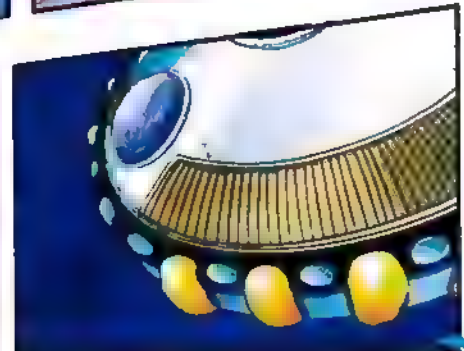
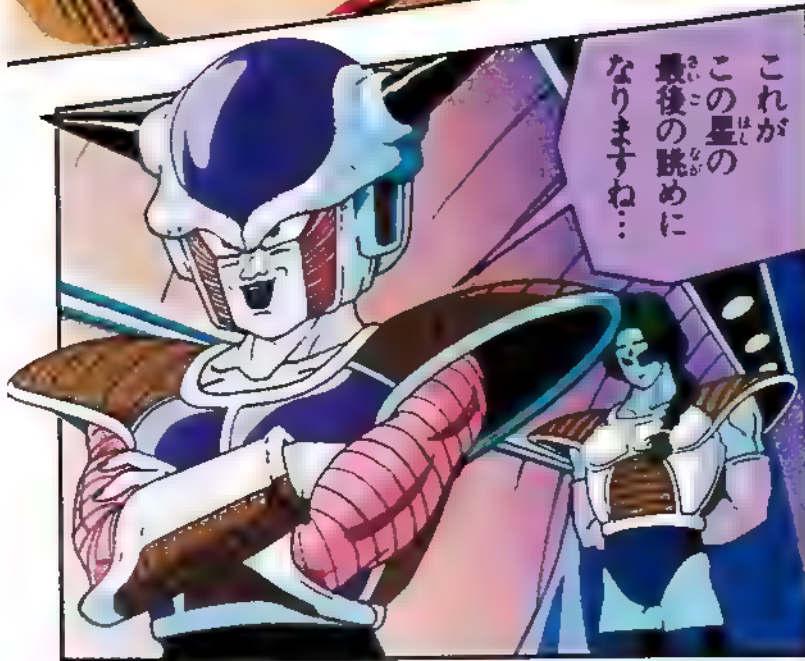
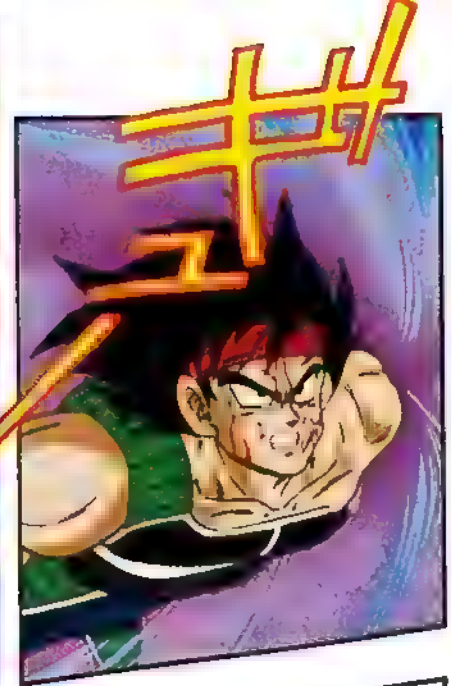
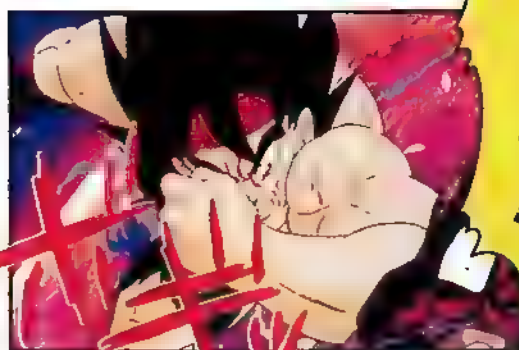
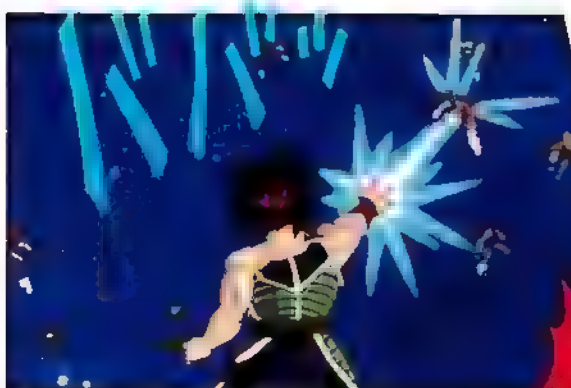
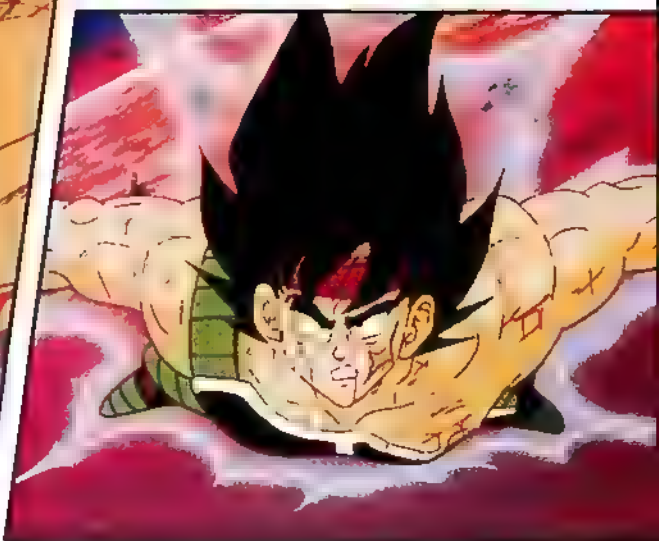
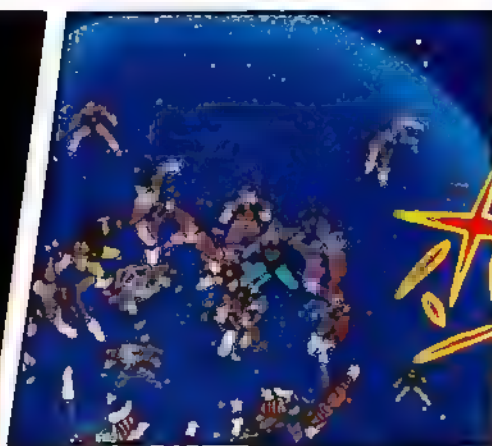
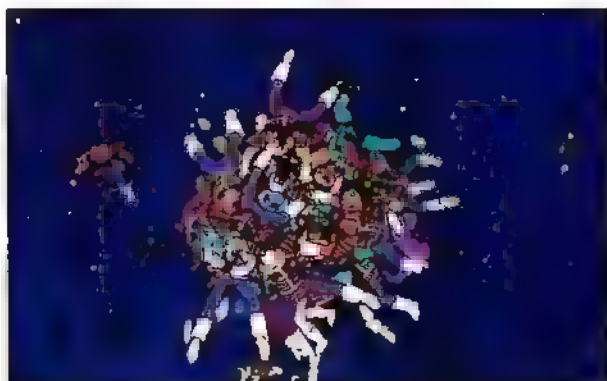
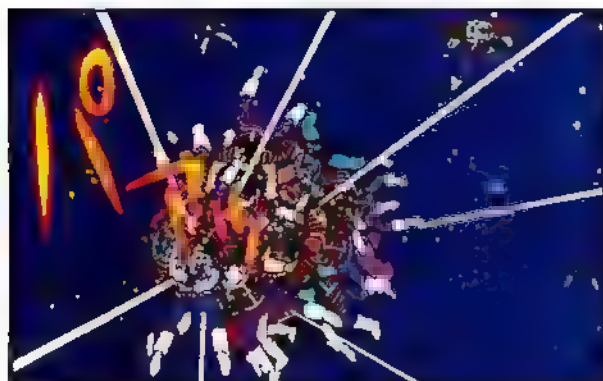
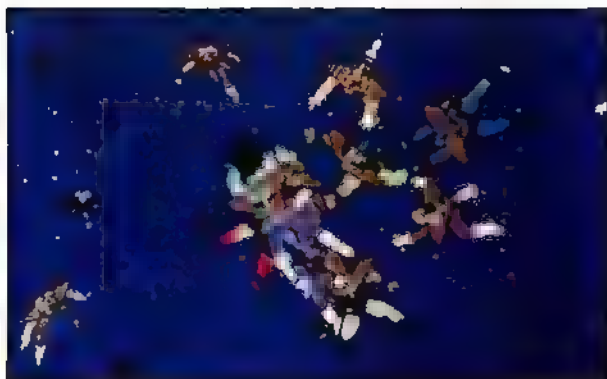
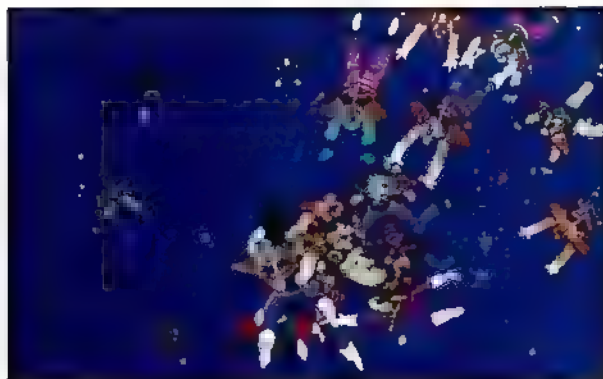
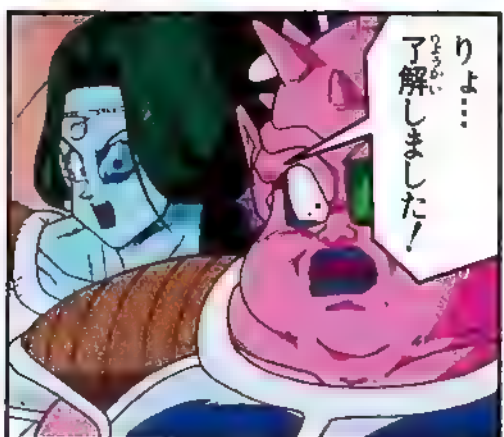
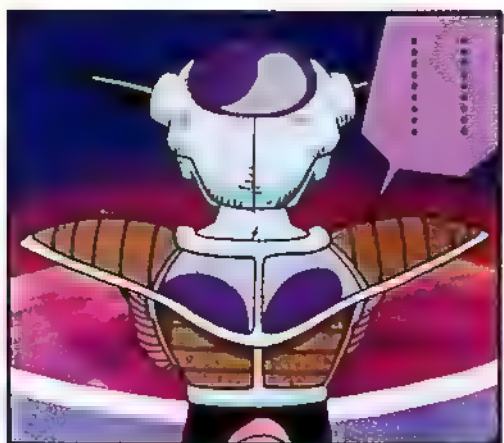
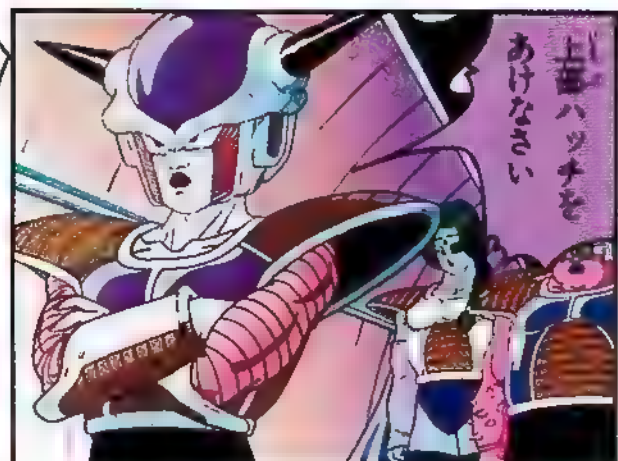
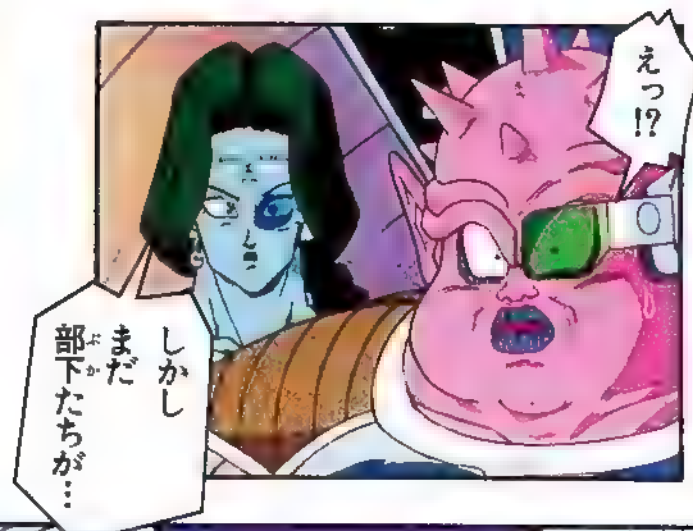
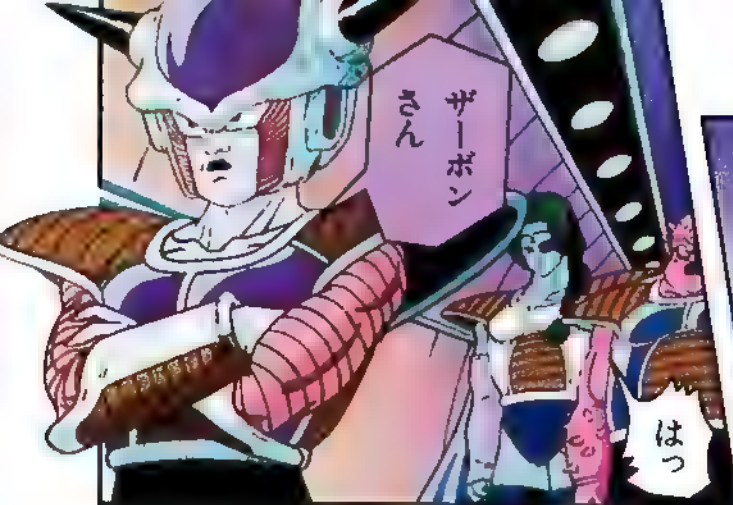
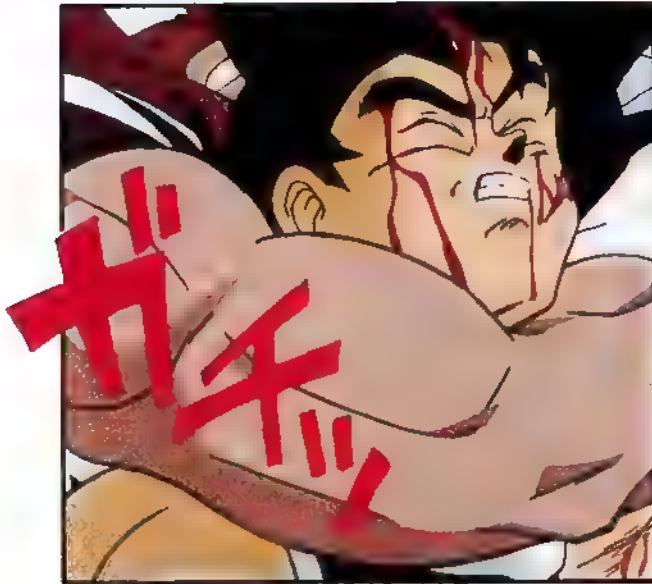
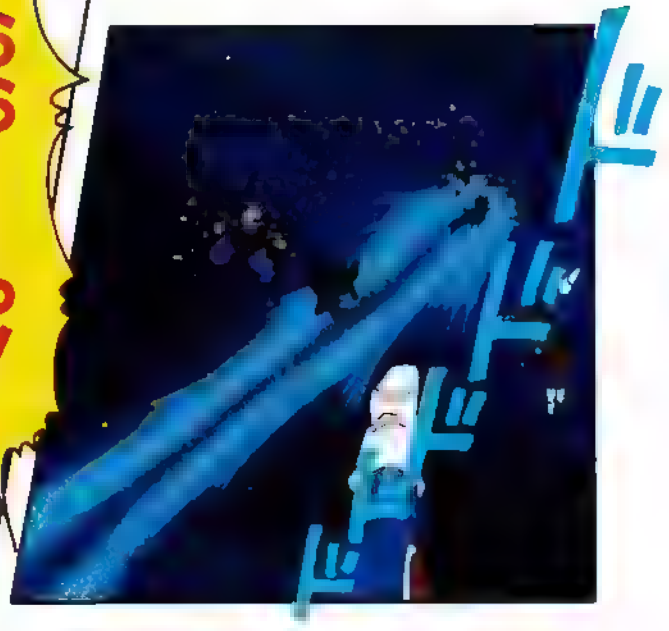
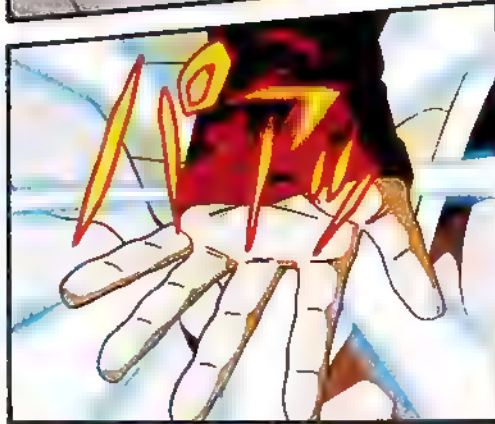
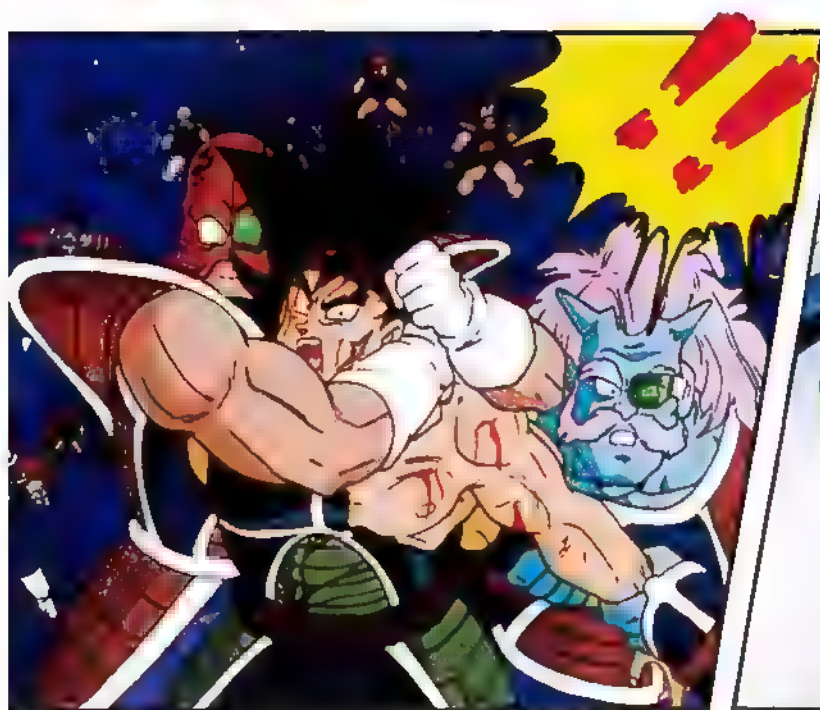
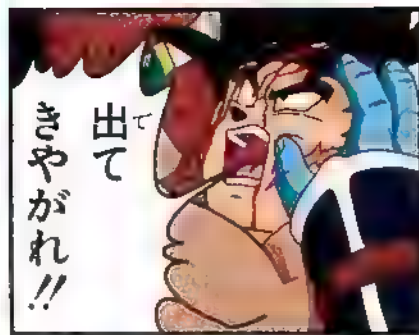
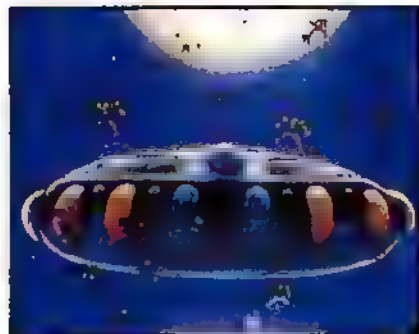
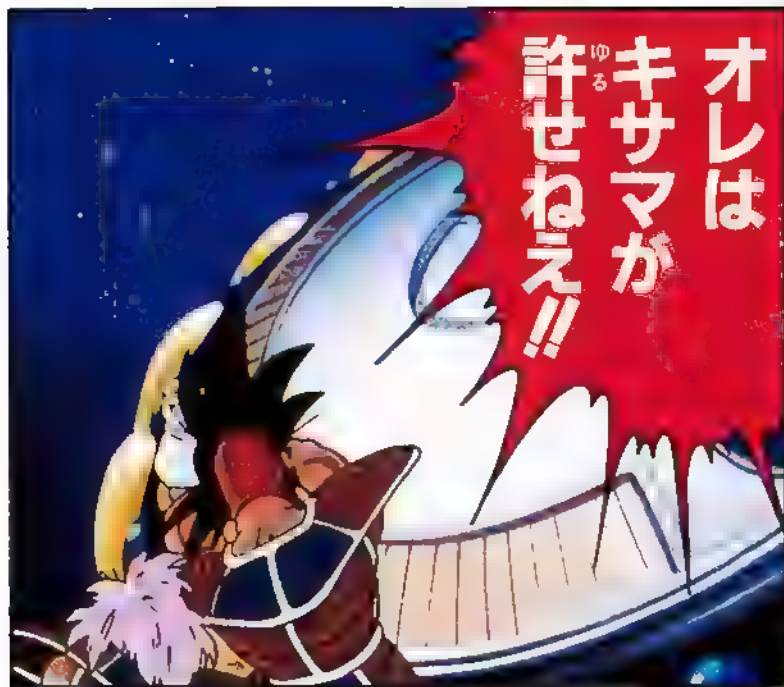
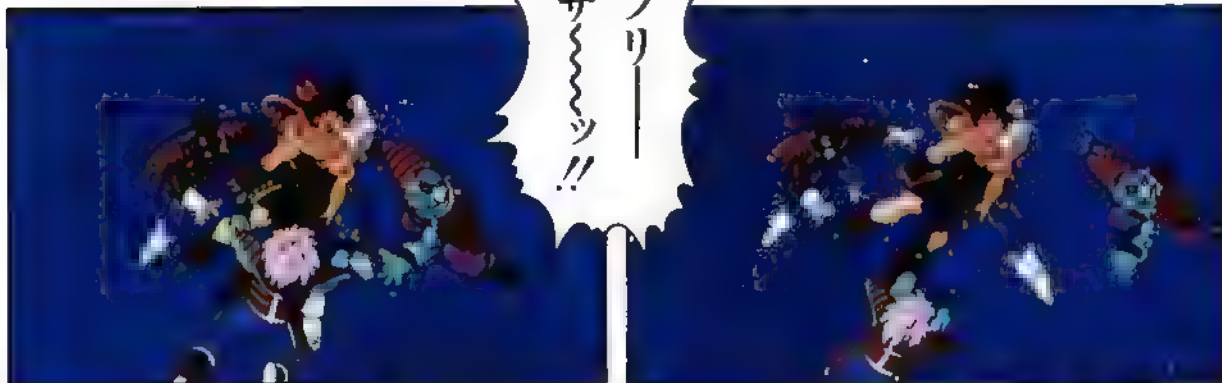
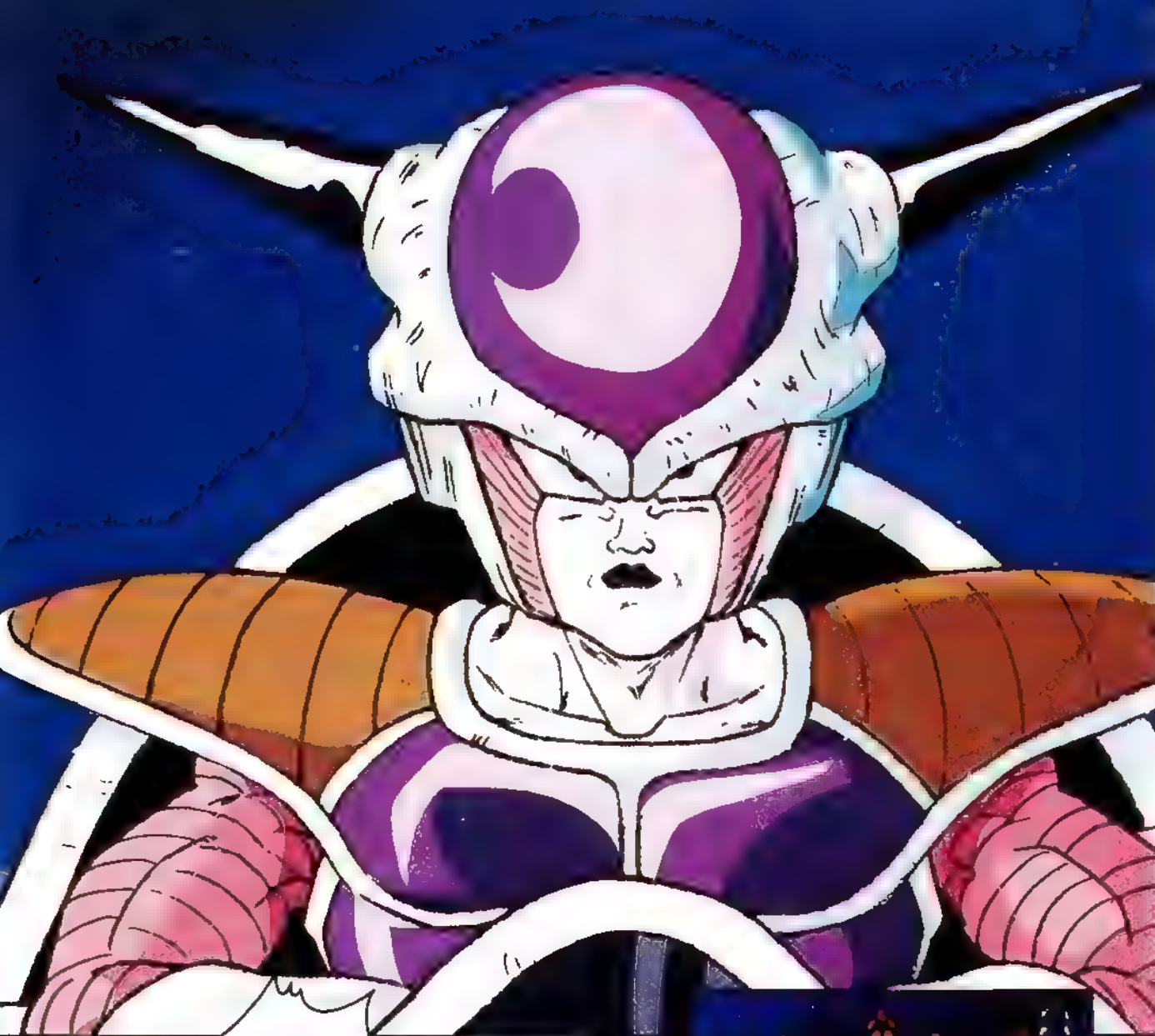
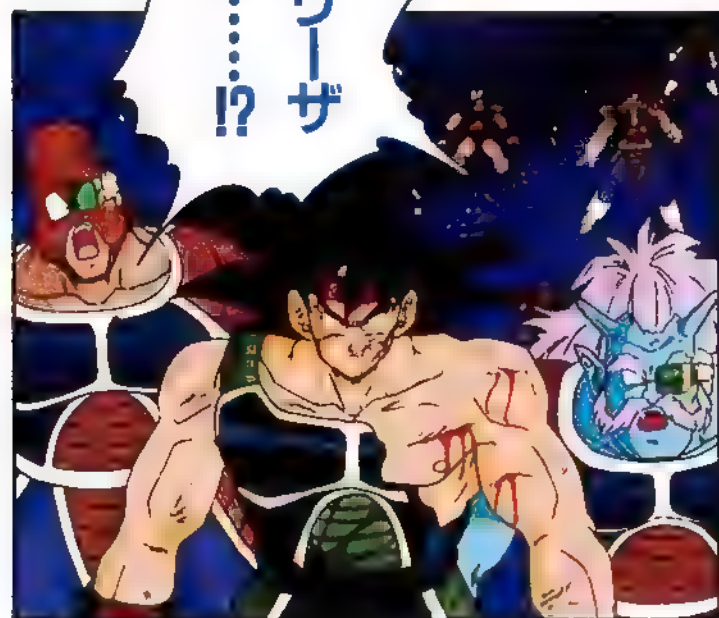
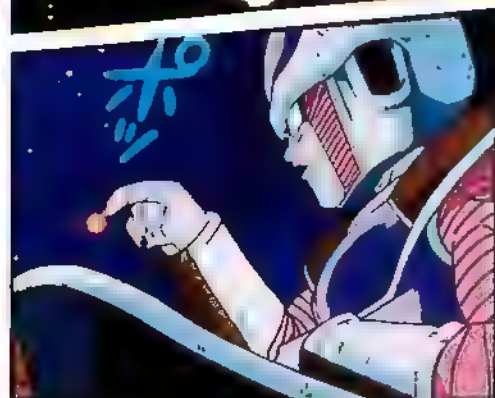
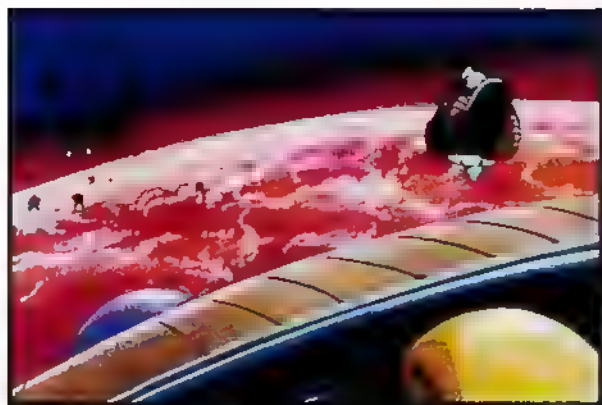
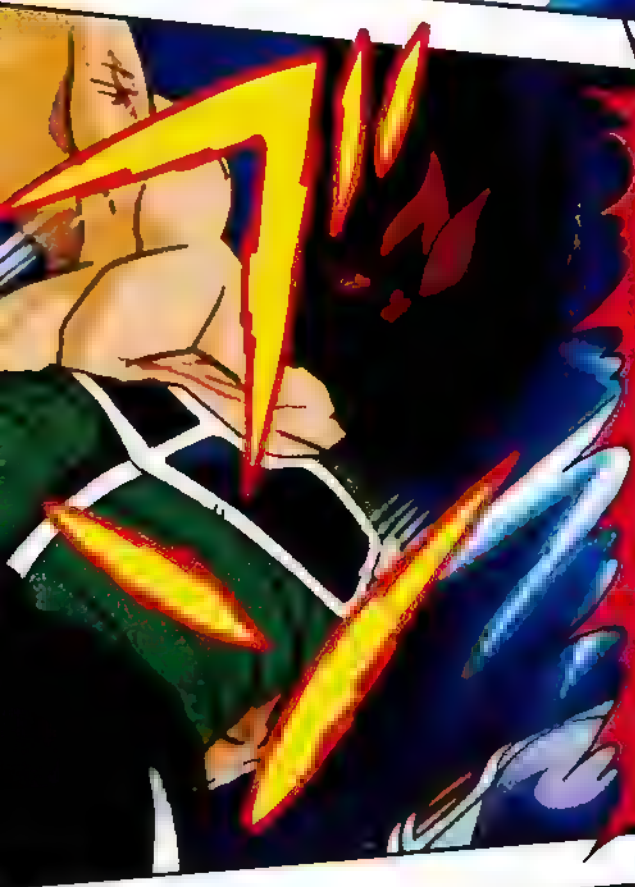
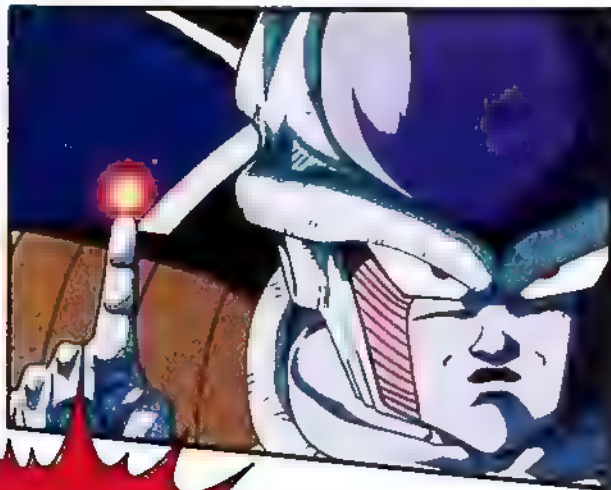
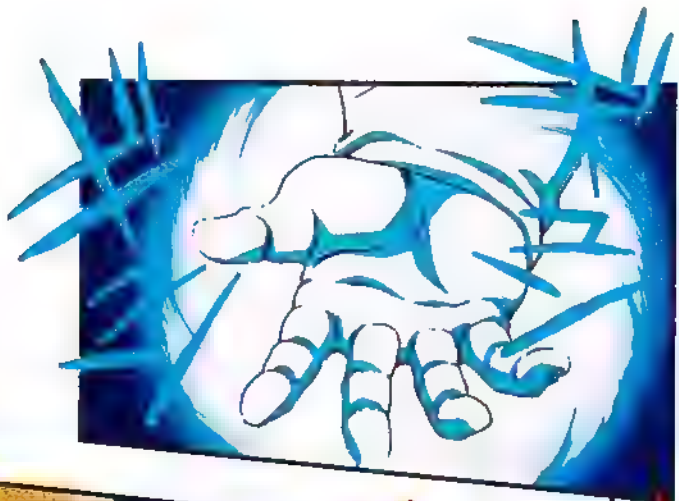
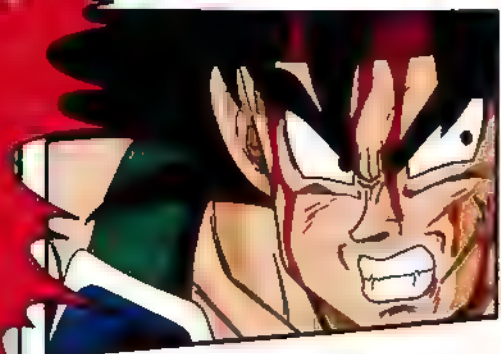
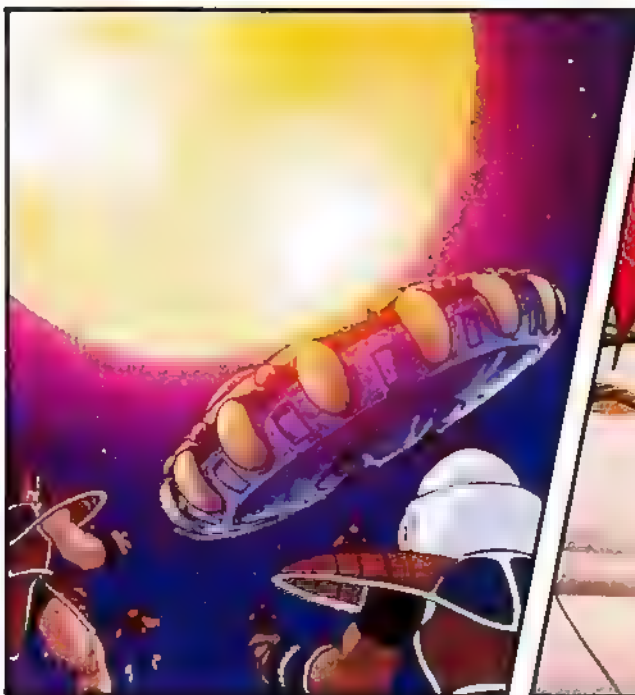
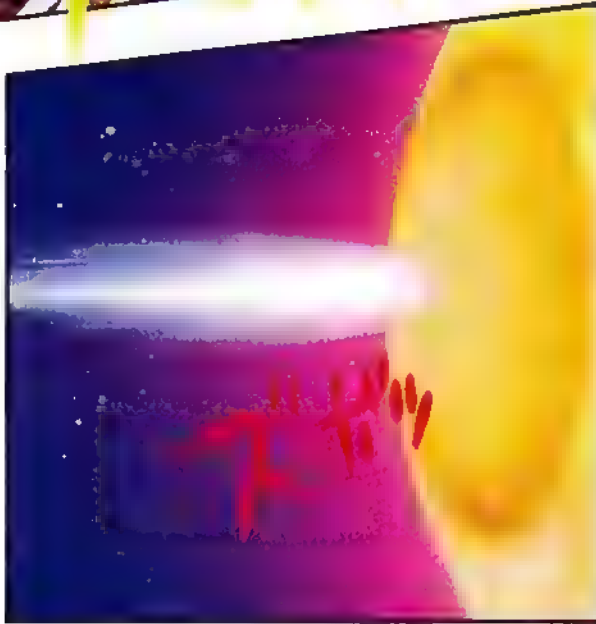
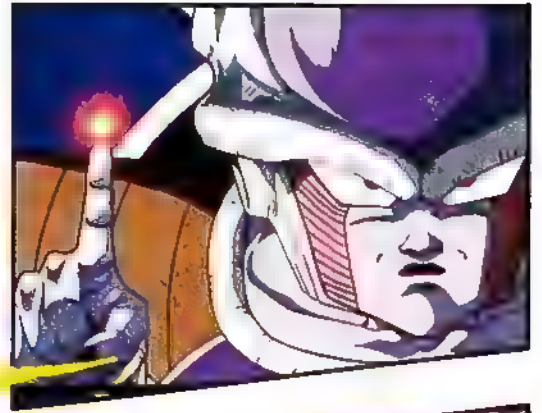
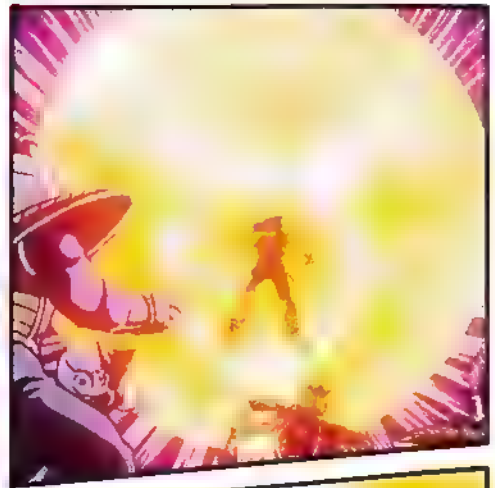
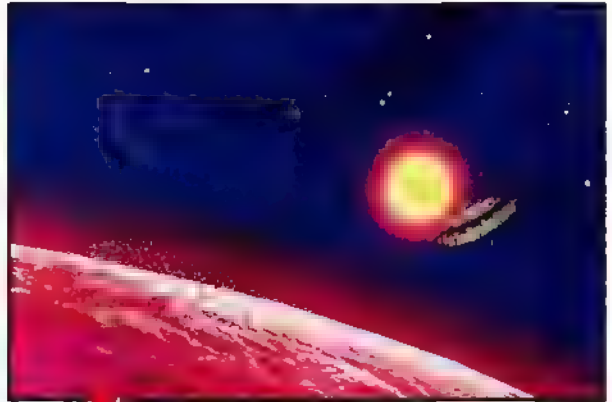
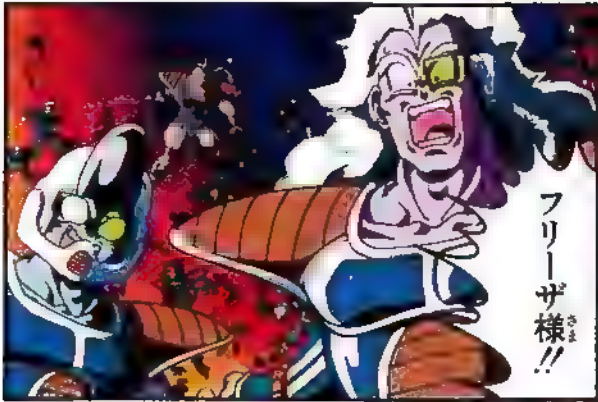
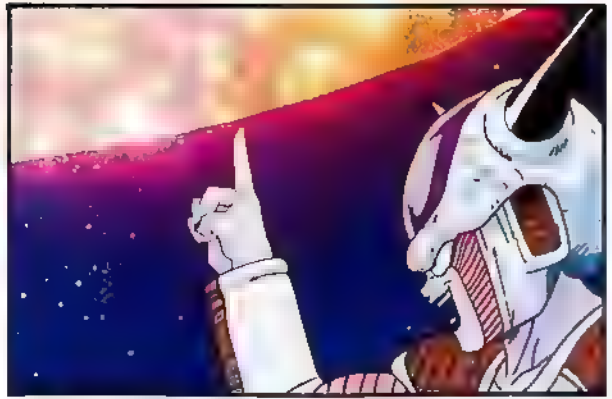
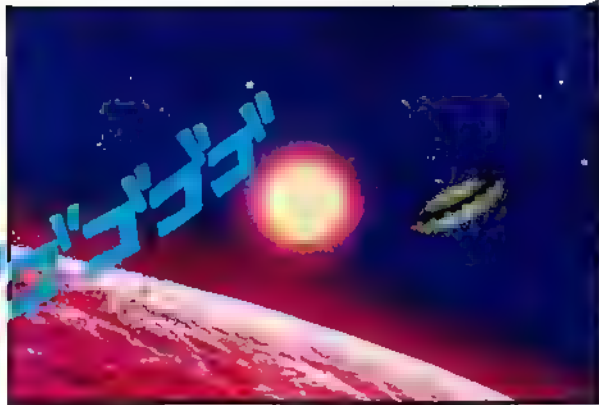
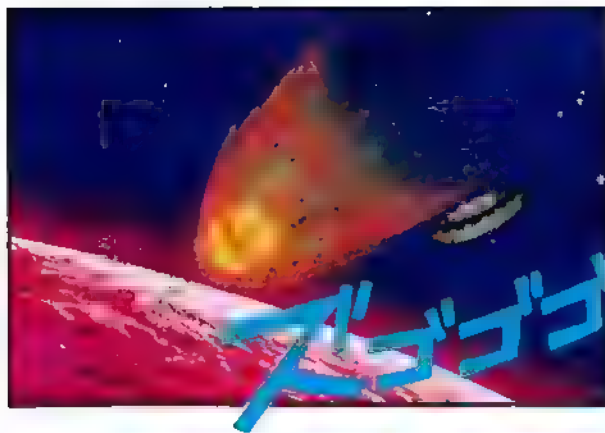
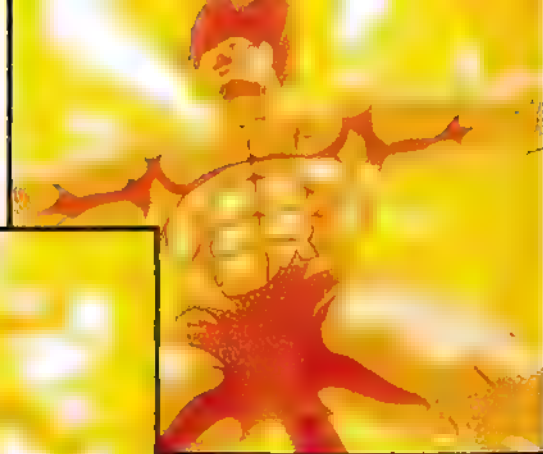
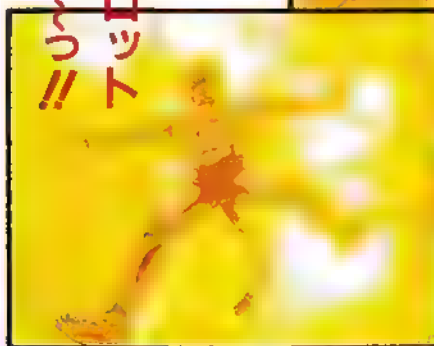
ハハハハハハハハ
くそったれ!!

…………

もう頼まん!!

テメエら…全員……

地獄へおちろ──っ!!

おい!バーダック!!

ほっとけよ!あいつイカれてるぜ!!

タッタッタッ
!!
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

カカロット…!?

カッ!!
ぐわ―――っ!!
バッ
ハッ!

クッ!
ザッ!!
ハァ ハァ ハァ
ダダッ

グゴゴゴゴゴゴ

このオレが…

未来(みらい)を変(か)えてみせる!!!

ギュン
これが
この星の
最後の眺めに
なりますね…
フリーザ様…
はい

ドドドドドド
!?
バラバラバラ
ドバババラ
うおーーっ!!

バッバッ
うおーーーっ!!
ボキッ

ヒョイ
グル
ドヒュン
バババッ
うおーっ!!

うお―――っ!!!

ドドッ

ザーボンさん
はっ

上部ハッチをあけなさい

えっ!?
しかしまだ部下たちが…

………

りょ…了解しました!

おお〜〜っ!!
ドドドドド

ガチッ

ガッ

ぐっ!!
フリーザ～～～ッ!!
パァッ
ドォッ

フリーザ〜〜〜ッ!!

出てきやがれ!!

オレはキサマが許せねえ!!

フリーザ様……!?
フ…

フリーザ様…
フリーザ様だ!

へへへ…
これで
すべてが変わる…
ポッ

これで…最後だ――っ!!!

な…何っ!?

クイッ
フリーザ様!!
グオオオーーッ

ズゴゴゴゴゴゴゴ
カ・カ・ロッ・ト…
ドドドドドドドドドド

カカロットよ〜〜っ!!

ぐわ〜〜っ!!

ボコッ!!

ズズズズズ

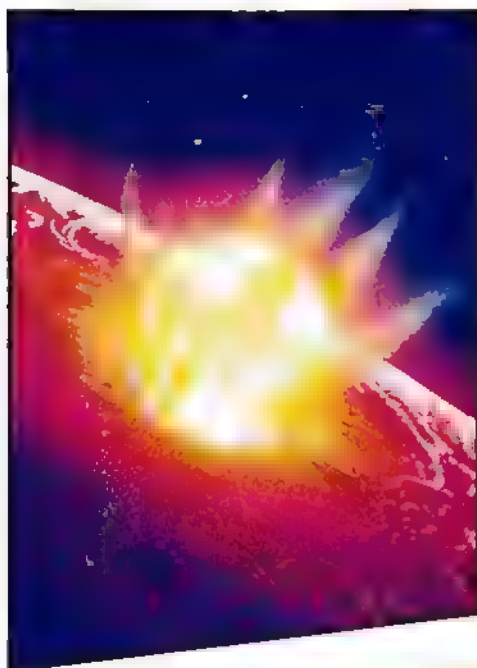
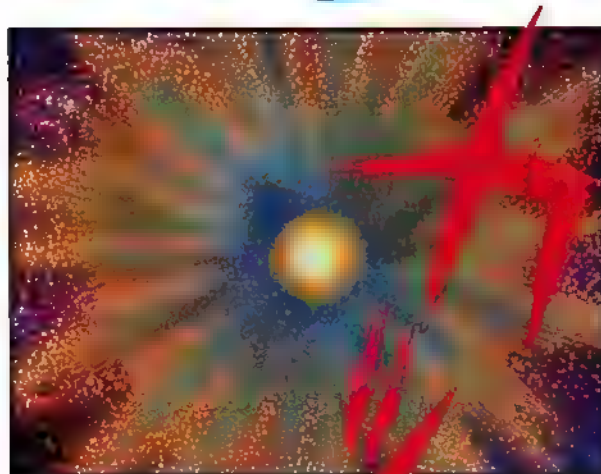
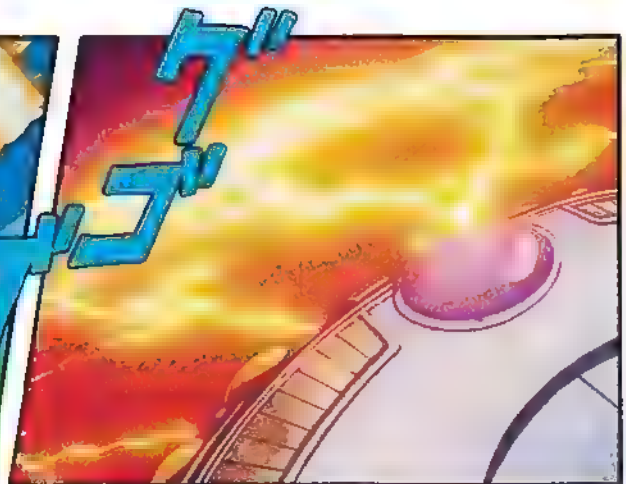
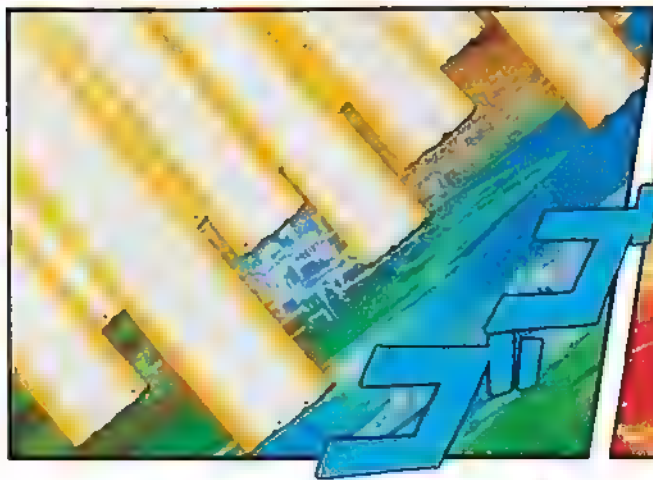
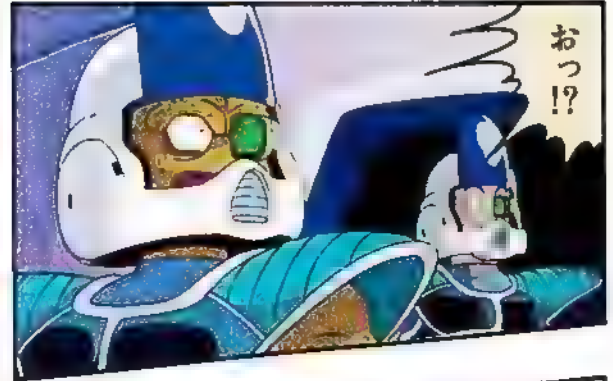
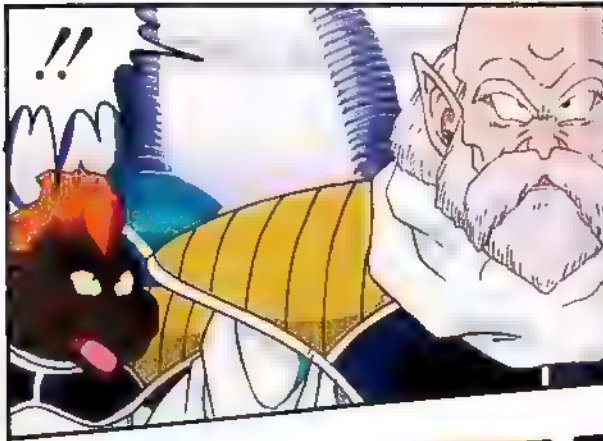
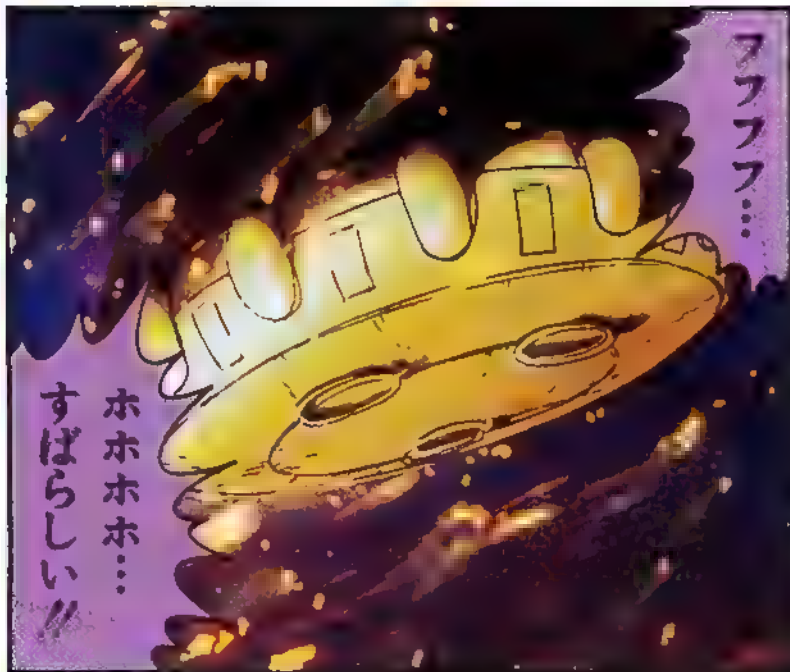
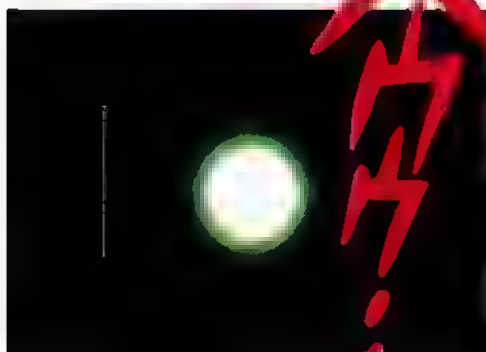
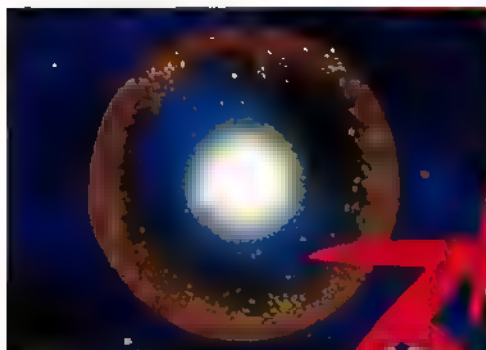
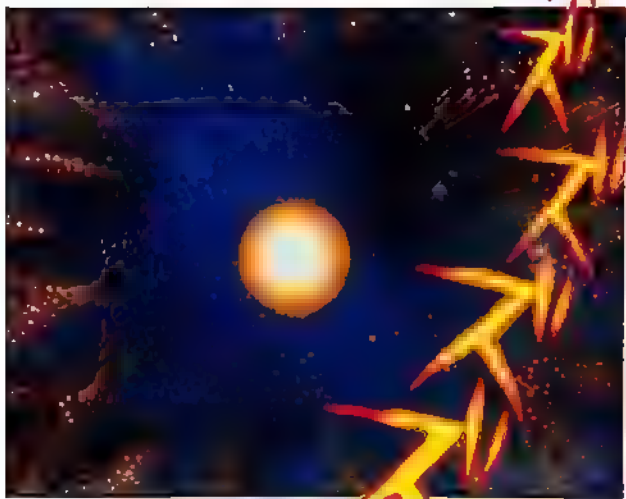
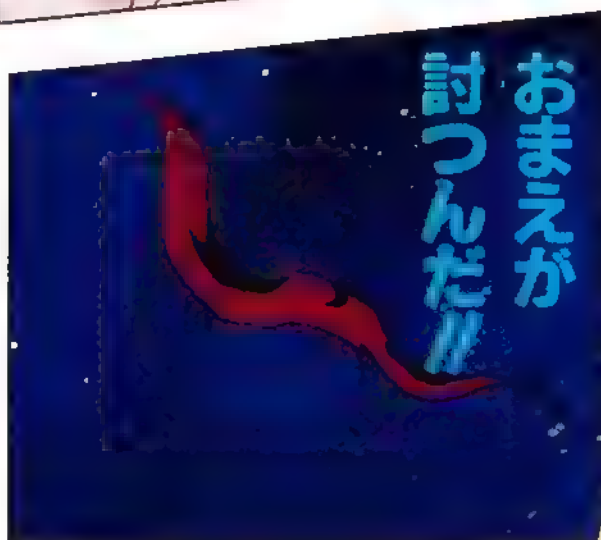
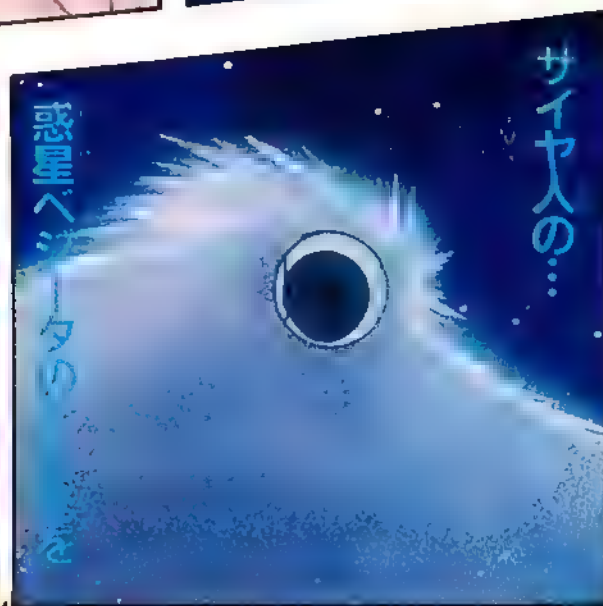
おっ!?
!!
何だ?
うわっ!

ザーボンさん ドドリアさん
こんな美しい花火ですよ!
ホホホホホ……

ホホホホホ〜〜〜ッ!!

ズズズズズ

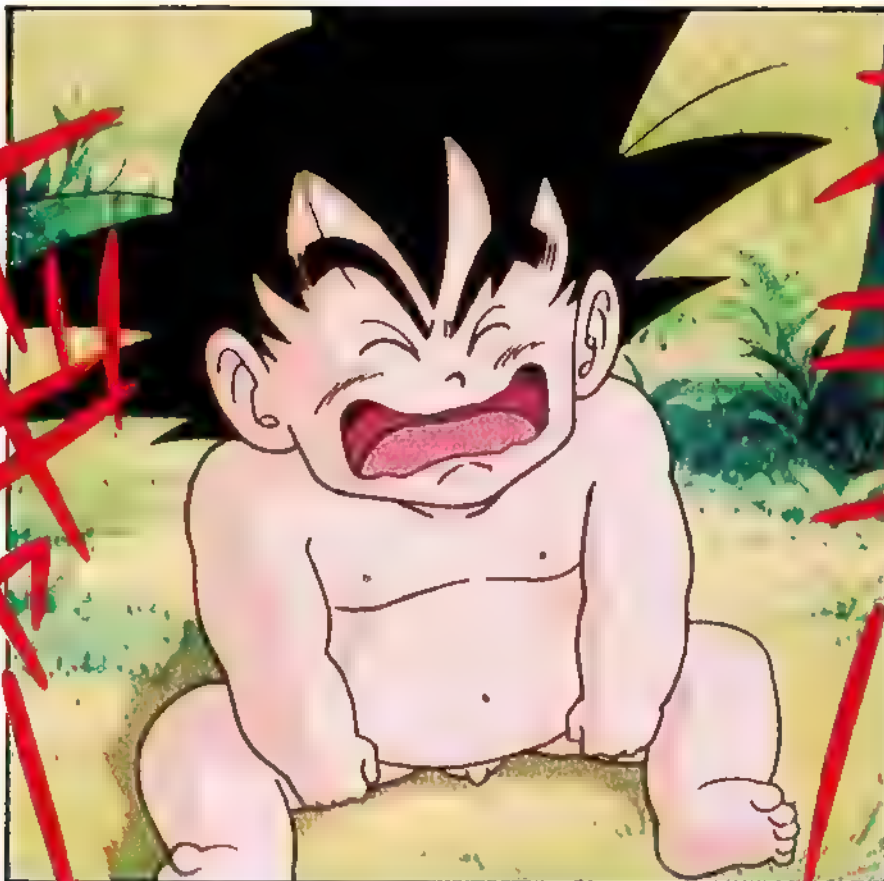
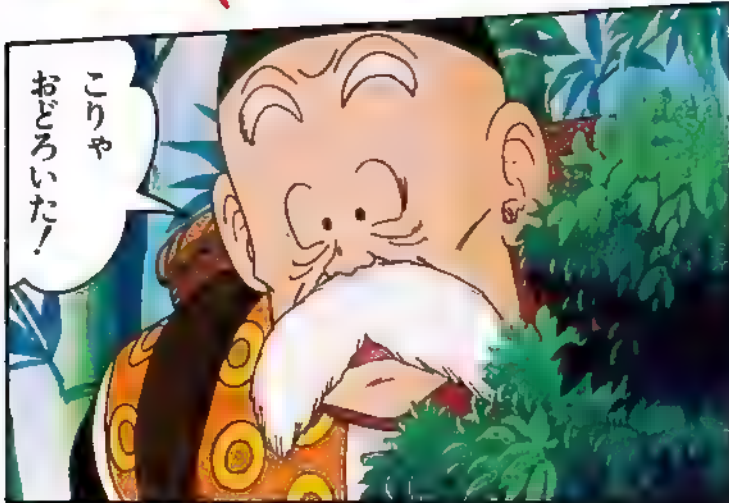
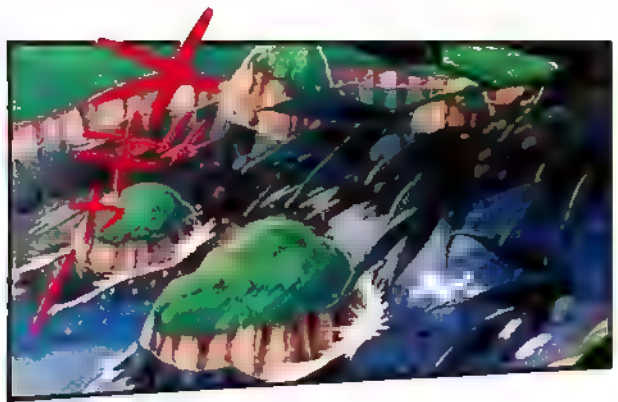
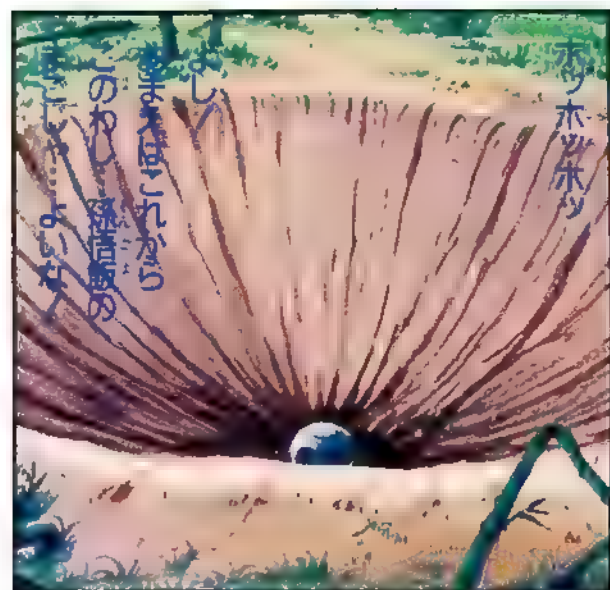
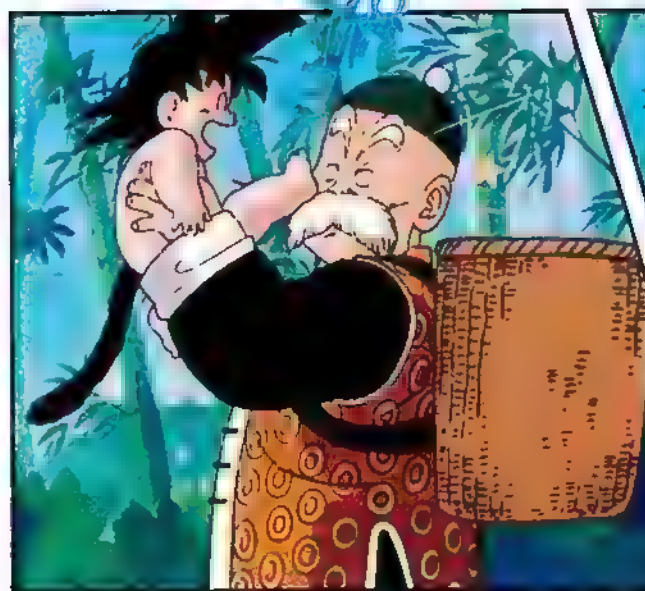
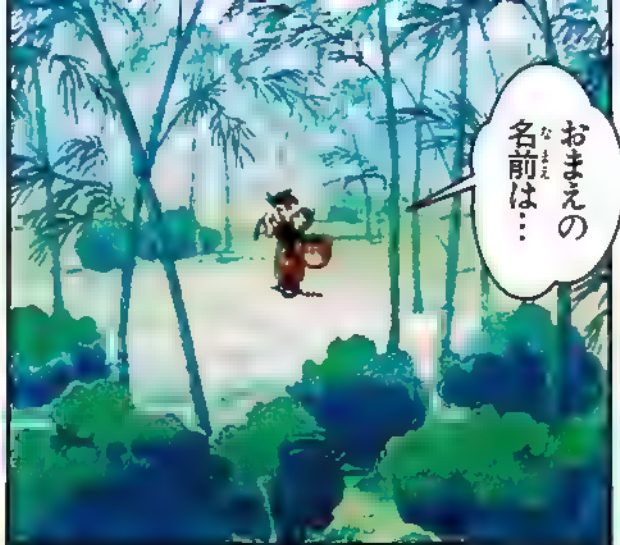
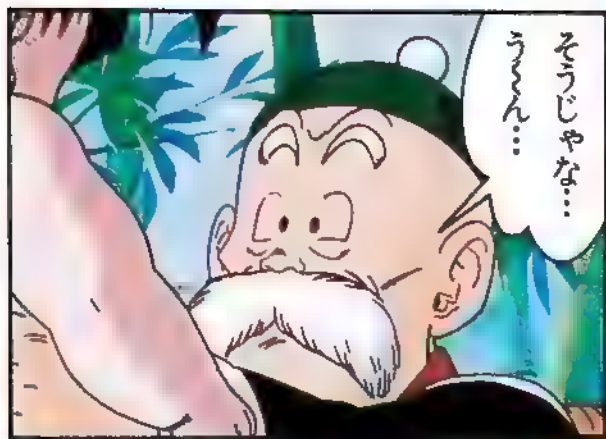
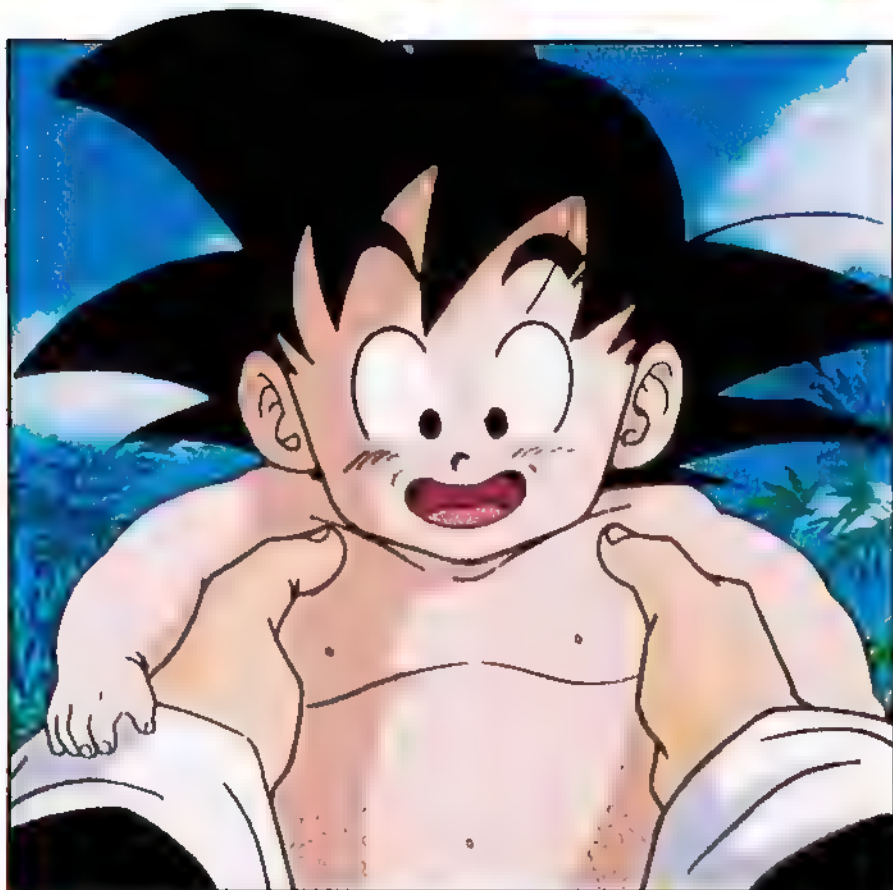
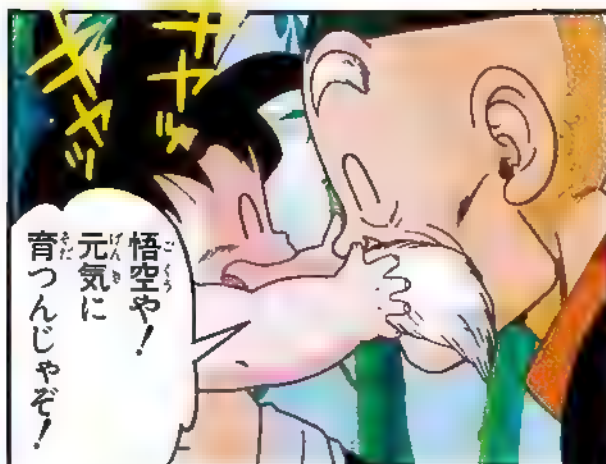
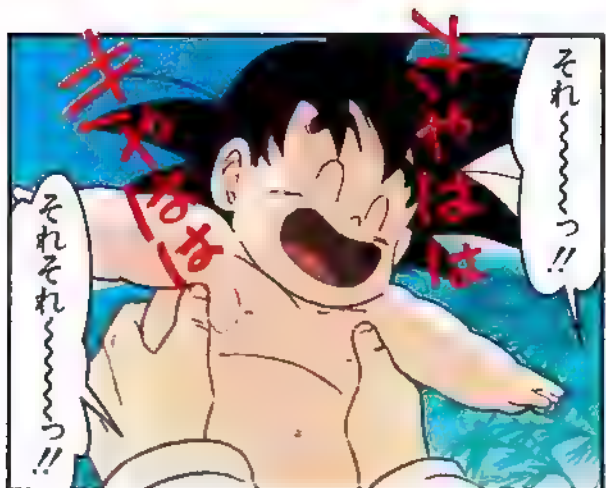
ズウ……ン

カッ!!!

カカロットよ…
このオレの意志をつげ!!
サイヤ人の…
惑星ベジータの…
を
おまえが討つんだ!!
ベジータ様聞こえますかい?
たった今フリーザ様より通信が入りまして…
何でも惑星ベジータが消えちまったそうですぜ
何だ!
ホウ…それで…?

原因は巨大ないん石が衝突したとかで…生き残ったサイヤ人もオレたちをふくむごくわずかだとか…

ホウ…それで?

この惑星もほぼ全滅だ…

フリーザ様に…もうすこし手ごたえのある星をお願いしなければ…な…

オギャー

オギャー

おっ!

こりゃ おどろいた!
オギャー
オギャー

赤ん坊じゃ！
いったい
どこから…

シッポのある
赤ん坊か…

ホッホッホッ
こんなところに
置いておくわけには
いかんな…
わしのところへ
くるか…？

いった〜〜〜っ!!
こりゃ
元気のいい
子じゃ…！

ホッホッホッ
よし、
おまえはこれから
このわし 孫悟飯の
まごじゃ…よいな

おまえの名前は…

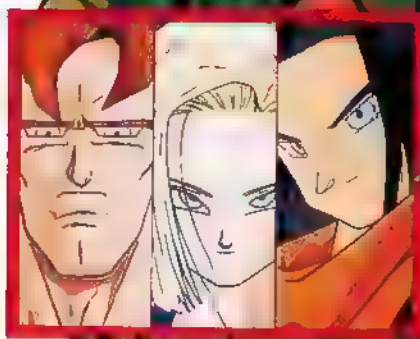
そうじゃな…うーん…

おっ!悟空じゃ!
孫悟空にしよう!!

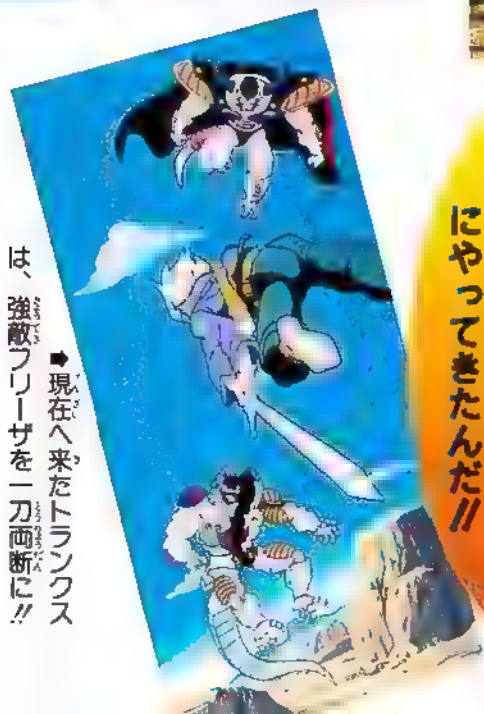
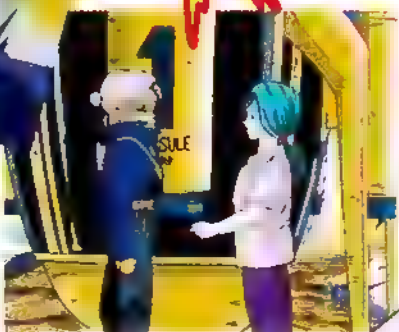
キャッキャッ
悟空や!元気に育つんじゃぞ!

それ〜〜〜〜っ!!
それそれ〜〜〜〜っ!!

END

人造人間編早わかり!!
テレビシリーズ超研究!!
——過去!現在!!そして…セルゲーム!!!
セルの登場で、ますます白熱するテレビシリーズ!
ここではセルゲームまでの戦いを、トランクスの
"過去・現在・未来"にわけて
特集! 時を超えた戦いの
軌跡がバッチリわかるぜ!!!
トランクスがキミに伝える!
激闘の歴史!!
超絶バトルのすべてがわかる!!!

⬆戦いで死にかけたトランクス。悟飯は彼に希望を託し、最後の仙豆を与える!!

⬆超サイヤ人になれないトランクスだったが、悟飯の死の衝撃が彼を目覚めさせる…!!!

➡タイムマシンが完成。現在へ!!

➡現在へ来たトランクスは、強敵フリーザを一刀両断に!!

残された戦士!
悟飯とトランクス!!

➡悟空が死んで目的がないからか、街を破壊する事だけを楽しんでいる!

⬆何度か悟飯たちと戦うが、その力は全くおとろえない!!!

ポイント1 現在の悟空が助かったのは!?

未来の悟空は心臓病で死んでいることになっていた!! が、「人造人間にやられっぱなしじゃシャクだ」と考えたブルマがタイムマシンを開発。特効薬をトランクスに持たせて、現在の悟空に渡したのだ。悟空も病気には弱かった!?

⬇発病の時期はズレたけど、悟空の命は未来の特効薬で救われたのだ!!

⬆悟飯たちが戦っている間、タイムマシンの研究をしていた。

現在!!
悪魔の目覚め…!?
セルの変身が始まる!!
新たな人造人間・セルは超絶パワーの持ち主! 悟空たちが天界で修業中のためピッコロが戦うが、悟空らの細胞を持ち、必殺技を使うセルに敗れる。16号はセルと互角に戦うが、17号を吸収されてしまう。残る18号を逃がそうとする16号だが、変身したセルにはかなわずダメージを受ける。
17号を吸収!!
セル! 衝撃の第1変身!?
オレのいた未来より
さらに遠い未来から来た人造
人間・セル!! オレの知って
いる歴史と少しちがうのは
奴が来たせいか!?

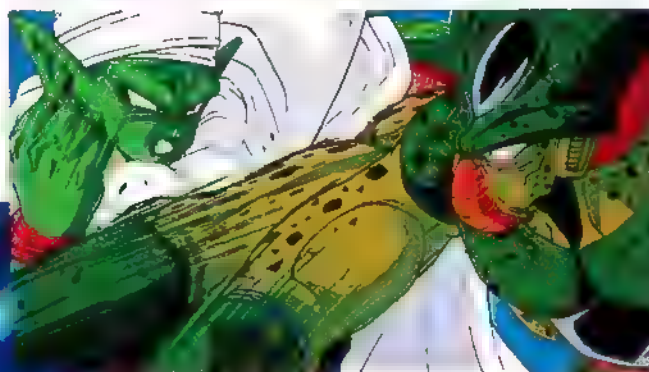
ポイント2

トランクスの知らない人造人間…!?

未来にはいないドクター・ゲロ。が、歴史がズレたせいか、現在では自分を改造して20号になっていた！　しかも彼の死後、Cがセルを造りあげたため、トランクスは彼らを知らなかったのだ。

⬅ドクター・ゲロこと、人造人間20号!!

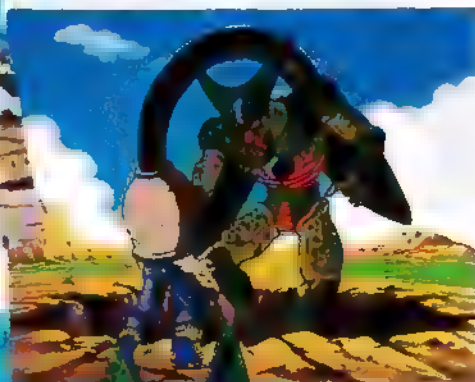
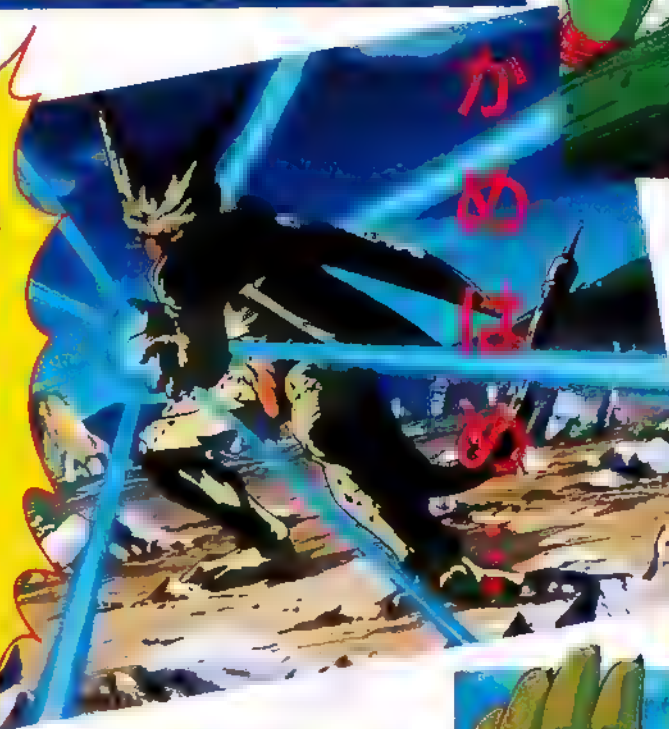
➡このメカが悟空らの戦いを探っていた!

⬆悟空、発病。が、回復後"精神と時の部屋"で修業を！

⬆力を得るために神と融合したピッコロ! しかし、セルはそれ以上の強さを誇るッ!!

⬅"戦闘の達人"をめざして造られたセル。悟空の細胞も持ち、"かめはめ波"も使う!!

かめはめ波ーっ!!!

⬆16号の戦いもむなしく、17号が吸収されてしまう…!!!

⬅17号を吸収したセル。力もスピードも驚異的にアップ!!

➡18号と共に逃げる16号。しかし、セルに追いつかれる!!

未来!!!
セル、ついに完全体に!?
"セルゲーム"開始!!
完全体になったセルは、ベジータもかなわない力を持った!! 父をさらに超え、自信あふれるトランクスはセルと戦うが、パワーだけ伸び、スピードがないため勝ち目がないと気づく。が、セルは悟空の修業が終わるのを待ち、武道大会を開くと宣言!! 戦いの行方は…!?
18号、吸収…!?
これが驚異の完全体だッ!!
オレと父さんは修業し、超サイヤ人を超えた!! が、完全体のセルとの戦いを望む父さんは、セルの変身を許してしまったんだ…!!

➡ベジータとトランクスは悟空より先に〝精神と時の部屋〟で修業を終えた!

⬆超サイヤ人を超えたベジータ。だが完全体のセルに倒されてしまう!?

⬅父に超えられなかった壁を超えたトランクスだが…。

➡天界の修業で、悟飯も超サイヤ人に!! セルのデータにはない悟飯。勝利のカギか!?

ポイント3 天界はどうなった!?

神とピッコロが融合した後は、ミスターポポひとりきりになった。が、セルゲームにそなえてデンデが神となり、D・Bを復活させる。ちなみに悟空たちが修業した〝精神と時の部屋〟も天界の神殿にあるぞ。

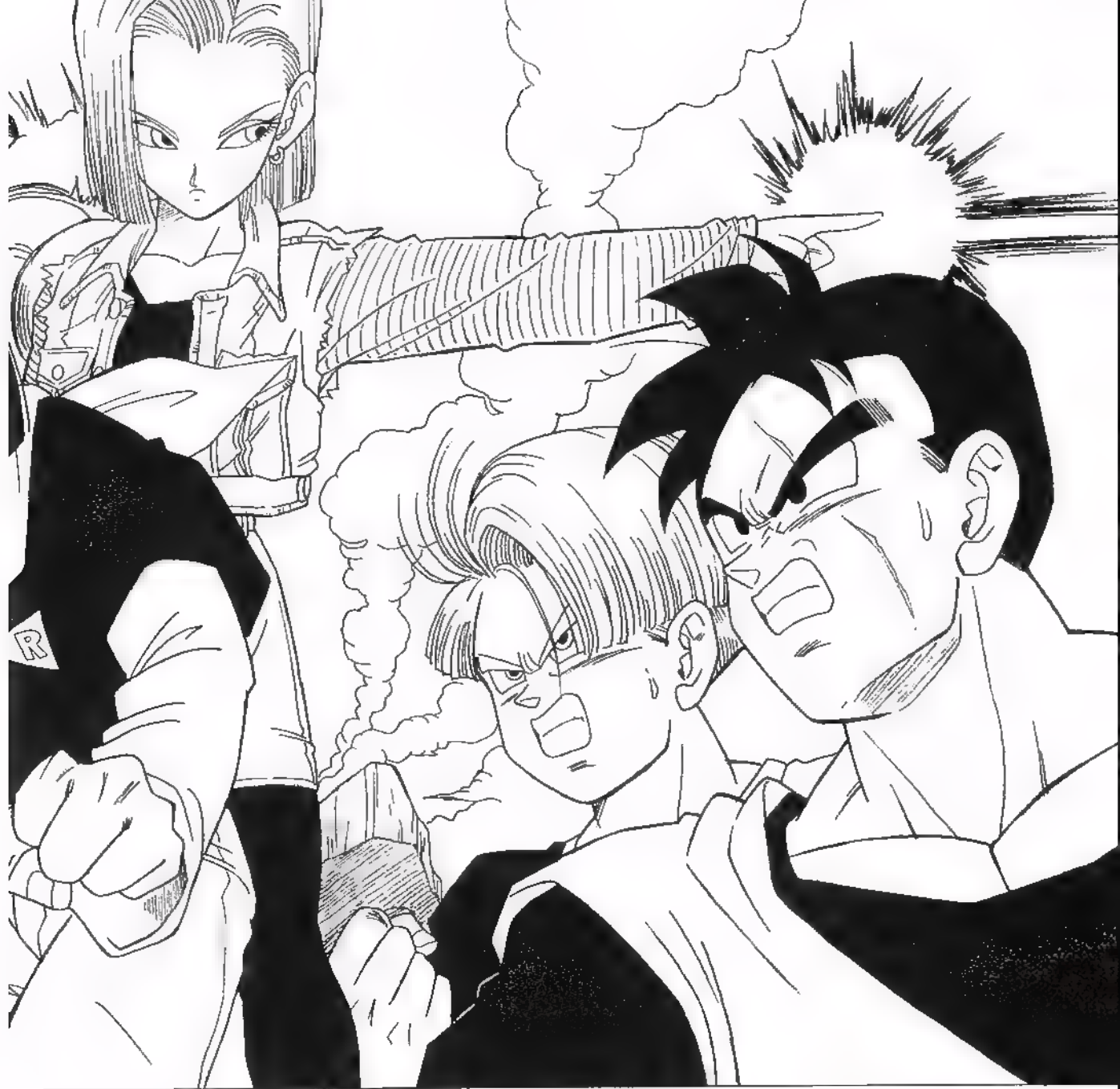
⬇新ナメック星にいたデンテはD・Bを作れる龍族なのだ。

⬆〝精神と時の部屋〟では、地球の1年の修行が1日でできるのだ。

オリジナル
イラスト・ストーリー

孤独の未来戦士トランクス!!

オレはトランクス。物心ついた頃には、ベジータ父さんは、もうこの世にいなかった…。顔も知らない父さんのイメージといえば、いつも後ろ姿ばかりだった。そんなオレが人類の新たな未来のため、過去の世界へ行く。そしてベジータ父さんに会う…!!

ストーリー／松井亜弥
イラスト／前田 実

プロローグ

《精神と時の部屋》の扉が、音もなく開いた。

ベジータ父さんは、きっと待ちかねていたのだろう、弾かれるように立ち上がると、扉へ向かって歩きはじめた。途中すれ違ったピッコロさんには目もくれず、まっすぐ扉の向こうを見つめて――。

オレはまるで呪縛にでもかかったかのように、いつまでも父さんの背中を見続けていた。そしてふいに追いかけたい衝動に駆られた。父さんが扉に入ったら最後、あの果てしない空間の中に消えてしまうのではないか。そんな気がしたのだ。

扉が再び音もなく閉まった。

振り返れば、オレはいつも父さんの背中ばかり追いかけてきたように思う。

オレがまだ幼かった頃からずっと…。

父さんのことが知りたい

物心ついた時、すでにベジータ父さんは死んでいた。

ピッコロさんやクリリンさんたちと同じように、ドクター・ゲロの造った人造人間17号・18号と闘い、敗れたのだ。

オレは、父さんの写真の顔さえ知らなかった。家には父さんの写真が一枚もなかったからだ。それが初めからないのか、カプセル・コーポレーションが17号たちに襲撃された時に焼けてしまったのかはわからない。

何度かブルマ母さんに父さんのことをきいてみようと思ったけれど、男らしくないような気がしてきけなかった。

幼かったオレがそう思う程に、未来では人の死など当たり前のことになっていたのだ。誰もが悲しみを心の奥底に閉じ込め、わざわざ言葉にだしてそれを引きずりだす余裕はもっていなかった。

ある日オレは、母さんに連れられて悟飯さんの家に行った。

部屋のあちこちに飾られた悟飯さんとご両親の写真を見た途端、オレは急に寂しくなった。なのに、オレはその中の一枚の写真から目をそらすことができないでいた。

それは、悟飯さんのお父さんの写真だった。孫…悟空さんの……。

その人の持つ純粋なサイヤ人の匂い、そして父親の匂いに魅かれたのかもしれない。だってそれは、オレの父さんも持っていたにちがいないものだからだ。

その時、ガ…ピィ……という雑音が聞こえてきた。悟飯さんがラジオの周波数を合わせていたのだ。

テレビ局もラジオ局も17号たちに破壊され、海賊放送の『人造人間情報』だけが、オレたちの唯一の情報源だった。

「どうした、トランクス? 今日はずいぶんおとなしいんだな」

いつまでも写真を見ているオレに気づいて、悟飯さんが声をかけてくれた。

「この人、悟飯さんのお父さんでしょ?」

「ああ、そうだ」

オレは悟飯さんと一緒に、もう一度写真に目をやった。

優しい笑みを浮かべたその人は、ブルマ母さんが前に言っていたような『すごく強い人』には見えなかった。

「強かったってホント?」

「ああ…」

「悟飯さんより?」

「…ああ」

オレはその時、悟飯さんより強い人がいるなんて信じられなかったし、信じなかった。

だって、悟飯さんはたったひとりで人造人間たちに立ち向かい、闘い続けていたのだ。額から頬にかけて走った傷も、17号との闘いでできたのだという。オレはその傷をカッコいい勲章だと思い、悟飯さんを尊敬していた。

こんなことができる人は、地球じゅうを捜したって他にいるわけがない。たとえそれが悟飯さんのお父さんでも、だ。

サイヤ人の王子だったというオレの父さ

んだって、17号たちには敗れてしまったのだから。
　その写真のせいか、オレはむしょうに、ベジータ父さんのことが知りたくなった。
　一体、どんな人だったのだろう…？

ブルマ母さんの思い出

　その夜遅く、オレは悩んだ末にベッドを抜け出し、母さんのいる研究室へ行ってみた。
　ブルマ母さんはオレが入っていったことにも気づかず、一心不乱にタイムマシンの試作品に取り組んでいた。タイムマシンが完成したらオレを過去に送り、悟飯さんのお父さんに心臓病を治す薬を渡すつもりなのだ。
「孫くんさえあの時、心臓病で死んでなかったら、こんな世の中にはなっていなかったと思うの…」
　母さんはタイムマシンの研究に取りかかった頃、オレにそう話してくれた。
　でも母さん、その時オレが知りたかったのは、悟飯さんのお父さんのことではなく、オレの父さんのことだったんだよ。

　ふいにオレは、母さんの背中に声をかけた。
「母さん、父さんってどんな人だった？」
　母さんはちょっとびっくりしたみたいだったけれど、すぐに瞳をチカッときらめかせ、微笑んだ。オレの大好きな笑顔だ。17号たちが毎日のように破壊と殺戮をくり返している中で、その笑顔を見たのは本当にひさしぶりだった。
「死んだお父さん？　う〜〜〜ん、強くて厳しくて、孤独で……それに、いろいろ悪いことをしたわね…今頃地獄にいるのはまちがいないわ」
「ふ〜〜〜ん」
「でも、いいところもあったのよ。プライドが高くてハッキリとした優しさを見せる人じゃなかったけど…わたしにはわかるの…」
　孤独とかプライドとか、その頃のオレにはよくわからなかったけれど、母さんは父さんのことが好きだったんだなってことだけはわかった。
「ボクに…ボクに似てた？」
「それを言うなら、あんたが父さんに似てる、でしょ？　そうねぇ……」
　母さんにじっと見つめられて、オレはちょっと照れてしまった。
「うん、確かに似てるわ。特に雰囲気とか……目つきの悪いところなんかそっくりね。でも安心しなさい、あんたの方がずっとハンサムよ」
　別にそういう心配をして聞いたわけじゃなかったんだけど…ま、いいか、少しでもベジータ父さんのことがわかったんだから。オレはそう思い、しばらく作業を続ける母さんを見続けていた。
　ダークグリーンのつなぎに、無造作に束ねた長い髪。機械オイルにまみれてはいても、母さんは十分に美しかった。あの顔と細い身体のいったいどこにあんなパワーがあるのか不思議なくらいだ。
　一度、オレは母さんが大の男をひとり投げ飛ばしたのを見たことがあった。
　男は『人造人間防御スーツ』とは名ばかりの悪趣味な服に身を包んだ成金で、母さんにタイムマシン研究の資金援助を申しでてきたのだ。

話を進めるうち、男の本心が、ただ自分自身が助かりたいだけだとわかった時、母さんの瞳が怒りにカッと燃え上がった。

　けれども男はまるで気づかず、いやらしい目つきで母さんを眺め、こう言った。

「どうだね、ブルマさん。わたしと手を組み、一緒にタイムマシンで過去か未来か、ともかく人造人間のいないところへ行こうじゃないか。金なら掃いて捨てるほどある。あんたに不自由はさせないが……」

　その瞬間男は宙を舞い、窓ガラスを突き破って外へ飛びだしていた。きっとヤツは驚く間もなく地面にたたきつけられたに違いない。

「タイムマシンはね、あんたのようなクズのためじゃなく、他のみんなの未来のためにつくろうとしてるのよっ。それからもうひとつ、あんた、しょーもないバカみたいだから教えてあげるけど、今の世の中必要なのはお金じゃないわ、これよこれ」

　細いけれど鍛えられた筋肉質の腕を見せ、母さんは言い放った。

「人造人間には無理でもね、あんたのようなせこい悪党には結構役にたつわよ。なんならもう一回……」

「ひ、ひぇ～～～っ!!」

　一目散に逃げ出す男のぶざまさに、オレは大喜びで手をたたいた。ついでに鼻をつまんで、「ザマーミロ!」と叫んでやった。

　この、意志が強くたくましい母さんが心を奪われたのだから、ベジータ父さんはきっと凄い人に違いない。

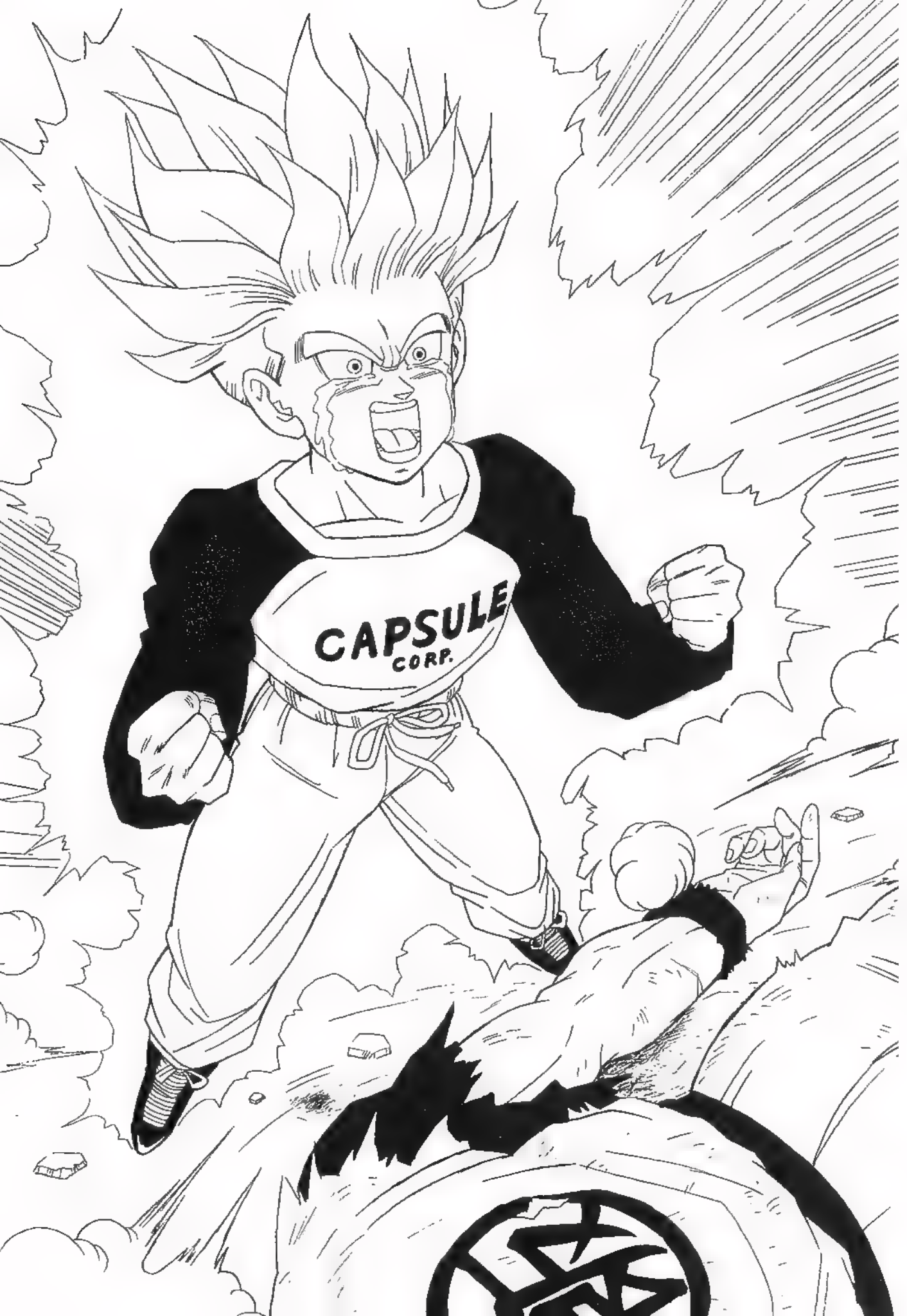
　サイヤ人の王子で、ともかく強くて厳しい人……。

　オレは会ったことのない父さんに、憧れと畏怖とを同時に抱いた。そしてその頃から、父さんはオレの目標になった。

　目を閉じると浮かぶ父さんの姿は、想像でしかないが、なぜかいつも後ろ姿だった。どんな時でもすっくと佇み、決して後ろを振り返らない。ひたすら強くなることだけを望んで前へ前へと進む父さん……。

キミは最後の希望だ…!!

それから、何年かが過ぎた。
オレは、どうしても人造人間たちを倒したくて、毎日悟飯さんに修業をつけてもらっていた。
修業のさなかも、オレの目標は常に脳裏に浮かぶベジータ父さんだった。父さんに追いつき追い越し、背中ではなく顔を見ることができた時、きっと17号たちを倒すことができる。そんな根拠のないことを、オレは心のどこかで信じていたのだ。この考えをある日、悟飯さんにだけそっとうちあけた。悟飯さんはオレの思った通り、笑ったりせず真剣に話を聞いてくれた。
岩山の上から、遥か下の半ば廃墟と化した都を見おろしながら、オレはつぶやいた。
「だけど、追いつくどころか逆にどんどん父さんに取り残されていくみたいで…」
その頃オレは、どうしても超サイヤ人になることができない自分がもどかしく、落ち込んでいた。
「大丈夫、キミにはベジータさんの血が流れているんだ。そのうち必ず超サイヤ人になれるさ、絶対にな!」
悟飯さんは笑顔で励ましてくれた。
「でもよくわかるよ、キミの気持ち…」
「え?」
「オレも、オレの父さんのように強くなれたら…と、この道着をつくったんだ…」
その道着はずいぶん古いデザインのものだったけれど、悟飯さんにはよく似合っていた。
「孫…悟空さんだったよね。母さんがね、悟飯さんがその道着着てると、悟空さんにそっくりでいつもビックリするって」
「パワーの方はなかなかそっくりってわけにはいかないけどな…ははは…」
大声で笑いながらも、遠くを見つめる悟飯さんの目は静かすぎるくらい澄んでいて、オレはなんだか悲しくなった。
それからの出来事は、忘れようにも忘れられない。胸の奥に熱い焼き印を押されたかのように、決して消えることがないのだ。時を経た今でも、それは時折痛み、疼いている。
——爆発が起こった。
轟音と共に辺り一帯が凄まじい閃光に包まれ、それが消えないうちに、あちこちから爆煙があがった。
人造人間たちが再び都を襲ってきたのだ。
「く、くそ…。も、もう許せない…」
悟飯さんは全身から黄金色の気を燃えたたせ、超サイヤ人に変身した。
「トランクス、キミはここにいるんだ、いいな!!」
「イヤだ。悟飯さんがいくんならボクもいくッ!!」
必死に叫んだけれど、悟飯さんの答えは、オレの首に振りおろされた手刀だった。
薄れていく意識の中で、オレは悟飯さんの声を聞いたような気がした。
『トランクス、キミは最後の希望だ…』
オレが気付いた時には、すべてが終わっていた。
血の海に横たわった悟飯さんの亡骸を

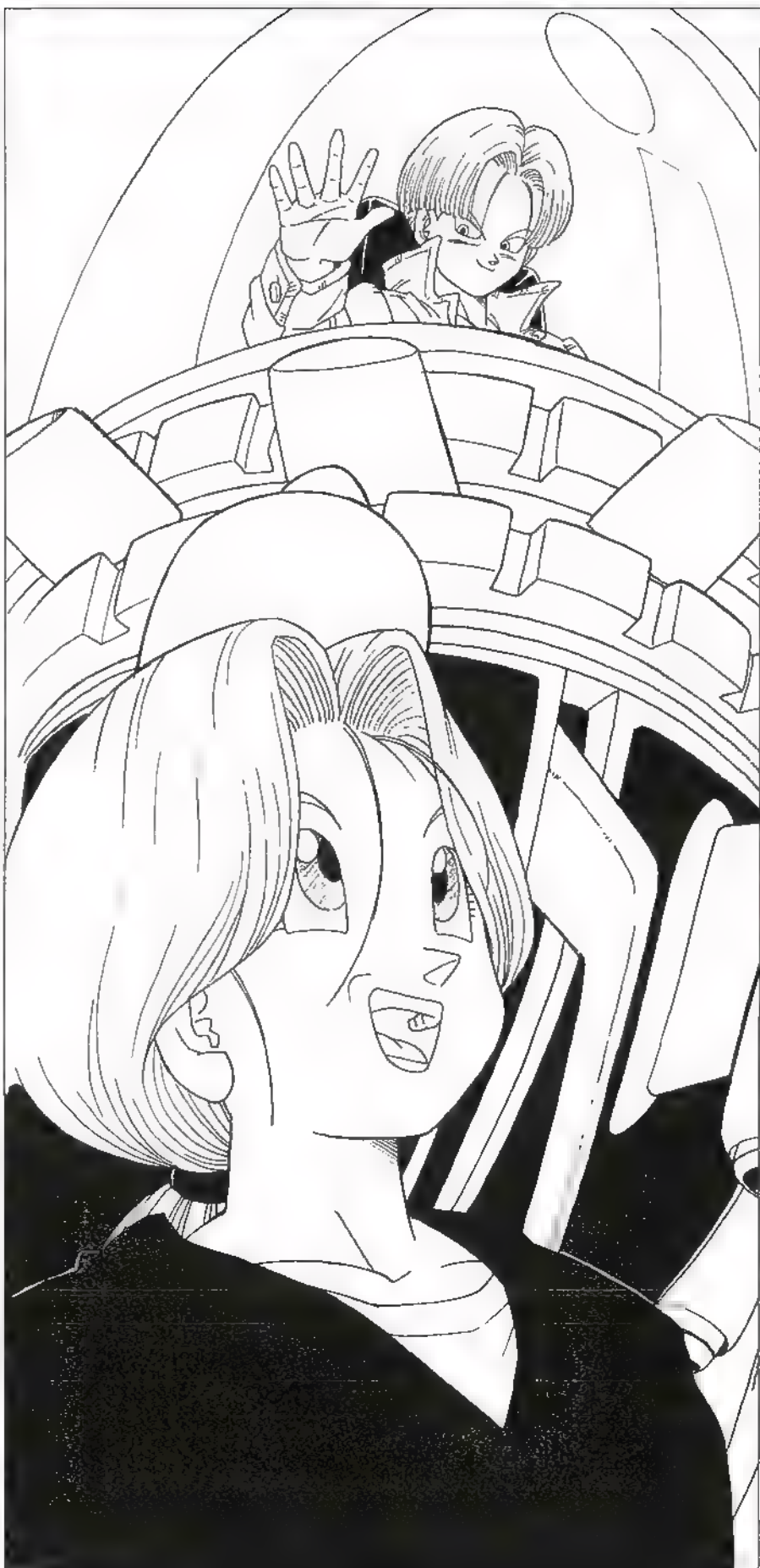
CAPSULE
CORP.

目にした途端、絶叫と怒りと悔しさと涙とがオレの身体の中で怒濤のごとく膨れあがった。

その瞬間、カッと炎が全身を走った。筋肉が震え、血管という血管が熱く燃えたぎった。

すべての血が一気に爆発したように感じた時、オレははじめて超サイヤ人に変身した――。

それからオレは、たったひとりで修業を始めた。ベジータ父さんの姿と『最後の希望だ…』という悟飯さんの声を心の奥に秘めて。

海賊放送では、毎日のように人造人間の情報を流していたが、オレは決して無理はしなかった。

悟飯さんや、ベジータ父さんや、人造

人間に殺されたみんなのカタキを討つには、確実にヤツらのパワーを上回っていなければならない。その確信がないうちに闘えば、無駄死にするだけだとわかっていたからだ。

脳裏には17号たちに襲われる人々の悲鳴がこだましていたが、オレは必死に焦る心を抑えつけ、修業に専念した。

強くなりたかった。強くなって、強くなって、強くなることしか考えられなかった。

不思議なことに、ひとりで修業を始めた頃から、脳裏に浮かぶ父さんとの距離がグン、と縮まったような気がした。

オレはそれを、オレのやり方が間違ってはいないことの証しと受け止めた。

ブルマ母さんはというと、あくまでタイムマシンが完成したら、オレを過去に送るつもりだったようだ。

しかしオレは密かに、ひとりで17号たちを倒す決心をしていた。

『これならもう大丈夫だろう…』

そう思えるようになるまでに3年かかった。

しかし、甘すぎた。

母さんがタイムマシンを完成させたその日、オレは人造人間と闘い、ズダボロにやられた。生きて戻れたのは奇跡でしかなかった。

病院のベッドで意識を取り戻した時、ブルマ母さんは怒った顔でオレを睨みつけていた。

「…ったく、そうやって何でもひとりで闘おうとするしょーもないところまで、父さんとソックリだわ!!」

そして一粒、涙を流した。どんな時でも強く、たくましく、男さえ軽々と投げ飛ばすあの母さんが…。

オレはケガが治りしだいすぐ、タイムマシンに乗る決意を固めた。

目標は20年前の過去。目的は、孫悟空さんに薬を渡して生きのびてもらうことだ。

出発前、オレはこの旅の成功を願い、タイムマシンに『HOPE!!』と印した。悟飯さんの言葉…『最後の希望…』の…HOPEだ。

「行ってきます、母さん!!」

「頼んだわよ、トランクスっ!!」

母さんの力強い言葉を背に受け、オレはタイムマシンに乗り込んだ。

父さんと…緊張の初対面

事は初めから計画した通りには運ばなかった。オレが早まってフリーザ親子を倒したばかりに、悟空さんにだけ会うはずだった予定がくるってしまったのだ。

歴史を変えてしまったのではないかという心配はあったが、オレにとってはうれしい誤算でもあった。

なんてったって、ベジータ父さんに会えたのだから。

悟空さんのポッドが到着するのを待つ間、オレの視線はどうしても父さんの方に向いてしまい困った。

初めて会った父さんは、母さんの言った通り強く、プライドが高く、厳しく、寂しそうな人だった。そして驚いたことに、後ろ姿はオレの想像していた父さんとソックリだった。

「なにをさっきからジロジロ見てやがるんだ。きさまがもしホントにサイヤ人なら、オレなんかめずらしくないだろ」

突然ベジータ父さんに言われた時はドキッとした。
『あなたがオレの父さんだから…』
思わず喉まで出かかった言葉をおさえ、ただ「すいません…」とだけ謝った。
それにしても、不思議な気持ちだった。父さんは生きているし、ブルマ母さんは若いし、悟飯さんはオレより子供だし……それに、母さんやクリリンさんたちがみんなでワイワイ話している様子は、まるで家族のようだった。
オレにはすべてが新鮮だった。
気がつくと、オレは微笑んでいた。そして、微笑んでる自分に驚いた。
3年前、悟飯さんが人造人間に殺された時から、オレは一度も笑ったことがなかったからだ。
ブルマ母さんはそんなオレを心配して、よくジョークを言っては笑わそうとした。オレはなんとか笑おうとしたけれど、無理だった。胸に弾丸を撃ち込まれたような悲しみを抱えている者は、笑うことはできない。そう悟るしかなかった。オレはもう、二度と笑えないだろう、と思っていた。
なのにオレは、微笑んでいた。
過去はなんて素晴らしいのだろう。青空の下で堂々と友人たちと語り合える世界。この世界をオレのいた未来のようにはしたくない。そう強く願った。
初めて会った悟空さんは、オレの思っていた以上に強く、頼もしい戦士だった。
『この人ならもしかして、未来を変えられるかもしれない』
オレの胸に希望（HOPE）の灯火がともった。
再びやってきた時、過去はオレの知っている過去とは様々な点で違っていた。悟空さんが心臓病になる時も違ったし、人造人間も17号、18号だけではなかった。そのうえパワーも、オレの知っているヤツらをはるかに上回っていた。
歴史が変わってしまったのはオレのせいなのか、あるいはオレのいた未来よりさらに先の未来からやってきた化け物・セルのせいなのかはわからない。
ともかく、オレにできることはみんなと一緒に闘うことだけだった。
ベジータ父さんとの二度目の出会いは最悪だった。ブルマ母さんと赤ん坊のオレがドクター・ゲロに殺されそうになった時、父さんはそばにいながら、助けようともしなかったのだ。
オレが助けなければ、確実にふたりとも死んでいただろう。頭にカッと血がのぼった。奥さんと子供をなぜ助けなかったのか、と父さんに詰め寄った。
「くだらん…オレはそんなことに興味がないんだ」
ベジータ父さんは冷たい笑みすら浮かべ、答えた。
そしてすぐに、ドクター・ゲロの研究所を目ざし飛び立っていった。17号たちが目覚める前に破壊してしまおうというみんなの意見を無視し、人造人間と闘うために。
オレが幼い頃から憧れ、目標としていた父さんが…いつも必死に追いかけていたあの父さんの後ろ姿が…目の前で木端微塵に砕け散った。
その時、母さんの声が脳裏にくり返し

こだましました。
「でも、いいところもあったのよ。プライドが高くてハッキリとした優しさを見せる人じゃなかったけど、わたしにはわかるの…」
う、うそだ…。あいつはいいところなんかかけらもないじゃないか…！　心底ワルなんだよ、あいつは…!!
オレは、父さんを憎んだ。
イヤなヤツだ。だが、二度と父さんを人造人間に殺させやしない…。
オレの頭の中で、ふたつの矛盾した感情が渦巻いていた。
オレはすぐ、父さんの後を追いかけた。
「いつまでオレを見張ってついてくるつもりだ。消えろ、うっとおしいぞ」
ベジータ父さんは、すぐ後ろを飛ぶオレに冷たく言い放った。
「そうはいかない…。あなたは17号、18号の恐ろしさをみくびっている」
オレは父さんを死なせまい、と必死だった。父さんを失なった寂しさは一度味わうだけで十分だ。
だが、父さんに自分の正体を告げるわ

けにはいかなかった。オレはもどかしい思いで、父さんの考えを変えようと懸命に努めた。

しかし、無理だった。

「ふん…相手が強いとなれば、ますます闘いたくなるのが《純粋のサイヤ人》だ」

それが、父さんの答えだった。

《純粋のサイヤ人》………!?

父さんは確かにあの時、そう言った。相手が強いとなれば、ますます闘いたくなるのが《純粋のサイヤ人》だ、と…。

あれはオレに向かって投げられた言葉だ。だとすると、父さんはオレが純粋のサイヤ人ではない、と知っていたことになる。

わかっていたのだ、あの時すでに。オレが父さんの息子だ、と…。知っていたから、母さんたちを助けなかったのだ。

オレが助けるにちがいない、と見越していたから。

これは、オレが父さんを真のワルだと思いたくないための、都合のいい解釈だろうか? いや、だとしても構わない。オレがもしあの場にいなかったら、父さんは母さんを助けたかもしれない。その可能性がわずかでもあるなら、オレはそれを信じよう。未来の母さんもきっと同じように考えるだろう。

それにしても、ダメなヤツだ、オレは…。いつもベジータ父さんに一歩先を行かれている。

セルの存在を知った時もそうだった。セルが17号と18号を吸収して凄まじいパワーを得ようとしていることを知った父さんは、すかさず叫んだ。

『超サイヤ人をさらに超えてやる』、と。

オレはその言葉にショックを受けた。正直言って、超サイヤ人を超えよう、などとは考えたこともなかったのだ。

ホントに超サイヤ人を超えられるなら、オレも……。そう安易に修業を頼んだオレを父さんが拒否したのも無理はない。

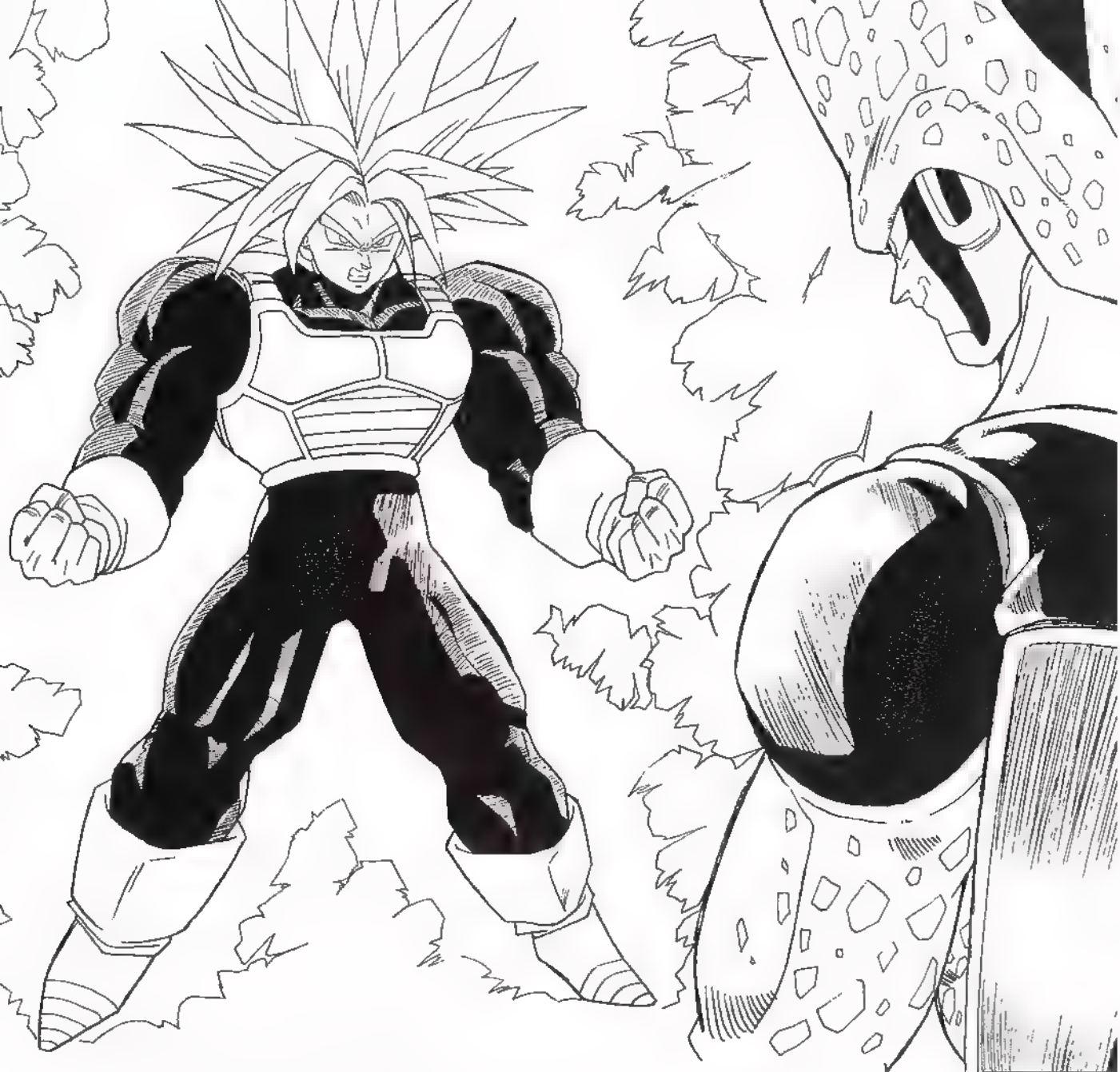
3日間というもの、オレは岩の上に佇む父さんの背中を見つめ続けた。その後ろ姿は、幼い頃思い描いた父さんの姿そのものだった。

あの背中に追いつきたい。追いついて、堂々と正面から向かい合いたい。

オレは再びそう決心していた。

しかし、今だにその願いは達せられていない。

《精神と時の部屋》で共に一年間過ごした時も、父さんはオレのことなどまるで相手にしていなかった。

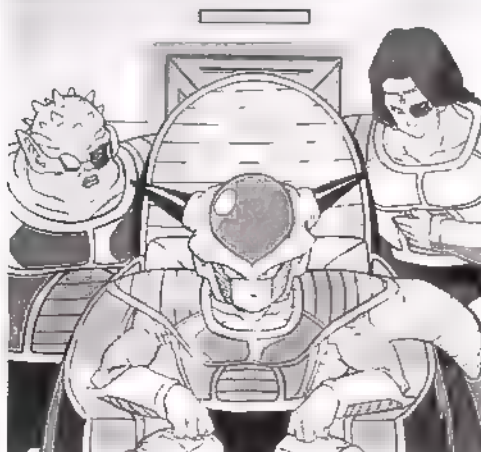
それなのに、オレは父さんのパワーを超えたと勝手に思いあがっていた。父さんでさえ倒せなかった完全体のセルを、オレなら必ず倒せる、などと信じていたのだ。

パワーに頼った変身をすれば、スピードが殺されてしまう。ベジータ父さんはそれがわかっていたからこそ、あえて変身をしなかった。
だが、バカなオレは変身し、セルに敗れた。そのうえ、そのセルに誤りを指摘されたのだから、とんだお笑いぐさだ。

エピローグ

ベジータ父さんが〈精神と時の部屋〉に入ってから、20時間が過ぎようとしている。
もうすぐ、父さんは戻ってくる。父さんのことだから、きっとセルを倒す自信に満ちあふれていることだろう。またオレは一歩リードされてしまうわけだ。
だが、いつかきっと、父さんに追いついてみせる！　父さんの最終目標が悟空さんなら、オレの目標は父さんだ!!
オレが父さんの顔を真正面から見つめ、父さんがオレを見返してくれるその時こそ、オレの幼い頃からの願いがかなえられる時なのだ。たとえ、それが親と子の闘いの場であったとしても……。
扉が、音もなくゆっくりと開いた。

STAFF & CAST
スタッフ キャスト オールデータ
ALL DATA

スタッフ

原作……鳥山 明
集英社／週刊少年ジャンプ連載
企画……清水賢治
（フジテレビ）森下孝三
製作担当……島本 武
シリーズ構成……小山高生
脚本……小山高生
隅沢克之
音楽……菊池俊輔
オープニングテーマ
「CHA-LA HEAD-CHA-LA」
作詞……森雪之丞
作曲……清岡千穂
編曲……山本健司
うた……影山ヒロノブ
エンディングテーマ
「心の旅」
作詞……佐藤 大
作曲……清岡千穂
編曲……山本健司
うた……影山ヒロノブ
KOKO
（コロムビア・レコード）
シリーズディレクター……西尾大介
キャラクターデザイン……前田 実
中鶴勝祥
作画監督……中鶴勝祥
美術設定……池田祐二
吉田智子
美術監督……吉田智子
演出……橋本光夫
制作……フジテレビ
東映

キャスト

バーダック……野沢雅子
孫悟空
トーマ……曽我部和恭
セリパ……三田ゆう子
パンブーキン……渡部 猛
トテッポ……塩屋浩三
フリーザ……中尾隆聖
ザーボン……速水 奨
ドドリア……堀 之紀
トオロ……銀河万丈
孫悟飯……あずさ欽平
ナッパ……飯塚昭三
サイヤ人A……掛川裕彦
サイヤ人B……真地勇志
サイヤ人C……佐藤智恵
サイヤ人D……里内信夫
サイヤ人E……中尾みち雄
ナレーション……八奈見乗児
●協力／青二プロダクション

作画監督補佐……佐藤正樹
原画……江口寿志
井手武生・沖本日出子
宮原直樹・劉 輝久
山室直儀・柴田則子
海老沢幸男・飯田倫也
菅野利之・竹内留吉
飯塚葉子・三角昌子
島貫正弘・久田和也
井上栄作・上杉千佳子
岩上久仁子・市橋則子
動画……中村敏子
白須順子・舘 直樹
広川智子・松本明子
江原 仁・中村あゆみ
高橋和弘・須田京子
背景……金子弘映・片野坂悟一
西脇聖悟・谷口淳一
塚越幸江・上田三輪子
佐藤美幸・伊藤雅人
仕上……増井美和子
上村育代・樋口真理子
中原裕子・菊地敦子
鳥本佐智子・瀬口愛子
検査……沢田豊二
特殊効果……平尾千秋
撮影……池上元秋
前原勝則・鈴木典子
大藤哲生・佐藤隆郎
沖田英一・佐藤輝男
オーディオディレクター……小松亘弘
録音……二宮健治
編集……福光伸一
音響効果……新井秀徳
選曲……宮下 治
演出助手……藤瀬順一
記録……樋口裕子
仕上進行……植木知子
美術進行……中村 実
制作進行……末永雄一・柳 義明
広報……重岡由美子
（フジテレビ）
録音スタジオ……タバック
現像……東映化学

●テレビスペシャル
たった一人の最終決戦
～フリーザに挑んだZ戦士 孫悟空の父～
JUMP ANIME COMICS

ジャンプ・アニメ・コミックス

もくじ

特別付録 引き出し口絵 とくべつふろく ひきだしくちえ

●構成・編集●
樹想社(大徳哲雄・鈴木美穂・竹田義一・戸澤好彦)
●セル原画(カバー・ポスター)●
前田 実
●デザイン●
バナナグローブスタジオ
(大平由美子・鴨志田敬子・岡村和美)
●イラスト協力●
渡辺章二
●協力●
東映動画・バンダイ

カラー版
ドラゴンボールZアニメコミックス 14
たったひとりの最終決戦
～フリーザに挑んだZ戦士孫悟空の父～

原作・鳥山明

初版発行　　　1993年
デジタル版発行　2017年

発行所　ホーム社
http://homesha.jp/
発売元　集英社
http://www.shueisha.co.jp